

和光市

はな の き むかい はら かき の き ざか みず く ぼ まる やま だい
花ノ木・向原・柿ノ木坂・水久保・丸山台

東北縦貫自動車道(東京外環自動車道)関係埋蔵文化財発掘調査報告

(第2分冊)

1994

財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

目 次

序 言 凡 例

(第1分冊)

I 調査の概要	1
1 発掘調査に至る経過	1
2 調査の経過	2
II 遺跡の立地と環境	6
1 遺跡の地理的環境	6
2 周辺の遺跡	8
III 遺跡群の概観	15
IV 花ノ木遺跡の調査	19
1 遺跡の概要	19
2 先土器時代の遺構と遺物	23
3 縄文時代の遺構と遺物	129
4 弥生時代の遺構と遺物	141
5 古墳・歴史時代の遺構と遺物	167
6 中・近世の遺構と遺物	215
7 小 結	237
V 向原遺跡の調査	241
1 遺跡の概要	241
2 遺構と遺物	242
3 小 結	244

(第2分冊)

VI 柿ノ木坂遺跡の調査	247
1 遺跡の概要	247
2 先土器時代の遺構と遺物	250
3 縄文時代の遺構と遺物	417
4 弥生時代の遺構と遺物	448
5 その他の遺構	463
6 小 結	469
VII 水久保遺跡の調査	473
1 遺跡の概要	473

2	遺構と遺物	473
3	小 結	476
VIII	丸山台遺跡の調査	479
1	遺跡の概要	479
2	先土器時代の遺構と遺物	485
3	縄文時代の遺構と遺物	494
4	その他の遺構	502
5	小 結	504
IX	結 語	505
付	編	541

挿 図 目 次

【第2分冊】

柿ノ木坂遺跡

第174図 柿ノ木坂遺跡位置図	246
-----------------	-----

第175図 柿ノ木坂遺跡全体図	248
-----------------	-----

<先土器時代>

第176図 先土器時代調査範囲	251
-----------------	-----

<先土器時代西区>

第177図 西区先土器時代発掘区と調査深度	252
-----------------------	-----

第178図 石器集中・礫群分布図	253
------------------	-----

第179図 土層断面図(1)	254
----------------	-----

第180図 土層断面図(2)	256
----------------	-----

第181図 第1文化層石器集中	259
-----------------	-----

第182図 石器集中1	260
-------------	-----

第183図 石器集中6	261
-------------	-----

第184図 石器集中7	263
-------------	-----

第185図 石器集中8	268
-------------	-----

第186図 石器集中9	269
-------------	-----

第187図 石器集中11	271
--------------	-----

第188図 石器集中14	272
--------------	-----

第189図 石器集中15	276
--------------	-----

第190図 単独1	277
-----------	-----

第191図 単独4	277
-----------	-----

第192図 単独3	278
-----------	-----

第193図 単独9	278
-----------	-----

第194図 単独10	278
------------	-----

第195図 単独11	279
------------	-----

第196図 第1文化層石器接合図	280
------------------	-----

第197図 第1文化層出土石器(1)	282
--------------------	-----

第198図 第1文化層出土石器(2)	283
--------------------	-----

第199図 第1文化層出土石器(3)	284
--------------------	-----

第200図 第1文化層出土石器(4)	285
--------------------	-----

第201図 第1文化層出土石器(5)	286
--------------------	-----

第202図 第1文化層出土石器(6)	287
--------------------	-----

第203図 第1文化層出土石器(7)	288
--------------------	-----

第204図 第2文化層石器集中	289
-----------------	-----

第205図 石器集中2	290
-------------	-----

第206図 石器集中3	290
-------------	-----

第207図 石器集中4	291
-------------	-----

第208図 石器集中5	293
-------------	-----

第209図 石器集中10	295
--------------	-----

第210図 石器集中12	296
--------------	-----

第211図 石器集中13	297
--------------	-----

第212図 石器集中16(1)	298
-----------------	-----

第213図 石器集中16(2)	299
-----------------	-----

第214図 石器集中17	302
--------------	-----

第215図 石器集中18	303
--------------	-----

第216図 石器集中19	304
--------------	-----

第217図 石器集中20	306
--------------	-----

第218図 石器集中21	307
--------------	-----

第219図 単独2	309
-----------	-----

第220図 単独5	309
-----------	-----

第221図 単独6	309
-----------	-----

第222図 単独7	310
-----------	-----

第223図 単独8	310
-----------	-----

第224図 第2文化層石器接合図(1)	311
---------------------	-----

第225図 第2文化層石器接合図(2)	312
---------------------	-----

第226図 第2文化層出土石器(1)	313
--------------------	-----

第227図 第2文化層出土石器(2)	314
--------------------	-----

第228図 第2文化層出土石器(3)	315
--------------------	-----

第229図 第2文化層出土石器(4)	316
--------------------	-----

第230図 第2文化層出土石器(5)	317
--------------------	-----

第231図 第2文化層出土石器(6)	318
--------------------	-----

第232図 第2文化層出土石器(7)	319
--------------------	-----

第233図 第2文化層出土石器(8)	320
--------------------	-----

第234図 第2文化層出土石器(9)	321
--------------------	-----

第235図 第2文化層出土石器(10)	322
---------------------	-----

第236図 第2文化層出土石器(11)	324
---------------------	-----

第237図 第2文化層出土石器(12)	325
---------------------	-----

第238図 第2文化層出土石器(13)	326
---------------------	-----

第239図 第2文化層出土石器(14)	327
---------------------	-----

第240図 第2文化層出土石器(15)	329
---------------------	-----

第241図 第2文化層出土石器(16)	330
---------------------	-----

第242図 第2文化層出土石器(17)	331
---------------------	-----

第243図 第2文化層出土石器(18)	332
---------------------	-----

第244図 第2文化層出土石器(19)	333
---------------------	-----

第245図 第2文化層出土石器(20)	334
---------------------	-----

第246図 第2文化層出土石器(21)	335
---------------------	-----

第247図 第2文化層出土石器(22)	336
---------------------	-----

第248図 第2文化層出土石器(23)	337
---------------------	-----

第249図 グリッド出土石器	339
----------------	-----

第250図 礫群分布図	340
-------------	-----

第251図 第1・6号礫群	341
---------------	-----

第252図 第2号礫群	342
-------------	-----

第253図 第3号礫群	343
-------------	-----

第254図 第4・5号礫群	344
---------------	-----

第255図 第7号礫群	345
-------------	-----

第256図 第8号礫群	346
-------------	-----

第257図 礫群点数頻度図	348
---------------	-----

第258図 礫群重量頻度図	349
---------------	-----

第259図 礫群接合図(1)	350
----------------	-----

第260図 礫群接合図(2)	351
----------------	-----

第261図 礫群接合図(3)	352
----------------	-----

<先土器時代東区>

第262図 東区先土器時代発掘区と調査深度	357
-----------------------	-----

第263図 石器集中・礫群分布図	358
------------------	-----

第264図 土層断面図	359
-------------	-----

第265図 第1文化層石器集中	361
-----------------	-----

第266図	石器集中1	362
第267図	石器集中2	362
第268図	石器集中3	363
第269図	石器集中6	364
第270図	石器集中7	365
第271図	石器集中8	366
第272図	石器集中14	368
第273図	単独1	368
第274図	単独2	369
第275図	単独4	369
第276図	第1文化層出土石器(1)	370
第277図	第1文化層出土石器(2)	371
第278図	第1文化層出土石器(3)	372
第279図	第1文化層出土石器(4)	373
第280図	第2文化層石器集中	374
第281図	石器集中4	375
第282図	石器集中5	376
第283図	石器集中9	376
第284図	石器集中10	377
第285図	石器集中11	378
第286図	石器集中12	380
第287図	石器集中13	381
第288図	単独3	382
第289図	単独5	382
第290図	単独6	382
第291図	単独7	383
第292図	第2文化層出土石器(1)	384
第293図	第2文化層出土石器(2)	385
第294図	第2文化層出土石器(3)	386
第295図	礫群分布図	387
第296図	第1・2号礫群	388
第297図	第3号礫群	389
第298図	第4号礫群	390
第299図	第5・6号礫群	391
第300図	第7・8号礫群	392
第301図	第9・10号礫群	393
第302図	礫群点数頻度図	396
第303図	礫群重量頻度図	397
第304図	礫群接合図	398

<縄文時代>

第305図	第6号住居跡(1)	418
第306図	第6号住居跡(2)	419
第307図	第6号住居跡(3)	420
第308図	第6号住居跡礫重量	420
第309図	第6号住居跡遺物分布図	421
第310図	第6号住居跡出土石器(1)	423
第311図	第6号住居跡出土石器(2)	424
第312図	第6号住居跡出土石器(3)	425
第313図	第6号住居跡出土石器(4)	426
第314図	第6号住居跡出土石器(5)	427
第315図	第6号住居跡出土石器(1)	428
第316図	第6号住居跡出土石器(2)	430

第317図	第6号住居跡出土石器(3)	431
第318図	第9号住居跡	432
第319図	第9号住居跡出土石器	432
第320図	第13号住居跡	434
第321図	第13号住居跡遺物分布図 (L=28.20m)	435
第322図	第13号住居跡出土石器(1)	436
第323図	第13号住居跡出土石器(2)	437
第324図	第13号住居跡出土石器(3)	438
第325図	第13号住居跡出土石器	438
第326図	第1号柱穴列	439
第327図	第1号柱穴列出土石器	439
第328図	第1号炉穴出土石器	440
第329図	縄文時代の土壌(1)	442
第330図	縄文時代の土壌(2)	443
第331図	縄文時代の土壌(3)	444
第332図	縄文時代の土壌(4)	445
第333図	土壌出土石器	445
第334図	グリッド出土石器・石製品	447

<弥生時代>

第335図	第1号住居跡	449
第336図	第1号住居跡出土石器(1)	449
第337図	第1号住居跡出土石器(2)	450
第338図	第2号住居跡	451
第339図	第3号住居跡	452
第340図	第3号住居跡出土石器	453
第341図	第4号住居跡	455
第342図	第5号住居跡	455
第343図	第7号住居跡	456
第344図	第7号住居跡出土石器	456
第345図	第8号住居跡	457
第346図	第8号住居跡出土石器	457
第347図	第11号住居跡(1)	458
第348図	第11号住居跡(2)	459
第349図	第11号住居跡出土石器	459
第350図	第12号住居跡(1)	460
第351図	第12号住居跡(2)	461
第352図	第12号住居跡出土石器	462

<その他の時代>

第353図	Tピットの分布図	464
第354図	Tピットの地形横断面図	465
第355図	Tピット(1)	466
第356図	Tピット(2)	467
第357図	Tピット(3)	468

水久保遺跡

第358図	水久保遺跡位置図	472
第359図	水久保遺跡全体図	473
第360図	第1号住居跡	474
第361図	第1号住居跡出土石器	475
第362図	第1号溝	476

第363図	グリッド出土土器	476
-------	----------	-----

丸山台遺跡

第364図	丸山台遺跡位置図	478
第365図	丸山台遺跡全体図	480

<先土器時代>

第366図	先土器時代調査範囲	482
第367図	先土器時代遺物分布図	484
第368図	土層断面図	485
第369図	石器集中1	486
第370図	石器集中2	487
第371図	石器集中出土土器	488
第372図	グリッド出土土器	489

<縄文時代>

第373図	縄文時代の土壌(1)	495
第374図	縄文時代の土壌(2)	496
第375図	縄文時代の土壌(3)	497
第376図	土壌出土土器	498
第377図	グリッド出土土器(1)	499
第378図	グリッド出土土器(2)	500
第379図	グリッド出土土器	501

第380図	その他の土壌(1)	502
第381図	その他の土壌(2)	503

結 語

第382図	花ノ木遺跡	507
第383図	柿ノ木坂遺跡西区(1)	508
第384図	柿ノ木坂遺跡西区(2)	509
第385図	柿ノ木坂遺跡東区	510
第386図	花ノ木遺跡石器集中・礫群分布図	512
第387図	柿ノ木坂遺跡第Ⅱ期石器集中分布図	513
第388図	柿ノ木坂遺跡第Ⅲ期石器集中分布図	514
第389図	柿ノ木坂遺跡第Ⅳ期石器集中分布図	515
第390図	柿ノ木坂遺跡礫群分布図	516
第391図	石器石材グラフ	519
第392図	礫石材グラフ	521
第393図	柿ノ木坂遺跡縄文時代後期 前葉の集落	523
第394図	丸山台遺跡縄文時代後期の集落	524
第395図	上組Ⅱ遺跡縄文時代後期前葉の集落	527
第396図	上之郷遺跡出土土器	531
第397図	各地の製斗	536
第398図	製斗の諸型式(模式図)	537

表 目 次

【第2分冊】

柿ノ木坂遺跡

<先土器時代西区>

第38表	石器集中別器種・石質組成	258
第39表	石器集中1出土土器一覽	260
第40表	石器集中6出土土器一覽	262
第41表	石器集中7出土土器一覽	264
第42表	石器集中8出土土器一覽	268
第43表	石器集中9出土土器一覽	269
第44表	石器集中11出土土器一覽	271
第45表	石器集中14出土土器一覽	273
第46表	石器集中15出土土器一覽	277
第47表	単独出土土器一覽	279
第48表	石器集中2出土土器一覽	290
第49表	石器集中3出土土器一覽	291
第50表	石器集中4出土土器一覽	292
第51表	石器集中5出土土器一覽	293
第52表	石器集中10出土土器一覽	295
第53表	石器集中12出土土器一覽	296
第54表	石器集中13出土土器一覽	297
第55表	石器集中16出土土器一覽	300
第56表	石器集中17出土土器一覽	302
第57表	石器集中18出土土器一覽	304
第58表	石器集中19出土土器一覽	305
第59表	石器集中20出土土器一覽	306
第60表	石器集中21出土土器一覽	308

第61表	単独出土土器一覽	310
第62表	グリッド出土土器一覽	338
第63表	礫出土一覽	352

<先土器時代東区>

第64表	石器集中別器種・石質組成	360
第65表	石器集中1出土土器一覽	362
第66表	石器集中2出土土器一覽	363
第67表	石器集中3出土土器一覽	363
第68表	石器集中6出土土器一覽	364
第69表	石器集中7出土土器一覽	365
第70表	石器集中8出土土器一覽	367
第71表	石器集中14出土土器一覽	368
第72表	単独出土土器一覽	369
第73表	石器集中4出土土器一覽	375
第74表	石器集中5出土土器一覽	376
第75表	石器集中9出土土器一覽	377
第76表	石器集中10出土土器一覽	377
第77表	石器集中11出土土器一覽	379
第78表	石器集中12出土土器一覽	380
第79表	石器集中13出土土器一覽	381
第80表	単独出土土器一覽	383
第81表	礫出土一覽	401
第82表	第6号住居跡出土土器一覽	431
第83表	土壌一覽	446

丸山台遺跡

<先土器時代>

第84表 先土器時代石器一覧491

<縄文時代>

第85表 縄文時代土壌一覧497

第86表 出土石器一覧501

<その他の時代>

第87表 その他の土壌一覧502

写真図版目次

【第2分冊】

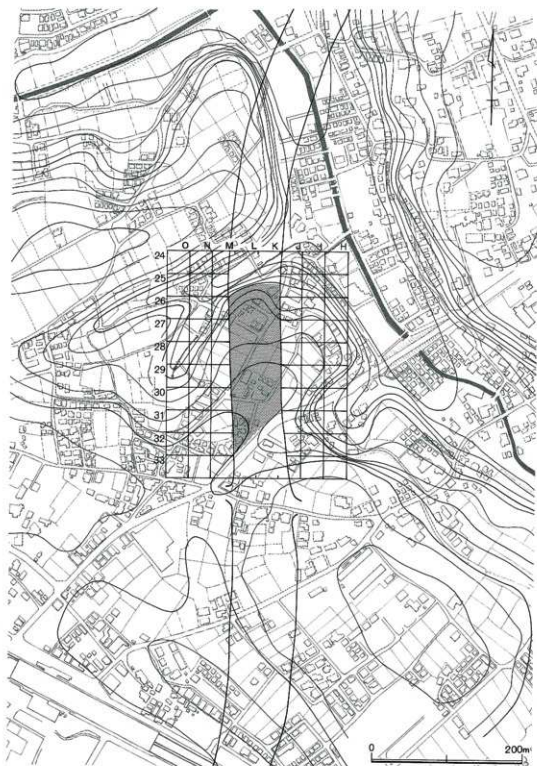
図版41	西区石器集中2～3 西区石器集中2～5 西区石器集中1～5
図版42	西区石器集中16 西区石器集中21 西区石器集中18
図版43	西区礫群
図版44	東区礫群
図版45	東区礫群
図版46	柿ノ木坂遺跡近景 第6号住居跡 第1号柱穴列 第9号住居跡 土壌近景
図版47	第6号住居跡 第13号住居跡
図版48	第1号住居跡 第2号住居跡
図版49	第2号住居跡 第3号住居跡 第3号住居跡ビット
図版50	第3号住居跡ビット 第12号住居跡 第8号住居跡 第7号住居跡 第5号住居跡 第11号住居跡
図版51	第42号土壌 第19号土壌 第20号土壌 第21号土壌

図版54	第1号炉穴・第13・16・17・33・34・1号土壌
図版55	第24・39・40・32・35・38・14・15号土壌
図版56	西区第1文化層出土石器
図版57	西区第1文化層出土石器
図版58	西区第2文化層出土石器
図版59	西区第2文化層出土石器
図版60	西区第2文化層出土石器
図版61	西区第2文化層出土石器
図版62	西区第2文化層出土石器
図版63	東区第1文化層出土石器
図版64	東区第2文化層出土石器
図版65	東区第2文化層出土石器
図版66	第1・3・11・6号住居跡出土土器
図版67	第6・13号住居跡出土土器
図版68	第6号住居跡出土土器
図版69	第6号住居跡出土土器
図版70	第6号住居跡出土土器
図版71	第6・13号住居跡出土土器
図版72	第13号住居跡出土土器
図版73	第1号住居跡 第1号住居跡出土土器
図版74	第1号土壌 第6・7号土壌 第3号土壌 第36号土壌 出土石器
図版75	土壌出土土器 グリッド出土土器
図版76	晶子形態

KAKINOKIZAKA

柿ノ木坂遺跡





第174図 楠ノ木坂遺跡位置図

VI 柿ノ木坂遺跡の調査

1 遺跡の概要

和光市新倉1丁目、谷中川の左岸に位置している。北東から南西方向に向かって延びる馬の背状の細長い台地に立地する。標高は24m～30mである。北西方向に向かって流れる谷中川に対して直行するように延びている支谷が細長い台地の両側を開析している。北西側の支谷には湧水地があり柿ノ木坂湧水公園として整備されている。湧水地との比高差は約10mである。遺跡の南西の方向に台地は延びており、柿ノ木坂西遺跡などが所在する。

調査区内は起伏に富んだ地形をしており、平坦な部分は少ない。調査区南部に北東から南西方向へ延びる馬背状の台地頂部があって、この頂部が北西、及び南東方向へ傾斜している。また調査区北東部から延びる谷地形が調査区中央まで延びておりロー面は複雑な等高線を描いている(第175図)。この谷地形の一部分に市道243号があり、調査区内を南北に貫いていた。

先土器時代、縄文時代、弥生時代の遺構、遺物が検出されている。

先土器時代の遺構はL-27～29グリッドとJ-29・30グリッドから石器集中と礫群が検出されている。両地区は30m以上離れており、中間に谷が入ることから、先土器時代の異なる遺跡として考えられる。前者を柿ノ木坂遺跡西区、後者を柿ノ木坂遺跡東区として呼称する。

柿ノ木坂西区は第IV層と第VII層の2枚の文化層が検出されている。石器集中の数は第1文化層(第IV層)から8箇所、第2文化層(第VII層)から13箇所、礫群は8基検出されている。

柿ノ木坂東区は第IV層と第VI層の2枚の文化層が検出されている。石器集中の数は第1文化層(第IV層)から7箇所、第2文化層(第VII層)から7箇所、礫群は10基検出されている。

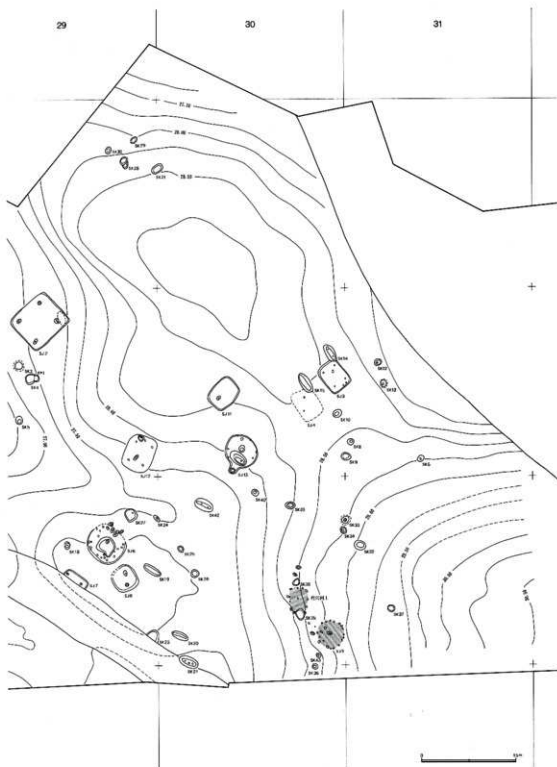
縄文時代の遺構として住居跡3軒、柱穴列1棟、土壇3基、炉穴1基が検出されている。炉穴は早期の所産であり、それ以外は後期前葉の遺構である。出土土器は堀之内1式にほぼ限定されている。住居跡数件からなる短期の集落跡である。

弥生時代の住居跡は8軒が検出された。遺存状況の不良な住居跡もあり、細かい時期が不明なものもあるが、出土土器はいずれも弥生後期の所産である。環濠を持たない小規模な集落跡である。

遺構について付言すると、第6・9・13号住居跡は縄文時代、第1～5、7、8、11、12号住居跡は弥生時代の所産である。同様に第1、3～6、8～10、12、13、16～18、23～40、43号土壇は縄文時代、第14、15、19～21、42、44号土壇は他時代の所産である。上記の遺構番号は調査時の番号を尊重した。SK2・7・11・22・41の土壇番号及びSJ10の住居跡番号は欠番となっている。

なお、柿ノ木坂遺跡の調査は一辺30mの大グリッド内に一辺6mの小グリッドを設け、右図のとおり番号を付し、調査を行った。

21	16	11	6	1
22	17	12	7	2
23	18	13	8	3
24	19	14	9	4
25	20	15	10	5



2 先土器時代の遺構と遺物

概 要

柿ノ木坂遺跡の先土器時代遺物は、L-27～29グリッドを中心としたまとまりと、J-30グリッドを中心としたまとまりに分かれる。この2つのまとまりを地形的にみると、樹枝状に延びる細い台地上にそれぞれ重なり、中間地区K-27～29に谷が存在する。谷部周辺に試掘溝を入れているが石器等の遺物は検出されていない。このことから前者を西区、後者を東区と区別し異なる遺跡と考えておく。

柿ノ木坂遺跡 西区

本地区から検出された遺物は、第IV層と第VII層を中心に出土する2枚の文化層に分かれる。前者を第1文化層、後者を第2文化層とする。第1文化層の石器集中は8か所、第2文化層の石器集中は13か所で合計21か所である。また、単独出土の石器は第1文化層が6点、第2文化層が5点となっている。

第1文化層の石器集中は幾つかのまとまりが見られる。説明の過程で南から北にグループa～cと呼称しておく。

第2文化層の石器集中は第1文化層の石器集中の分布と若干異なり、調査区の南端部と北端部に大きなまとまりがみられ、第1文化層の石器集中が密集する調査区中では規模の小さな集中が幾つか見られるだけである。グループは南から北に向かいa～cと呼称しておく。

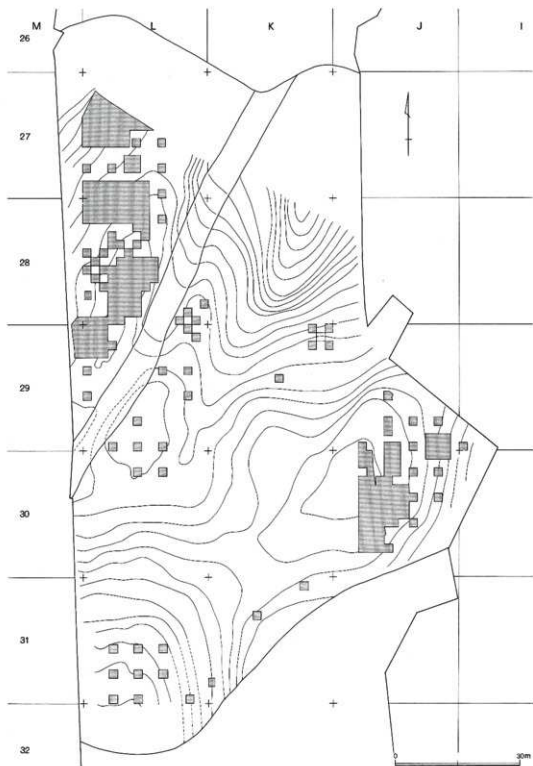
礫群は8基検出されているが、いずれも貧弱なものが多く、調査区の中ほどに位置する第3号礫群で105点の礫が円形に密集する以外は、数点の礫が散漫に分布するものである。礫群の帰属時期は必ずしも明確でないが、調査区の南端部の第1・2号礫群と、調査区の北端部の第8号礫群が第2文化層に伴う可能性が高く、残りの礫群は第1文化層に伴うと思われる。前者は礫の大きさが小さく散漫に分布するのに対し、第1文化層に伴うと思われる礫群は比較的大きな礫がまとまる傾向をもっている。

柿ノ木坂遺跡 東区

本地区から検出された遺物は、第IV層と第VI層を中心に出土する2つの文化層に分かれる。第1文化層の石器集中は7か所、第2文化層の石器集中は7か所で総計14か所の石器集中が検出されている。単独出土の石器は第1文化層が3点、第2文化層が4点である。

第1文化層の石器集中は調査区の南側にまとまる傾向があり、礫群の分布と重複する。第2文化層の石器集中は調査区の北東部を中心に広い範囲から検出されており、一部第1文化層の石器集中と重複するものもある。

礫群は全体で10基検出されている。分布は調査区南側の密集区に9基がまとまり、多くの接合関係を有している。このまとまりの帰属時期は第1文化層に伴うものと思われる。また、J-29-5グリッドに1基離れて存在する第10号礫群に関しては、礫の点数が非常に少なく、他の礫群との接合関係が見られない点など、第2文化層に共伴する可能性が高い。



第176図 先土器時代調査範囲

先土器時代 西区

概 要

柿ノ木坂遺跡西区は東京外環自動車道と光地内の先土器時代遺跡の中で、規模・内容とも最も整っており、多くの石器を出土している。遺跡は東区と平行する樹枝状に瘦せた台地上である。台地の西側は比高差約10mの谷があり、その谷頭付近に当たる柿ノ木坂公園の湧水は現在でもかなりの水量あり、越戸川にそそぐ小川の源水となっている。台地の東側の谷は現在それほど深いものではないが、1989年の調査で行った試掘溝によると、遺跡が営まれた当時はかなり深い谷であったと考えられる。

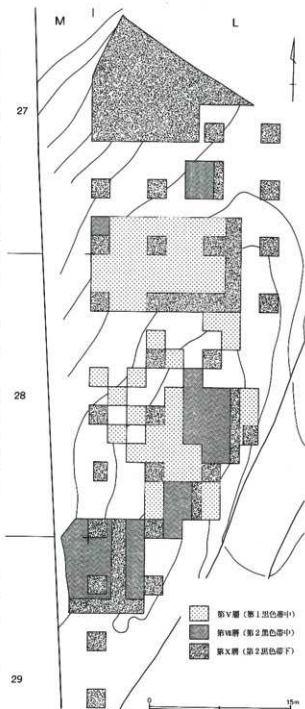
遺物の分布は台地の最も高い部分に沿って南北方向に延び、東西方向にはあまり拡がりをもたない。

礫群は花ノ木遺跡・東区と比較して、数量・規模等かなり見劣りするものであった。現在の耕作による削平及び攪乱があるにしても、礫の総数が50点を越える礫群が1箇所、礫群間の接合がまったく見られない点は貧弱である。

層位 (第179～180図)

A-A'ラインは南北方向に台地の最も高い部分を通してしている。層位は北側部分で第III層まで見られるが、中央部から南側(高い部分)では削平が進み第IV層そして第V層まで削られている部分もある。堆積状況は北から南(台地の先端から基部)に向けて僅かに上がっている。

B-B'ラインは台地を東西に通している。現在の耕作による攪乱が激しい。第V層(第1黒色帯)の堆積はフラットであるが



第177図 西区先土器時代発掘区と調査深度

地表面は台地の中央部で僅かに盛り上がっている。

C-C'ラインは台地を東西に通し、Bラインの南側にあたる。現代の耕作によって第V層面まで削平されている。土層の堆積は西から東に僅かに傾斜する。

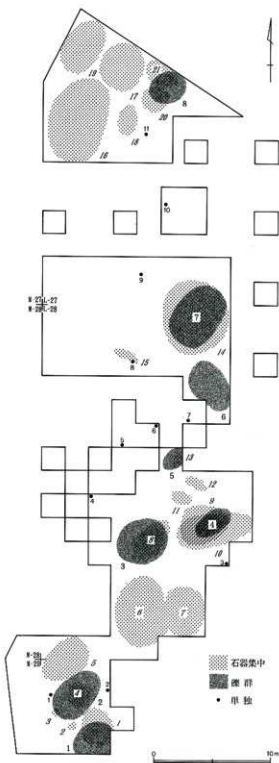
D-D'ラインは調査区の中央で台地を東西に横断する。層位は第III層から立川ローム最下層まで観察できる。堆積はL-28-11グリッドが最も高く西側及び東側に傾斜する。特にL-28-21グリッド付近では地表面以上に第VII・IX層の傾斜が急激である。

E-E'ラインは台地の先端部付近を東西方向に横断する。本断面を実測した区域は土層の堆積が厚く、遺物が広範囲に分布していた。層位は第III層から第X層まで確認された。堆積は西から東に向かい僅かに傾斜している。

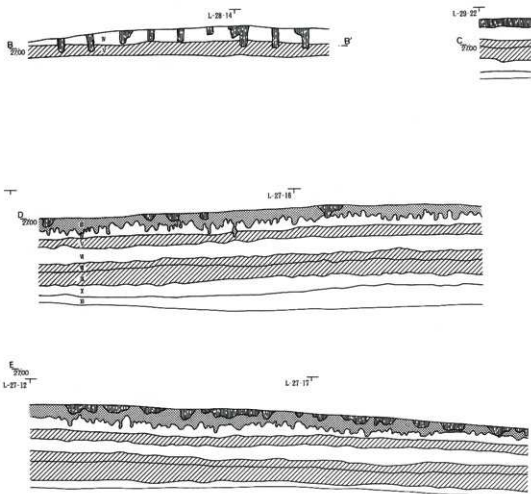
文化層

第1文化層とした石器集中は遺構確認面の直下から第VII層の上面にかけて出土している。削平が進んでいるため層位の認定に難しい点はあるが、概ね第IV層の下底面に対応するものと考えられる。

第2文化層とした石器集中は第VI層の下部から第IX層にかけて出土している。石器集中によって若干石器の出土が異なるが、接合関係等から、時期差は無いと考えられ、概ね第VII層の上半部に対応されるものと思われる。



第178図 石器集中・疎群分布図



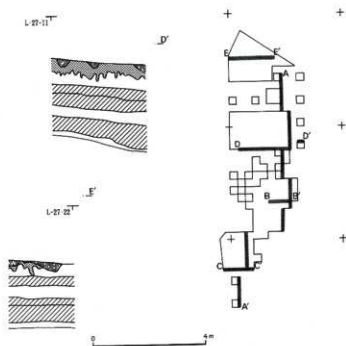
第179図 土層断面図（1）

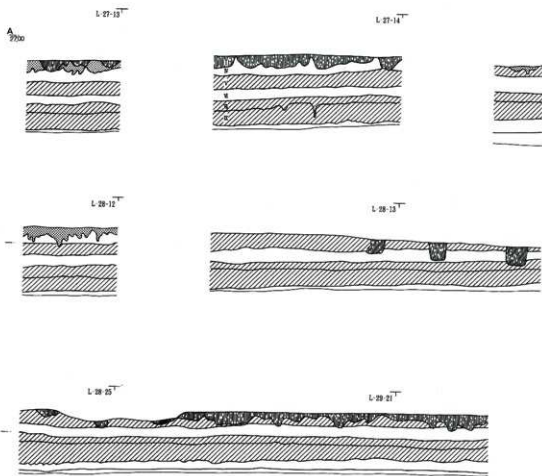
凡例

石器はノギスによる計測を行っが、微細な碎片に関しては方眼紙上に描いた正方形によって下記のようなグループに分類し、長さの項目に掲載した。

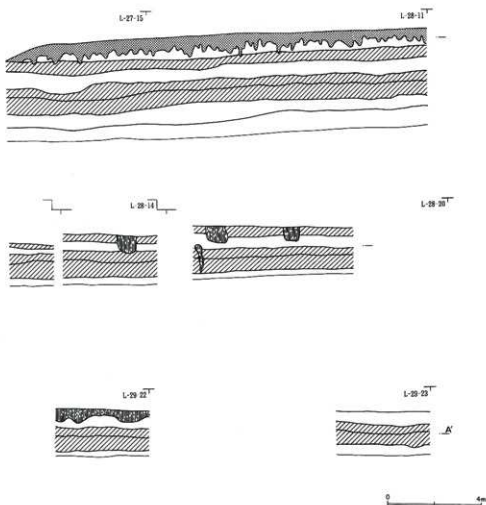
- ・ A = 2 × 2 mm
- ・ B = 5 × 5 mm
- ・ C = 10 × 10 mm
- ・ D = 10 mm ~

石器分布図に使用した記号とスクリーン・トーンは下記の表に示した。





第180圖 土層断面圖(2)



器 種	石 質	器 種
ナイフ形石器	黒曜石	▲ ナイフ形石器
槌・削器	チャート	◆ 槌・削器
石核	メノウ	■ 石核
ブライティングチップ	頁岩	▲ ブライティングチップ
剥片	シルト岩	● 剥片
砕片	粘板岩	・ 砕片
礫器	砂岩	* 礫器
磨石	安山岩	▲ 磨石
敲石	ホルンフェルス	■ 敲石
原石		○ 原石

石器集中別器種組成表

	ナイフ	鏃・削器	石核	ブライディングチップ	刮片	鋸片	鏃器	磨石	敲石	原石	計
第1文化層											
石器集中1	0	0	1	0	5	5	0	0	0	0	11
石器集中6	1	0	0	0	10	49	0	0	0	0	60
石器集中7	0	1	0	0	9	146	0	0	0	0	156
石器集中8	0	0	0	0	3	7	0	0	0	0	10
石器集中9	0	0	2	0	7	47	0	0	0	0	56
石器集中11	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
石器集中14	5	1	3	2	17	136	0	0	0	0	164
石器集中15	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
第2文化層											
石器集中2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
石器集中3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
石器集中4	0	0	0	0	1	11	0	0	0	0	12
石器集中5	2	0	2	0	19	30	0	0	0	0	53
石器集中10	0	1	0	0	9	5	0	0	0	0	15
石器集中12	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
石器集中13	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
石器集中16	2	0	5	0	19	22	0	1	1	0	50
石器集中17	2	0	0	0	5	3	1	1	0	0	12
石器集中18	0	0	0	0	5	4	0	0	0	0	9
石器集中19	0	0	0	0	7	3	0	0	0	1	11
石器集中20	0	0	0	0	5	4	0	0	0	0	9
石器集中21	0	1	2	0	6	1	0	0	2	0	12

石器集中別石質組成表

	黒曜石	チャート	メノウ	頁岩	シルト	粘板岩	砂岩	安山岩	ホルンフェルス	計
第1文化層										
石器集中1	1	0	0	0	0	3	0	5	2	11
石器集中6	3	38	0	0	0	0	3	14	2	60
石器集中7	127	18	0	1	0	0	0	8	2	156
石器集中8	7	1	0	0	0	0	1	1	0	10
石器集中9	59	3	0	0	1	0	0	1	1	56
石器集中11	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
石器集中14	74	23	1	0	40	1	2	23	0	164
石器集中15	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3
第2文化層										
石器集中2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
石器集中3	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
石器集中4	0	1	1	0	0	0	0	9	1	12
石器集中5	0	28	0	0	0	2	1	22	0	53
石器集中10	1	2	2	0	0	0	0	7	3	15
石器集中12	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
石器集中13	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
石器集中16	0	18	0	0	0	3	7	15	7	50
石器集中17	0	2	0	0	1	1	2	5	1	12
石器集中18	0	1	0	0	0	0	0	2	6	9
石器集中19	1	8	0	0	0	0	0	2	0	11
石器集中20	0	1	0	0	2	0	2	2	2	9
石器集中21	0	5	0	0	1	2	0	3	1	12

第38表 石器集中別器種・石質組成

第1文化層

本文化層は第IV層下部を中心に検出されており、当該期に帰属の石器集中は8か所、単独出土の石器は6点である。

石器の総数は470点と多く、器種組成はナイフ形石器14点(内接合1例で13点)、削器3点、石核6点、ブランディングチップ2点、剥片54点、碎片391点からなり、碎片的の占める割合が全体の83%を占めている。また、定型的石器としてナイフ形石器の点数が多い。使用されている石材は黒曜石が全体の50%以上と多く、次いで安山岩、チャートが多く用いられている。

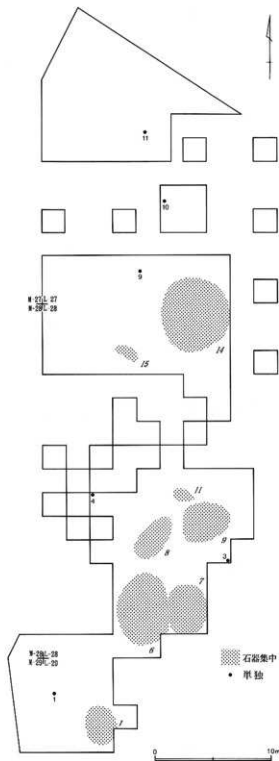
石器集中は調査区の中央部から南端部に分布しており、南端部から石器集中1の1か所がグループa、石器集中6～9・11の5か所がグループb、石器集中14・15の2か所がグループcの3つにまとめることができる。

次に各グループの傾向を整理すると

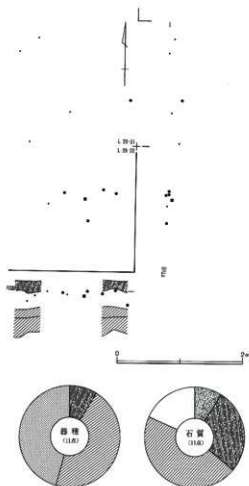
○グループaは剥片が数点と碎片が少数分布するだけで定型的石器は見られない。

○グループbは石器集中の数等本文化層の中心的である。石器集中の様相は、石器集中6と7が東西方向に2つ並ぶように近接しており、石器集中6がナイフ形石器、剥片等見られるのに対し、石器集中7は点数的に石器集中6の3倍近いが、組成は碎片が90%以上を占め、定型的石器は削器1点のみであった。単独出土の石器は本グループとグループcの中間に多く、ナイフ形石器の単独出土の割合が高い。

○グループcは石器集中14が主体で、石器集中15が近接して存在する。石器集中14は点数的に本文化層及び本遺跡最大の集中で総数164点を数える。また、器種組成も豊かでナイフ



第181図 第1文化層石器集中



第182図 石器集中1

フ形石器5点を含む。ナイフ形石器の形態は小形のものが目につき、本文化層の他の集中出土のナイフ形石器と若干様相が異なる。

石器集中1 (第182図)

L-29-22グリッドを中心にL-29-21グリッドに位置する。本集中の周囲には同一文化層の石器集中は無く、第2文化層の石器集中2～5に囲まれている。遺物は南北約3.5m、東西約1.5mの楕円形に拡がり、L-29-22グリッド杭周辺に径約1mのまとまりをもつ。石核、剥片類は殆どこの範囲から出土しており、碎片は北側に散漫に拡がる。

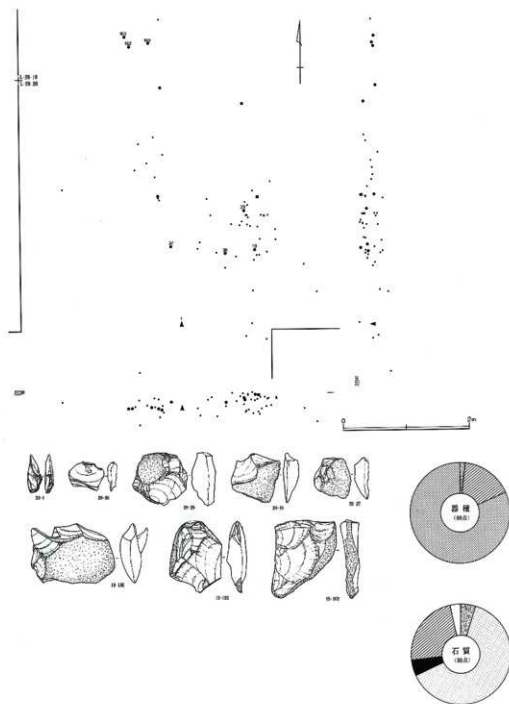
石器の総数は11点と少なく、器種組成の内訳は石核1点、剥片5点、碎片5点である。

石材は安山岩5点、粘板岩3点、ホルンフェルス2点、黒曜石1点が使われている。

出土層位は第V層下まで擾乱が広範囲に入っているため、遺物の帰属層位の認定で問題はあ。しかし、周辺の集中より相対的に上層から出土しており、土層断面に投影すると擾乱直下から出ていることから、本来の帰属層位は第IV層下部であった可能性が高く、第1文化層に含めておく。

第39表 石器集中1 出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石質	備考
85	L-29-21	430.0	443.0	2741.0	碎片	2.75	1.00	0.75	1.90	粘板岩	
87	L-29-21	452.0	413.0	2749.0	碎片	1.30	1.55	0.35	0.53	粘板岩	
89	L-29-21	547.0	494.0	2744.0	碎片	2.65	2.65	1.50	10.52	ホルンフェルス	
91	L-29-21	595.0	430.0	2732.0	碎片	1.50	1.20	0.60	0.99	粘板岩	
97	L-29-21	527.0	590.0	2728.0	剥片	3.65	3.20	1.50	10.21	ホルンフェルス	
32	L-29-22	75.0	570.0	2752.0	剥片	3.60	2.85	1.20	9.54	安山岩	
33	L-29-22	70.0	550.0	2746.0	剥片	1.70	3.30	0.95	3.39	黒曜石	
34	L-29-22	84.0	521.0	2741.0	石核	2.85	3.30	2.45	18.08	安山岩	
35	L-29-22	74.0	487.0	2747.0	剥片	3.40	2.80	1.00	8.31	安山岩	
38	L-29-22	93.0	462.0	2750.0	碎片	1.70	0.65	0.40	0.57	安山岩	
41	L-29-22	119.0	525.0	2750.0	剥片	3.95	3.30	0.95	11.63	安山岩	



第183図 石器集中6

石器集中6 (第183図)

L-28-20グリッドを主に、L-28-19グリッドに位置する。同一文化層の石器集中7と東側に近接して並ぶ。集中6～9・10は比較的狭い範囲にまとまっており1グループを形成している。遺物は南北6m、東西3mの楕円形状に広範囲に拡がる。分布範囲の中で更に、中心より南寄りに径約2mのまとまり(a)、北端に剥片のまとまり(b)の2か所が見られる。aの剥片の内19・29・36・37はチャートの同一母岩である。一方bは160～163のうち160と163同一母岩である。ナイフ形石器は南端に少し離れて出土している。

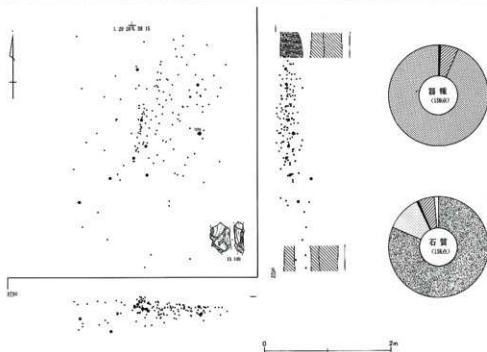
石器の総数は60点とまとまっている。器種組成はナイフ形石器1点、剥片10点、碎片49点である。用いられた石材はチャートの38点が全体の半数以上を占め、他に安山岩14点、黒曜石3点、砂岩3点、ホルンフェルス2点が見られた。

出土層位は隣接する石器集中7と同一面で検出されており、ナイフ形石器の形態から第IV層に位置付けられると考えられる。

第40表 石器集中6 出土石器一覧

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器 種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石 質	備 考
160	L-28-19	544.0	308.0	2727.0	剥片	4.90	6.70	2.20	55.56	ホルンフェルス	実測
161	L-28-19	506.0	325.0	2729.0	碎片	1.50	0.80	0.35	0.35	ホルンフェルス	
162	L-28-19	549.0	277.0	2725.0	剥片	5.65	4.10	1.70	34.67	砂岩	
163	L-28-19	533.0	271.0	2725.0	剥片	6.50	5.20	1.35	48.14	砂岩	実測
1	L-28-20	393.0	257.0	2726.0	ナイフ形石器	2.95	1.50	0.70	2.09	安山岩	実測
2	L-28-20	467.0	190.0	2699.0	碎片	(1.1)	1.45	0.60	0.75	黒曜石	実測
12	L-28-20	217.0	396.0	2740.0	碎片	B			0.38	チャート	
13	L-28-20	240.0	408.0	2741.0	碎片	B			0.17	チャート	
14	L-28-20	255.0	383.0	2742.0	碎片	B			0.15	チャート	
15	L-28-20	256.0	408.0	2739.0	碎片	C			0.46	チャート	
16	L-28-20	275.0	394.0	2739.0	碎片	B			0.17	チャート	
17	L-28-20	288.0	374.0	2736.0	碎片	B			0.10	チャート	
18	L-28-20	280.0	378.0	2739.0	碎片	(0.8)	1.45	0.50	0.44	チャート	
19	L-28-20	272.0	375.0	2746.0	剥片	3.90	3.90	1.25	16.64	チャート	
20	L-28-20	188.0	380.0	2745.0	碎片	1.30	1.90	0.60	0.18	チャート	
20	L-28-20	188.0	380.0	2745.0	碎片	A			0.01	チャート	実測
20	L-28-20	188.0	380.0	2745.0	碎片	B			0.10	チャート	
20	L-28-20	188.0	380.0	2745.0	碎片	B			0.02	チャート	
21	L-28-20	218.0	390.0	2742.0	碎片	A			0.10	チャート	
21	L-28-20	218.0	390.0	2742.0	碎片	A			0.01	チャート	
22	L-28-20	217.0	363.0	2745.0	碎片	0.75	2.00	0.30	0.61	安山岩	
23	L-28-20	227.0	355.0	2747.0	碎片	B			0.24	チャート	
24	L-28-20	232.0	363.0	2744.0	碎片	1.90	1.85	0.90	3.26	チャート	
25	L-28-20	231.0	338.0	2748.0	碎片	B			0.22	チャート	
27	L-28-20	233.0	351.0	2743.0	碎片	B			0.07	チャート	
28	L-28-20	234.0	368.0	2737.0	碎片	B			0.39	チャート	実測
29	L-28-20	210.0	358.0	2737.0	剥片	4.15	4.40	1.95	30.18	チャート	
30	L-28-20	217.0	305.0	2741.0	碎片	B			0.12	チャート	
31	L-28-20	191.0	298.0	2738.0	碎片	B			0.10	チャート	
32	L-28-20	93.0	213.0	2741.0	碎片	1.85	1.80	0.65	1.27	チャート	

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
33	L-28-20	40.0	357.0	2741.0	剥片	3.10	4.60	0.75	10.10	砂岩	
34	L-28-20	190.0	220.0	2739.0	碎片	1.65	2.65	0.85	2.37	安山岩	
35	L-28-20	282.0	345.0	2735.0	碎片	(1.35)	2.45	0.25	0.92	チャート	
36	L-28-20	277.0	328.0	2734.0	剥片	2.30	2.85	0.70	3.31	チャート	
37	L-28-20	266.0	240.0	2735.0	剥片	3.20	2.95	1.15	11.05	チャート	
38	L-28-20	300.0	328.0	2727.0	碎片	B			0.04	チャート	
39	L-28-20	390.0	370.0	2749.0	碎片	C			0.38	チャート	
44	L-28-20	164.0	400.0	2729.0	碎片	(1.3)	1.50	0.50	0.76	黒曜石	
47	L-28-20	295.0	453.0	2724.0	碎片	1.70	1.75	0.45	1.47	チャート	
48	L-28-20	217.0	385.0	2724.0	碎片	B			0.31	チャート	
49	L-28-20	221.0	365.0	2722.0	碎片	1.70	1.20	0.55	0.84	チャート	
50	L-28-20	217.0	361.0	2720.0	碎片	B			0.06	チャート	
52	L-28-20	270.0	282.0	2725.0	碎片	3.00	1.60	0.95	2.60	チャート	
53	L-28-20	187.0	220.0	2725.0	剥片	2.40	1.35	0.45	1.43	安山岩	
55	L-28-20	156.0	215.0	2727.0	碎片	1.25	1.30	0.45	0.65	安山岩	
56	L-28-20	121.0	228.0	2719.0	碎片	1.35	1.20	0.30	0.50	安山岩	
57	L-28-20	415.0	392.0	2727.0	碎片	A			0.04	安山岩	
75	L-28-20	280.0	382.0	2715.0	碎片	0.95	1.65	0.35	0.51	チャート	
78	L-28-20	235.0	380.0	2719.0	碎片	B			0.18	チャート	
79	L-28-20	338.0	372.0	2716.0	碎片	1.55	1.60	0.25	0.38	黒曜石	
80	L-28-20	410.0	360.0	2718.0	碎片	1.25	1.10	0.45	0.34	チャート	
84	L-28-20	15.0	225.0	2723.0	剥片	1.65	2.15	0.45	1.45	安山岩	
86	L-28-20	276.0	314.0	2711.0	碎片	B			0.20	チャート	
87	L-28-20	260.0	286.0	2713.0	碎片	C			0.75	チャート	
88	L-28-20	193.0	222.0	2711.0	碎片	A			0.12	安山岩	



第184図 石器集中 7

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
95	L-28-20	341.0	473.0	2703.0	砕片	1.65	0.75	0.15	0.31	安山岩	
124	L-28-20	103.0	189.0	2738.0	砕片	2.30	1.65	0.95	1.93	安山岩	
125	L-28-20	134.0	202.0	2730.0	砕片	C			0.09	安山岩	
126	L-28-20	145.0	183.0	2728.0	砕片	B			0.19	安山岩	
128	L-28-20	175.0	67.0	2736.0	砕片	2.50	0.80	0.70	1.20	安山岩	

石器集中7 (第184図)

L-28-15グリッドとL-28-20グリッドの境に位置する。同一文化層の石器集中6が西側に近接して並ぶ。遺物は南北2.5m、東西2mの楕円形状に密集する。遺物の主体は黒曜石の砕片で全体の78%を占めている。

石器は総数156点と数量的には非常に多いが、器種は刮器(10-109)1点、剥片9点を除くと、砕片が146点で全体の94%を占める単純な組成を示す。

石材は黒曜石が127点と圧倒的で全体の81%を占め、他にチャート18点、頁岩1点、安山岩8点、ホルンフェルス2点である。

遺物の出土層位はローム上面が耕作によって削平され、多くの範囲で第VI層中位まで擾乱が入っているため出土層位の認定に苦慮する。断面への投影では第IV層下部〜第V層中位で殆どの石器が出土しているが、基準となる石器が無いことから文化層の認定は難しい。近接する石器集中6が同一レベルからの出土で、同集中から出土するナイフ形石器の形態を見る限り、第IV下層の石器群と考えられる。

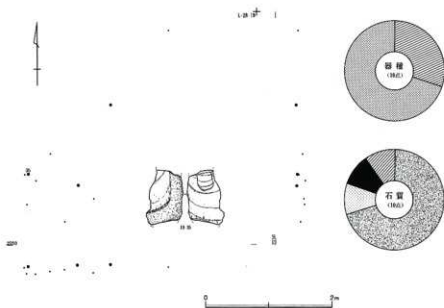
第41表 石器集中7出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
1	L-28-15	65.0	8.0	2737.0	砕片	A			0.02	黒曜石	
2	L-28-15	70.0	10.0	2733.0	剥片	2.30	2.25	1.10	3.71	チャート	
3	L-28-15	95.0	12.0	2732.0	砕片	A			0.04	黒曜石	
4	L-28-15	100.0	7.0	2733.0	砕片	A			0.01	黒曜石	
5	L-28-15	131.0	12.0	2740.0	砕片	A			0.03	黒曜石	
6	L-28-15	140.0	20.0	2748.0	砕片	A			0.03	黒曜石	
7	L-28-15	145.0	17.0	2746.0	砕片	A			0.02	黒曜石	
8	L-28-15	171.0	0.0	2728.0	砕片	A			0.31	黒曜石	
9	L-28-15	170.0	11.0	2743.0	砕片	1.00	1.30	0.50	0.43	黒曜石	
10	L-28-15	186.0	12.0	2749.0	砕片	B			0.03	黒曜石	
11	L-28-15	199.0	7.0	2745.0	砕片	B			0.06	黒曜石	
12	L-28-15	210.0	4.0	2734.0	剥片	2.30	2.35	0.65	2.58	黒曜石	
13	L-28-15	215.0	3.0	2735.0	砕片	B			0.19	黒曜石	
13	L-28-15	215.0	3.0	2735.0	砕片	A			0.03	黒曜石	
14	L-28-15	125.0	19.0	2743.0	砕片	B			0.03	黒曜石	
15	L-28-15	137.0	19.0	2741.0	砕片	A			0.01	黒曜石	
16	L-28-15	148.0	16.0	2743.0	砕片	A			0.01	黒曜石	
17	L-28-15	157.0	14.0	2741.0	砕片	A			0.02	黒曜石	
18	L-28-15	171.0	14.0	2745.0	砕片	A			0.02	黒曜石	
19	L-28-15	194.0	10.0	2741.0	砕片	B			0.07	黒曜石	
20	L-28-15	197.0	8.0	2724.0	砕片	1.20	1.20	0.20	0.20	黒曜石	
21	L-28-15	131.0	20.0	2748.0	砕片	>A			0.01	黒曜石	

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器 種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石 質	備 考
22	L-28-15	167.0	14.0	2748.0	碎片	A			0.06	黒曜石	
23	L-28-15	164.0	14.0	2740.0	碎片	A			0.01	黒曜石	
24	L-28-15	149.0	11.0	2733.0	碎片	A			0.04	黒曜石	
25	L-28-15	384.0	20.0	2703.0	碎片	(0.8)	1.40	0.45	0.31	チャート	
26	L-28-15	95.0	40.0	2742.0	碎片	A			0.04	黒曜石	
27	L-28-15	186.0	25.0	2741.0	碎片	B			0.14	黒曜石	
28	L-28-15	210.0	27.0	2738.0	碎片	B			0.07	黒曜石	
29	L-28-15	141.0	75.0	2736.0	碎片	A			0.02	黒曜石	
30	L-28-15	148.0	74.0	2737.0	碎片	1.00	1.75	0.35	0.43	黒曜石	
31	L-28-15	184.0	55.0	2737.0	碎片	A			0.02	黒曜石	
33	L-28-15	86.0	58.0	2739.0	碎片	A			0.04	黒曜石	
34	L-28-15	96.0	37.0	2741.0	碎片	> A			0.01	黒曜石	
35	L-28-15	116.0	41.0	2740.0	碎片	1.15	1.00	0.30	0.31	チャート	
36	L-28-15	129.0	82.0	2734.0	碎片	B			0.02	黒曜石	
37	L-28-15	37.0	70.0	2737.0	碎片	B			0.07	黒曜石	
38	L-28-15	32.0	82.0	2736.0	碎片	C			0.30	黒曜石	
39	L-28-15	50.0	80.0	2736.0	碎片	B			0.18	黒曜石	
40	L-28-15	46.0	100.0	2732.0	碎片	A			0.04	黒曜石	
41	L-28-15	31.0	120.0	2733.0	碎片	(1.3)	1.85	0.40	0.51	黒曜石	
42	L-28-15	79.0	131.0	2732.0	碎片	A			0.02	黒曜石	
43	L-28-15	98.0	142.0	2732.0	碎片	A			0.03	黒曜石	
44	L-28-15	94.0	106.0	2733.0	剥片	(1.35)	1.65	0.95	1.33	黒曜石	
46	L-28-15	112.0	137.0	2732.0	碎片	1.55	1.15	0.55	0.79	黒曜石	
47	L-28-15	117.0	64.0	2733.0	碎片	A			0.03	黒曜石	
48	L-28-15	134.0	24.0	2739.0	碎片	B >			0.17	チャート	
49	L-28-15	137.0	113.0	2733.0	碎片	A			0.03	黒曜石	
50	L-28-15	166.0	115.0	2732.0	碎片	B			0.05	黒曜石	
51	L-28-15	166.0	40.0	2736.0	碎片	A			0.02	黒曜石	
52	L-28-15	162.0	28.0	2737.0	碎片	B			0.11	黒曜石	
53	L-28-15	175.0	25.0	2738.0	碎片	B			0.26	黒曜石	
54	L-28-15	209.0	90.0	2732.0	碎片	< B			0.25	黒曜石	
55	L-28-15	203.0	100.0	2732.0	碎片	C			0.24	チャート	
56	L-28-15	238.0	82.0	2731.0	碎片	A			0.03	黒曜石	
57	L-28-15	278.0	60.0	2734.0	碎片	0.15	0.95	0.40	0.30	チャート	
58	L-28-15	285.0	60.0	2732.0	碎片	1.40	1.05	0.40	0.54	ホルンフェルス	
61	L-28-15	17.0	82.0	2732.0	碎片	A			0.02	黒曜石	
62	L-28-15	23.0	67.0	2732.0	碎片	> A			0.01	黒曜石	
63	L-28-15	49.0	72.0	2729.0	碎片	B			0.05	黒曜石	
64	L-28-15	57.0	47.0	2730.0	碎片	B			0.04	黒曜石	
65	L-28-15	76.0	47.0	2728.0	碎片	A			0.03	黒曜石	
66	L-28-15	85.0	56.0	2732.0	碎片	B			0.15	黒曜石	
67	L-28-15	100.0	24.0	2730.0	碎片	A			0.02	黒曜石	
68	L-28-15	105.0	51.0	2732.0	碎片	A			0.02	黒曜石	
69	L-28-15	113.0	93.0	2731.0	碎片	A			0.01	黒曜石	
70	L-28-15	110.0	109.0	2731.0	碎片	1.15	0.95	0.25	0.19	黒曜石	
71	L-28-15	101.0	117.0	2732.0	碎片	A			0.01	黒曜石	
73	L-28-15	125.0	104.0	2728.0	碎片	1.75	2.10	0.45	0.94	黒曜石	
74	L-28-15	128.0	89.0	2733.0	碎片	A			0.03	黒曜石	
75	L-28-15	179.0	113.0	2727.0	碎片	B			0.08	黒曜石	

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
76	L-28-15	163.0	93.0	2731.0	砕片	A			0.03	黒耀石	
77	L-28-15	151.0	77.0	2731.0	砕片	B			0.05	黒耀石	
78	L-28-15	144.0	39.0	2732.0	砕片	B			0.05	黒耀石	
79	L-28-15	135.0	33.0	2734.0	砕片	A			0.02	チャート	
80	L-28-15	149.0	31.0	2732.0	砕片	B			0.09	黒耀石	
81	L-28-15	160.0	15.0	2735.0	砕片	B			0.05	黒耀石	
82	L-28-15	162.0	16.0	2732.0	砕片	A			0.01	黒耀石	
83	L-28-15	180.0	62.0	2731.0	砕片	1.65	2.00	0.60	2.03	チャート	
84	L-28-15	191.0	23.0	2730.0	剥片	2.65	2.35	1.10	5.06	黒耀石	
85	L-28-15	214.0	51.0	2731.0	砕片	A			0.02	黒耀石	
86	L-28-15	221.0	85.0	2728.0	砕片	2.50	(1.55)	0.40	1.33	チャート	
87	L-28-15	248.0	115.0	2724.0	砕片	B			0.10	チャート	
88	L-28-15	236.0	73.0	2726.0	砕片	A			0.02	黒耀石	
91	L-28-15	74.0	42.0	2731.0	砕片	A			0.01	黒耀石	
92	L-28-15	102.0	92.0	2727.0	砕片	B			0.10	黒耀石	
93	L-28-15	125.0	123.0	2726.0	砕片	2.30	0.90	0.50	0.49	チャート	
94	L-28-15	128.0	81.0	2730.0	砕片	A			0.02	黒耀石	
95	L-28-15	185.0	19.0	2730.0	砕片	B			0.03	黒耀石	
96	L-28-15	237.0	25.0	2728.0	剥片	1.45	1.45	0.30	0.39	黒耀石	
97	L-28-15	62.0	150.0	2726.0	砕片	A			0.02	黒耀石	
98	L-28-15	62.0	88.0	2727.0	砕片	A			0.07	黒耀石	
100	L-28-15	94.0	65.0	2726.0	砕片	A			0.02	黒耀石	
101	L-28-15	125.0	44.0	2728.0	砕片	A			0.02	黒耀石	
102	L-28-15	110.0	61.0	2728.0	砕片	B			0.03	黒耀石	
103	L-28-15	113.0	94.0	2726.0	砕片	A			0.01	黒耀石	
104	L-28-15	128.0	113.0	2726.0	砕片	B			0.08	黒耀石	
105	L-28-15	140.0	17.0	2729.0	砕片	1.65	1.30	0.45	0.42	黒耀石	
106	L-28-15	144.0	24.0	2730.0	砕片	A			0.06	黒耀石	
107	L-28-15	150.0	16.0	2730.0	剥片	1.90	2.15	1.10	0.11	黒耀石	
108	L-28-15	157.0	65.0	2726.0	砕片	B			0.10	黒耀石	
109	L-28-15	171.0	108.0	2722.0	剥片	2.30	2.10	1.05	3.00	黒耀石	
109	L-28-15	171.0	108.0	2722.0	撥・削器	2.45	1.85	0.80	3.08	チャート	実測
111	L-28-15	215.0	140.0	2720.0	砕片	> A			0.01	黒耀石	
112	L-28-15	188.0	18.0	2729.0	砕片	1.00	0.90	0.20	0.09	黒耀石	
113	L-28-15	200.0	11.0	2724.0	砕片	B			0.04	黒耀石	
114	L-28-15	205.0	41.0	2722.0	砕片	B			0.09	黒耀石	
115	L-28-15	218.0	35.0	2728.0	砕片	1.20	0.95	0.40	0.32	黒耀石	
116	L-28-15	371.0	92.0	2720.0	砕片	1.75	2.10	0.55	1.50	安山岩	
117	L-28-15	86.0	41.0	2725.0	砕片	1.65	1.05	0.25	0.18	黒耀石	
118	L-28-15	103.0	44.0	2722.0	砕片	B			0.15	黒耀石	
119	L-28-15	127.0	12.0	2725.0	砕片	A			0.02	黒耀石	
120	L-28-15	177.0	9.0	2724.0	砕片	> A			0.01	黒耀石	
122	L-28-15	196.0	67.0	2722.0	砕片	A			0.02	黒耀石	
125	L-28-15	62.0	46.0	2722.0	砕片	A			0.03	黒耀石	
126	L-28-15	78.0	102.0	2724.0	砕片	A			0.01	黒耀石	
127	L-28-15	86.0	45.0	2717.0	砕片	B			0.03	黒耀石	
128	L-28-15	97.0	42.0	2720.0	砕片	B			0.02	黒耀石	
129	L-28-15	129.0	50.0	2721.0	砕片	A			0.01	黒耀石	
130	L-28-15	140.0	49.0	2723.0	砕片	B			0.17	黒耀石	

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器 種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石 質	備 考
131	L-28-15	155.0	22.0	2721.0	碎片	1.40	0.80	0.40	0.27	黒曜石	
132	L-28-15	172.0	38.0	2716.0	碎片	A			0.12	黒曜石	
133	L-28-15	191.0	6.0	2710.0	碎片	A			0.13	黒曜石	
134	L-28-15	112.0	93.0	2719.0	碎片	B			0.07	黒曜石	
135	L-28-15	112.0	110.0	2723.0	碎片	A			0.04	黒曜石	
136	L-28-15	106.0	104.0	2722.0	碎片	A			0.01	黒曜石	
137	L-28-15	138.0	66.0	2715.0	碎片	1.30	1.05	0.30	0.33	チャート	
138	L-28-15	85.0	113.0	2711.0	碎片	> A			0.01	黒曜石	
139	L-28-15	78.0	74.0	2720.0	碎片	B			0.15	黒曜石	
140	L-28-15	118.0	55.0	2720.0	碎片	A			0.01	チャート	
141	L-28-15	155.0	44.0	2715.0	碎片	B			0.16	黒曜石	
142	L-28-15	234.0	69.0	2714.0	碎片	A			0.05	チャート	
143	L-28-15	364.0	30.0	2704.0	碎片	C			0.54	安山岩	
145	L-28-15	182.0	50.0	2708.0	碎片	B			0.09	黒曜石	
146	L-28-15	26.0	20.0	2716.0	碎片	B			0.04	黒曜石	
4	L-28-20	17.0	512.0	2738.0	碎片	A			0.06	黒曜石	
5	L-28-20	80.0	574.0	2744.0	碎片	2.75	1.35	0.40	1.81	チャート	
6	L-28-20	113.0	556.0	2741.0	碎片	1.80	1.70	0.70	2.80	チャート	
7	L-28-20	117.0	582.0	2741.0	碎片	(0.7)	2.15	0.50	0.34	黒曜石	
9	L-28-20	171.0	544.0	2743.0	碎片	0.95	1.35	0.25	0.19	黒曜石	
10	L-28-20	185.0	527.0	2739.0	碎片	2.65	1.40	0.70	1.82	チャート	
11	L-28-20	228.0	507.0	2743.0	碎片	B			0.06	黒曜石	
45	L-28-20	222.0	587.0	2737.0	碎片	A			0.10	黒曜石	
60	L-28-20	236.0	577.0	2724.0	碎片	1.25	0.90	0.30	0.22	黒曜石	
61	L-28-20	245.0	581.0	2724.0	碎片	B			0.13	頁岩	
64	L-28-20	100.0	520.0	2708.0	碎片	C			0.25	安山岩	
65	L-28-20	148.0	575.0	2725.0	碎片	B			0.05	黒曜石	
65	L-28-20	148.0	575.0	2725.0	碎片	C			0.24	安山岩	
66	L-28-20	198.0	556.0	2713.0	碎片	1.10	1.35	0.40	0.35	黒曜石	
67	L-28-20	296.0	546.0	2706.0	碎片	1.75	0.90	0.35	0.88	安山岩	
68	L-28-20	280.0	516.0	2715.0	剥片	3.55	1.50	0.90	4.65	安山岩	
69	L-28-20	340.0	560.0	2709.0	碎片	1.30	2.40	0.35	1.00	安山岩	
71	L-28-20	320.0	520.0	2703.0	碎片	A			0.06	チャート	
91	L-28-20	150.0	575.0	2722.0	碎片	1.00	1.00	0.50	0.33	黒曜石	
92	L-28-20	242.0	565.0	2695.0	剥片	(1.95)	2.70	0.35	1.83	安山岩	
93	L-28-20	280.0	514.0	2698.0	碎片	1.30	0.70	0.35	0.34	ホルンフェルス	



第185図 石器集中8

石器集中8 (第185図)

L-28-19グリッド、石器集中6・7と石器集中9・11にはさまれている。第1文化層bグループの中央部に当たり、遺物は径約2mの範囲に散漫に分布する。

石器の総数は10点と少なく、内訳は剥片3点、碎片7点である。

石材は黒曜石が7点、他はチャート、砂岩、安山岩がそれぞれ1点である。安山岩の剥片は蛍光X線分析による原産地推定を行った結果、利根川とされている。

石器は第IV層下部から出土している。

第42表 石器集中8 出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
18	L-28-19	30.0	460.0	2715.0	碎片	1.45	1.45	0.35	0.64	黒曜石	実測 分析
33	L-28-19	225.0	271.0	2708.0	碎片	1.25	1.80	0.40	0.72	黒曜石	
35	L-28-19	257.0	236.0	2716.0	剥片	4.35	2.65	0.90	12.50	安山岩	
41	L-28-19	275.0	315.0	2718.0	剥片	2.55	3.50	1.20	8.74	チャート	
49	L-28-19	148.0	367.0	2719.0	剥片	1.70	2.00	0.90	2.39	黒曜石	
59	L-28-19	258.0	230.0	2714.0	碎片	1.45	1.30	0.40	0.39	黒曜石	
66	L-28-19	333.0	294.0	2711.0	碎片	B			0.04	黒曜石	
75	L-28-19	296.0	340.0	2706.0	碎片	2.00	1.15	0.60	1.10	黒曜石	
92	L-28-19	306.0	234.0	2705.0	碎片	(0.8)	1.60	0.35	0.41	黒曜石	
94	L-28-19	267.0	248.0	2704.0	碎片	1.20	0.60	0.20	0.16	砂岩	

石器集中9 (第186図)

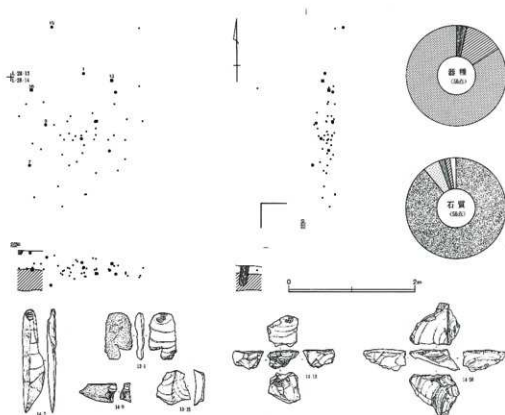
L-28-13グリッドとL-28-14グリッドの境に位置する。石器集中8・11と近接し、第2文化層の石器集中10と平面的に一部重複する。遺物は南北3m、東西2mの楕円形にまとまって分布する。

石器の総数は56点、内訳は石核2点、剥片7点、碎片47点である。石核2点は黒曜石の厚手の剥

片を素材とした盤状剥片石核で当該期の特徴的な石核である。また、黒曜石の剥片 (13・14・9) は正面の原石面を残し材質は漆黒で、石核の透明度の高い石材とは異なっている。

石材は黒曜石が50点で全体の89%を占めており、他にチャート3点、シルト岩、安山岩、ホルンフェルスがそれぞれ1点である。

遺物の出土層位は第IV層の中程である。

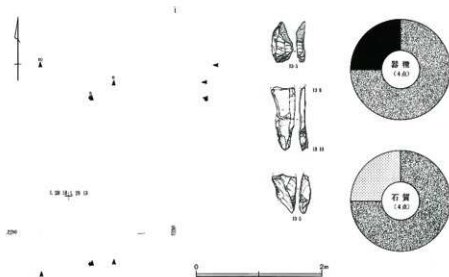


第186図 石器集中9

第43表 石器集中9出土石器一覧

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器 種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石 質	備 考
1	L-28-13	594.0	115.0	2719.0	剥片	3.70	2.25	0.75	5.08	黒曜石	実測
13	L-28-13	523.0	204.0	2703.0	碎片	1.60	1.60	0.50	0.80	黒曜石	
15	L-28-13	521.0	65.0	2690.0	剥片	2.75	2.70	0.85	4.68	安山岩	実測
7	L-28-14	140.0	30.0	2739.0	剥片	8.20	1.75	0.70	8.18	シルト岩	実測
8	L-28-14	114.0	48.0	2723.0	碎片	A			0.02	黒曜石	
9	L-28-14	76.0	54.0	2733.0	剥片	1.50	3.00	0.85	2.55	黒曜石	実測
10	L-28-14	76.0	69.0	2736.0	碎片	1.85	2.10	0.50	1.60	黒曜石	
11	L-28-14	70.0	90.0	2717.0	碎片	A			0.03	黒曜石	
12	L-28-14	57.0	130.0	2732.0	碎片	B			0.12	ホルンフェルス	
13	L-28-14	7.0	160.0	2722.0	石核	1.40	1.50	2.50	8.03	黒曜石	実測
14	L-28-14	82.0	135.0	2731.0	碎片	A			0.05	黒曜石	
15	L-28-14	94.0	103.0	2729.0	碎片	B			0.12	黒曜石	

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
16	L-28-14	135.0	105.0	2727.0	砕片	B			0.08	黒耀石	
17	L-28-14	148.0	170.0	2721.0	砕片	(1.1)	2.00	0.35	0.72	黒耀石	
18	L-28-14	93.0	164.0	2720.0	砕片	B			0.04	黒耀石	
19	L-28-14	100.0	99.0	2721.0	砕片	B			0.02	黒耀石	
20	L-28-14	70.0	210.0	2717.0	砕片	A			0.05	黒耀石	
21	L-28-14	191.0	37.0	2723.0	砕片	B			0.11	黒耀石	
22	L-28-14	98.0	112.0	2725.0	剥片	2.85	3.10	0.95	7.41	チャート	
24	L-28-14	152.0	135.0	2716.0	砕片	A			0.05	黒耀石	
25	L-28-14	116.0	157.0	2713.0	剥片	2.85	4.45	1.15	15.43	チャート	
26	L-28-14	100.0	155.0	2715.0	砕片	B			0.06	黒耀石	
27	L-28-14	92.0	135.0	2714.0	砕片	B			0.03	黒耀石	
28	L-28-14	99.0	132.0	2714.0	砕片	A			0.01	黒耀石	
29	L-28-14	87.0	120.0	2716.0	砕片	A			0.05	黒耀石	
30	L-28-14	121.0	114.0	2715.0	砕片	A			0.02	黒耀石	
31	L-28-14	173.0	75.0	2720.0	砕片	A			0.03	黒耀石	
32	L-28-14	17.0	395.0	2714.0	砕片	B			0.20	黒耀石	
36	L-28-14	130.0	182.0	2710.0	砕片	A			0.02	黒耀石	
37	L-28-14	100.0	182.0	2709.0	砕片	A			0.01	黒耀石	
38	L-28-14	67.0	185.0	2705.0	砕片	B			0.05	黒耀石	
39	L-28-14	43.0	165.0	2704.0	砕片	B			0.09	黒耀石	
40	L-28-14	24.0	167.0	2707.0	剥片	2.75	2.80	0.90	3.86	黒耀石	
41	L-28-14	15.0	205.0	2706.0	砕片	B			0.07	黒耀石	
42	L-28-14	71.0	136.0	2708.0	砕片	B			0.04	黒耀石	
42	L-28-14	71.0	136.0	2708.0	砕片	B			0.20	黒耀石	
42	L-28-14	71.0	136.0	2708.0	砕片	C			0.20	黒耀石	
42	L-28-14	71.0	136.0	2708.0	砕片	B			0.36	黒耀石	
42	L-28-14	71.0	136.0	2708.0	砕片	B			0.05	黒耀石	
42	L-28-14	71.0	136.0	2708.0	砕片	A			0.01	黒耀石	
43	L-28-14	108.0	116.0	2709.0	砕片	B			0.07	黒耀石	
44	L-28-14	93.0	112.0	2708.0	砕片	0.75	0.30	0.10	0.03	黒耀石	
46	L-28-14	140.0	93.0	2715.0	砕片	B			0.17	黒耀石	
47	L-28-14	123.0	82.0	2706.0	砕片	B			0.27	黒耀石	
48	L-28-14	99.0	85.0	2713.0	砕片	A			0.01	黒耀石	
49	L-28-14	92.0	79.0	2708.0	砕片	A			0.04	黒耀石	
50	L-28-14	89.0	93.0	2704.0	砕片	B			0.04	黒耀石	
51	L-28-14	62.0	95.0	2709.0	砕片	A			0.01	黒耀石	
52	L-28-14	105.0	35.0	2716.0	砕片	A			0.04	黒耀石	
53	L-28-14	62.0	13.0	2715.0	砕片	B			0.08	黒耀石	
54	L-28-14	43.0	25.0	2715.0	砕片	A			0.02	黒耀石	
55	L-28-14	40.0	52.0	2714.0	砕片	A			0.01	黒耀石	
56	L-28-14	21.0	33.0	2712.0	石核	1.70	4.00	3.40	12.75	黒耀石	実測
69	L-28-14	185.0	118.0	2703.0	砕片	A			0.01	黒耀石	
69	L-28-14	185.0	118.0	2703.0	砕片	A			0.01	黒耀石	
85	L-28-14	205.0	82.0	2711.0	砕片	1.60	2.30	5.35	8.31	チャート	



第187図 石器集中11

石器集中11 (第187図)

L-28-13グリッドとL-28-18グリッドのライン上に位置し、石器集中9と近接している。遺物は東西約1mの範囲に少数がまとまる。

石器の総数は4点と少ないが、内容はナイフ形石器3点(内接合して2点となる)、削器1点と製品だけのまとまりである。ナイフ形石器の13-6と18-10は接合しても完形に成らず、調整加工が基端部付近で中断しており、製作途中の欠損品かと思われる。接合距離は1.1mである。

石材は削器(13-5)がチャート、他は黒曜石である。

遺物の出土層位は第IV層の中程である。

第44表 石器集中11出土石器一覧

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器 種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石 質	備 考
5	L-28-13	447.0	37.0	2701.0	ナイフ形石器	3.20	1.70	0.75	3.10	黒曜石	実測
5	L-28-13	447.0	37.0	2701.0	握・削器	3.10	1.80	0.85	4.36	チャート	実測
6	L-28-13	422.0	72.0	2702.0	ナイフ形石器	5.05	1.95	0.70	2.46	黒曜石	実測
10	L-28-18	393.0	556.0	2685.0	ナイフ形石器	5.05	1.95	0.70	2.14	黒曜石	実測

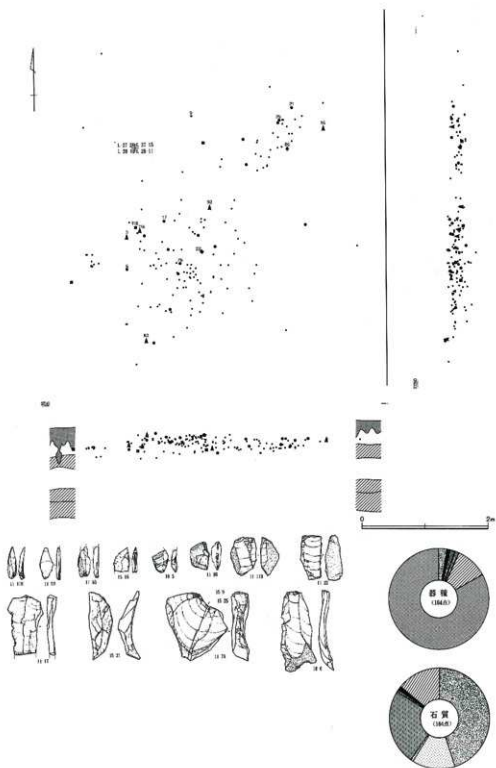
石器集中14 (第188図)

L-27-15、L-27-20、L-28-11、L-28-16グリッドにまたがって位置する。石器集中の分布の北側に位置し、石器集中15と小グループを作っている。遺物は南北4m、東西4mと比較的広い範囲に分布し、更にL-27-15グリッドを中心とするまとまりと、L-28-11・16グリッドを中心とするまとまりの2つに分かれる。便宜的に前者をaグループ、後者をbグループと呼称する。

ナイフ形石器は小形細身のものが特徴的で、15-16の黒曜石製の先端部破片がaグループ、他は全てbグループより出土している。

漆黒の小形角礫を素材とした一群は、削器(11-86)がaグループ、石核(11-118・11-22)はbグループから出土している。

シルト岩の剥片類はaグループとbグループから出土し、11-76・15-25・15-9は接合する。接合



第188図 石器集中14

距離は11-76と15-9は2.4m、11-76と15-25は2.8mである

石器の総数は164点である。内訳はナイフ形石器5点、削器1点、石核3点、ブランディングチップ2点、剥片17点、砕片136点と充実している。

石材は黒曜石74点、チャート23点、メノウ1点、シルト岩40点、粘板岩1点、砂岩2点、安山岩23点である。

遺物は第IV層から出土している。

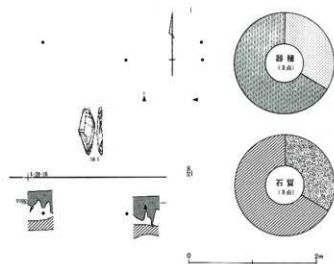
第45表 石器集中14出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
1	L-27-15	587.0	172.0	2695.0	剥片	4.00	1.75	0.95	5.03	シルト岩	
9	L-27-15	550.0	90.0	2674.0	砕片	1.60	1.55	0.30	0.48	シルト岩	
9	L-27-15	550.0	90.0	2674.0	砕片	5.40	4.95	1.35	0.27	シルト岩	実測
10	L-27-15	589.0	195.0	2673.0	砕片	0.75	1.00	0.25	0.13	シルト岩	
11	L-27-15	592.0	194.0	2673.0	砕片	1.30	0.95	0.25	0.33	シルト岩	
16	L-27-15	570.0	300.0	2691.0	ナイフ形石器	1.95	1.30	0.65	0.78	黒曜石	実測
17	L-27-15	530.0	300.0	2694.0	砕片	1.35	0.50	0.25	0.11	チャート	
20	L-27-15	550.0	266.0	2693.0	砕片	D			3.89	シルト岩	
21	L-27-15	537.0	250.0	2692.0	剥片	5.40	1.90	1.85	9.29	シルト岩	実測
22	L-27-15	578.0	246.0	2687.0	砕片	3.00	1.00	0.45	1.17	シルト岩	
24	L-27-15	556.0	235.0	2695.0	砕片	A			0.12	シルト岩	
24	L-27-15	556.0	235.0	2695.0	砕片	A			0.10	シルト岩	
25	L-27-15	557.0	230.0	2695.0	剥片	5.40	4.95	1.35	21.37	シルト岩	実測
29	L-27-15	592.0	109.0	2679.0	石核	4.50	3.35	1.75	23.23	安山岩	
34	L-27-15	568.0	263.0	2684.0	砕片	A			0.06	シルト岩	
35	L-27-15	556.0	255.0	2684.0	砕片	A			0.08	シルト岩	
36	L-27-15	563.0	235.0	2694.0	砕片	B			0.09	シルト岩	
37	L-27-15	584.0	228.0	2685.0	砕片	B			0.15	シルト岩	
40	L-27-15	577.0	220.0	2682.0	砕片	B			0.15	シルト岩	
41	L-27-15	590.0	250.0	2680.0	砕片	A			0.02	シルト岩	
42	L-27-15	578.0	250.0	2682.0	砕片	A			0.05	シルト岩	
43	L-27-15	567.0	242.0	2683.0	砕片	2.00	1.20	0.35	0.76	シルト岩	
44	L-27-15	561.0	228.0	2685.0	剥片	2.20	2.35	0.60	2.63	シルト岩	
49	L-27-15	504.0	215.0	2676.0	砕片	A			0.03	シルト岩	
50	L-27-15	599.0	234.0	2681.0	砕片	B			0.05	シルト岩	
5	L-27-20	450.0	547.0	2683.0	砕片	1.95	1.00	0.30	0.62	安山岩	
6	L-27-20	567.0	517.0	2682.0	砕片	0.65	1.10	0.45	0.35	メノウ	
7	L-28-11	15.0	213.0	2687.0	砕片	1.90	0.95	0.30	0.34	シルト岩	
8	L-28-11	32.0	204.0	2688.0	砕片	0.95	0.85	0.10	0.06	シルト岩	
9	L-28-11	36.0	194.0	2688.0	砕片	A			0.02	シルト岩	
10	L-28-11	122.0	270.0	2695.0	剥片	(3.0)	1.20	0.40	1.02	シルト岩	
11	L-28-11	156.0	354.0	2693.0	砕片				0.71	安山岩	
13	L-28-11	30.0	136.0	2688.0	砕片	B			0.09	安山岩	
14	L-28-11	82.0	73.0	2689.0	砕片	1.45	1.05	0.35	0.41	安山岩	
15	L-28-11	52.0	11.0	2697.0	砕片	2.45	0.90	0.40	0.44	黒曜石	
17	L-28-11	116.0	45.0	2699.0	剥片	4.75	2.85	0.80	7.28	安山岩	実測
18	L-28-11	115.0	62.0	2689.0	砕片	B			0.14	黒曜石	
19	L-28-11	126.0	86.0	2699.0	砕片	2.00	1.70	0.20	0.70	チャート	

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(kg)	石 質	備 考
20	L-28-11	139.0	100.0	2699.0	剥片	2.10	1.40	0.65	1.62	黒耀石	実測
21	L-28-11	164.0	108.0	2702.0	碎片	2.10	1.00	0.40	0.69	黒耀石	
22	L-28-11	165.0	105.0	2701.0	剥片	3.55	1.75	1.40	3.73	黒耀石	
23	L-28-11	112.0	105.0	2702.0	碎片	B			0.10	黒耀石	
24	L-28-11	186.0	136.0	2692.0	碎片	1.65	0.75	0.20	0.27	安山岩	
25	L-28-11	186.0	148.0	2693.0	碎片	B			0.06	チャート	
27	L-28-11	185.0	82.0	2702.0	碎片	B			0.06	黒耀石	
28	L-28-11	198.0	82.0	2701.0	碎片	A			0.02	黒耀石	
29	L-28-11	197.0	77.0	2701.0	碎片	B			0.03	黒耀石	
30	L-28-11	199.0	67.0	2698.0	剥片	2.60	1.80	0.45	1.06	黒耀石	
32	L-28-11	183.0	49.0	2692.0	碎片	B			0.13	黒耀石	
33	L-28-11	161.0	51.0	2690.0	剥片	1.75	1.70	0.30	1.00	黒耀石	
34	L-28-11	149.0	43.0	2690.0	碎片	2.45	0.85	0.35	0.59	安山岩	
35	L-28-11	176.0	37.0	2697.0	碎片	1.65	0.80	0.45	0.48	黒耀石	
36	L-28-11	140.0	14.0	2694.0	剥片	2.10	1.70	0.45	1.61	黒耀石	
37	L-28-11	162.0	14.0	2693.0	碎片	A			0.02	チャート	
38	L-28-11	160.0	7.0	2695.0	碎片	B			0.19	黒耀石	
39	L-28-11	243.0	185.0	2694.0	碎片	A			0.04	チャート	
40	L-28-11	223.0	146.0	2702.0	碎片	B			0.15	黒耀石	
43	L-28-11	210.0	99.0	2698.0	碎片	1.30	0.70	0.20	0.11	黒耀石	
44	L-28-11	233.0	108.0	2694.0	碎片	A			0.01	チャート	
45	L-28-11	235.0	106.0	2695.0	碎片	B			0.11	黒耀石	
46	L-28-11	260.0	102.0	2696.0	碎片	A			0.03	黒耀石	
47	L-28-11	242.0	87.0	2695.0	碎片	A			0.03	黒耀石	
48	L-28-11	265.0	88.0	2695.0	碎片	1.85	1.30	0.35	0.75	安山岩	
49	L-28-11	285.0	82.0	2693.0	碎片	A			0.03	黒耀石	
50	L-28-11	211.0	78.0	2696.0	碎片	A			0.01	黒耀石	
51	L-28-11	221.0	76.0	2695.0	碎片	B			0.15	黒耀石	
52	L-28-11	233.0	59.0	2696.0	碎片	1.30	1.10	0.50	0.44	安山岩	
53	L-28-11	208.0	50.0	2698.0	碎片	(1.6)	0.90	0.50	0.63	黒耀石	
54	L-28-11	256.0	54.0	2692.0	剥片	2.40	1.30	0.90	2.35	黒耀石	
55	L-28-11	258.0	48.0	2694.0	碎片	B			0.05	黒耀石	
56	L-28-11	248.0	38.0	2692.0	碎片	B			0.14	チャート	
58	L-28-11	252.0	24.0	2697.0	碎片	1.65	1.20	0.20	0.54	粘板岩	
59	L-28-11	215.0	10.0	2688.0	碎片	A			0.02	黒耀石	
60	L-28-11	302.0	60.0	2695.0	碎片	B			0.03	黒耀石	
62	L-28-11	311.0	28.0	2705.0	剥片	2.70	3.40	0.50	3.39	シルト岩	実測
63	L-28-11	310.0	14.0	2702.0	ナイフ形石器	2.45	1.00	0.40	0.93	黒耀石	
64	L-28-11	345.0	0.0	2702.0	碎片	0.60	0.80	0.10	0.30	黒耀石	
67	L-28-11	10.0	192.0	2684.0	碎片	1.40	1.20	0.25	0.37	シルト岩	
68	L-28-11	27.0	177.0	2684.0	剥片	3.45	1.25	0.35	0.89	シルト岩	
69	L-28-11	151.0	173.0	2691.0	碎片	B			0.09	安山岩	
71	L-28-11	169.0	124.0	2689.0	碎片	B			0.03	黒耀石	
72	L-28-11	165.0	106.0	2700.0	碎片	B			0.03	黒耀石	
73	L-28-11	196.0	92.0	2699.0	碎片	A			0.02	チャート	
74	L-28-11	204.0	86.0	2699.0	碎片	1.30	1.15	0.30	0.48	安山岩	
75	L-28-11	185.0	89.0	2701.0	碎片	(0.7)	1.45	0.20	0.16	黒耀石	実測
76	L-28-11	184.0	70.0	2691.0	剥片	5.40	4.95	1.35	15.00	シルト岩	
77	L-28-11	191.0	33.0	2692.0	碎片	1.20	0.50	0.20	0.08	黒耀石	

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器 種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石 質	備 考
78	L-28-11	167.0	33.0	2689.0	碎片	A			0.03	チャート	
80	L-28-11	262.0	139.0	2698.0	碎片	2.00	1.30	0.55	0.78	黒耀石	
81	L-28-11	229.0	119.0	2691.0	プランティングチップ	0.80	0.50	0.30	0.06	黒耀石	
82	L-28-11	246.0	107.0	2691.0	碎片	A			0.02	黒耀石	
84	L-28-11	251.0	35.0	2690.0	碎片	B			0.09	黒耀石	
86	L-28-11	2.0	242.0	2683.0	撥・削器	2.15	1.60	0.80	2.06	黒耀石	実測
87	L-28-11	1.0	227.0	2680.0	碎片	A			0.04	シルト岩	
88	L-28-11	4.0	215.0	2681.0	碎片	A			0.02	シルト岩	
89	L-28-11	14.0	200.0	2680.0	碎片	A			0.02	シルト岩	
90	L-28-11	29.0	210.0	2680.0	プランティングチップ	1.05	0.45	0.25	0.06	シルト岩	
91	L-28-11	43.0	225.0	2680.0	碎片	A			0.02	シルト岩	
92	L-28-11	83.0	158.0	2682.0	碎片	A			0.03	安山岩	
93	L-28-11	96.0	118.0	2680.0	ナイフ形石器	2.55	1.10	0.30	0.73	安山岩	実測
94	L-28-11	118.0	144.0	2682.0	碎片	A			0.02	シルト岩	
97	L-28-11	126.0	109.0	2685.0	碎片	B			0.05	黒耀石	
98	L-28-11	163.0	105.0	2686.0	碎片	> A			0.01	黒耀石	
99	L-28-11	114.0	111.0	2686.0	碎片	1.25	0.65	0.30	0.22	安山岩	
100	L-28-11	117.0	105.0	2687.0	碎片	A			0.05	黒耀石	
101	L-28-11	191.0	96.0	2699.0	碎片	B			0.09	黒耀石	
102	L-28-11	191.0	87.0	2699.0	碎片	A			0.01	チャート	
103	L-28-11	38.0	75.0	2684.0	碎片	B			0.37	砂岩	
104	L-28-11	104.0	70.0	2685.0	碎片	B			0.06	黒耀石	
106	L-28-11	161.0	73.0	2687.0	碎片	A			0.01	チャート	
107	L-28-11	162.0	60.0	2687.0	碎片	1.65	1.45	0.35	0.50	シルト岩	
108	L-28-11	182.0	65.0	2687.0	碎片	A			0.04	黒耀石	
109	L-28-11	198.0	66.0	2688.0	碎片	A			0.01	黒耀石	
112	L-28-11	187.0	24.0	2694.0	碎片	0.60	1.35	0.30	0.18	黒耀石	
114	L-28-11	148.0	8.0	2685.0	碎片	2.05	1.40	0.35	0.92	安山岩	
116	L-28-11	132.0	7.0	2685.0	ナイフ形石器	2.60	0.90	0.45	0.61	黒耀石	実測
117	L-28-11	135.0	3.0	2684.0	碎片	B			0.08	黒耀石	
118	L-28-11	126.0	0.0	2678.0	石核	3.05	2.15	1.45	7.91	黒耀石	実測
119	L-28-11	209.0	69.0	2689.0	碎片	B			0.04	黒耀石	
120	L-28-11	206.0	87.0	2697.0	碎片	1.60	1.25	0.55	1.00	黒耀石	
121	L-28-11	205.0	93.0	2697.0	碎片	A			0.02	黒耀石	
122	L-28-11	221.0	80.0	2685.0	碎片	A			0.01	チャート	
124	L-28-11	205.0	124.0	2698.0	碎片	A			0.01	チャート	
125	L-28-11	229.0	101.0	2682.0	碎片	A			0.03	黒耀石	
126	L-28-11	236.0	108.0	2684.0	碎片	A			0.06	シルト岩	
127	L-28-11	289.0	239.0	2692.0	碎片	B			0.12	安山岩	
128	L-28-11	96.0	154.0	2682.0	碎片	B			0.18	黒耀石	
129	L-28-11	205.0	124.0	2682.0	碎片	B			0.06	黒耀石	
131	L-28-11	223.0	180.0	2679.0	碎片	B			0.03	黒耀石	
132	L-28-11	215.0	103.0	2676.0	碎片	B			0.04	黒耀石	
133	L-28-11	208.0	137.0	2680.0	碎片	A			0.04	黒耀石	
134	L-28-11	200.0	189.0	2694.0	碎片	A			0.02	黒耀石	
135	L-28-11	186.0	192.0	2692.0	碎片	A			0.01	黒耀石	
136	L-28-11	186.0	41.0	2676.0	碎片	A			0.02	黒耀石	
137	L-28-11	144.0	163.0	2679.0	碎片	0.80	0.95	0.20	0.13	チャート	
138	L-28-11	97.0	10.0	2676.0	碎片	1.10	1.55	0.30	0.39	黒耀石	

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器 種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石 質	備 考
139	L-28-11	131.0	160.0	2678.0	碎片	A			0.03	砂岩	
140	L-28-11	168.0	157.0	2680.0	碎片	B			0.07	安山岩	
141	L-28-11	18.0	138.0	2690.0	碎片	(1.1)	0.75	0.35	0.20	黒耀石	
152	L-28-11	133.0	92.0	2691.0	碎片	B			0.03	チャート	
153	L-28-11	136.0	95.0	2692.0	碎片	A			0.07	黒耀石	
154	L-28-11	199.0	87.0	2688.0	碎片	2.35	1.20	0.45	0.67	黒耀石	
156	L-28-11	157.0	127.0	2673.0	剥片	2.85	1.35	0.55	1.35	シルト岩	
158	L-28-11	201.0	96.0	2689.0	碎片	B			0.06	チャート	
159	L-28-11	222.0	66.0	2672.0	碎片	A			0.06	チャート	
160	L-28-11	260.0	56.0	2674.0	碎片	A			0.02	チャート	
161	L-28-11	255.0	90.0	2676.0	碎片	B			0.04	チャート	
162	L-28-11	185.0	29.0	2666.0	碎片	B			0.07	チャート	
163	L-28-11	251.0	4.0	2665.0	碎片	B			0.15	安山岩	
4	L-28-16	118.0	589.0	2690.0	碎片	B			0.05	安山岩	
5	L-28-16	143.0	585.0	2687.0	ナイフ形石器	(1.75)	1.20	0.50	0.87	黒耀石	実測
6	L-28-16	193.0	585.0	2681.0	剥片	6.35	2.80	1.05	13.38	シルト岩	実測
7	L-28-16	279.0	584.0	2692.0	碎片	3.45	3.00	0.85	7.73	チャート	
7	L-28-16	279.0	584.0	2692.0	碎片	0.95	2.20	0.40	0.56	チャート	
8	L-28-16	169.0	530.0	2684.0	碎片	1.10	1.00	0.20	0.21	黒耀石	
9	L-28-16	169.0	521.0	2684.0	碎片	B			0.14	黒耀石	
9	L-28-16	169.0	521.0	2684.0	碎片	A			0.01	黒耀石	
10	L-28-16	187.0	529.0	2685.0	碎片	(1.7)	0.75	0.40	0.46	黒耀石	
10	L-28-16	187.0	529.0	2685.0	碎片	B			0.11	安山岩	
10	L-28-16	187.0	529.0	2685.0	碎片	A			0.05	チャート	
11	L-28-16	212.0	497.0	2681.0	石核	4.85	2.75	1.75	23.63	安山岩	
13	L-28-16	180.0	529.0	2683.0	碎片	1.30	0.80	0.15	0.15	黒耀石	
15	L-28-16	183.0	540.0	2670.0	碎片	A			0.02	黒耀石	
16	L-28-16	184.0	533.0	2669.0	碎片	B			0.13	安山岩	



第189図 石器集中15

石器集中15 (第189図)

L-28-16グリッドに位置する。石器集中14と小グループを作る。遺物は東西方向に約2mのライン上に並ぶ。

石器の総数は3点と非常に少なく、組成はナイフ形石器1点と剥片2点である。石材はチャート1点とシルト岩2点で、ナイフ形石器は石器集中14の15-21・11-76・16-6等のシルト岩の剥片と同一母岩である。

遺物は第IV層中位から検出されている。

第46表 石器集中15出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
1	L-28-16	478.0	185.0	2691.0	ナイフ形石器	3.75	1.30	0.45	1.89	シルト岩	実測
2	L-28-16	415.0	156.0	2681.0	剥片	3.80	1.35	0.50	1.91	シルト岩	
12	L-28-16	387.0	24.0	2683.0	剥片	2.95	2.05	0.70	3.15	チャート	



単独 1 (第190図)

L-29-21グリッド、第2文化層の石器集中3～5に取り囲まれるように出土した。

石器はチャートの碎片である。

出土層位は第III層下部から第IV層にかけてである。

単独 3 (第192図)

L-28-14グリッド、石器集中9に近接して出土した。石器はナイフ形石器で下半部を欠損する。石質は安山岩である。

出土層位は第V層中からで、形態的に古い様相もあるが石器集中10より上層で、第1文化層の石器がしばしば第V層中まで下がっていることから、第1文化層と考える。



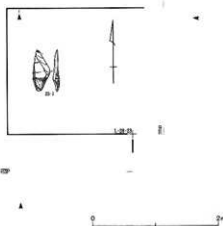
第190図 単独 1

単独 4 (第191図)

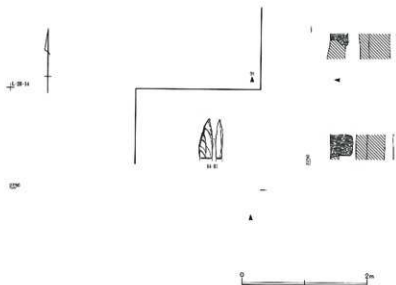
L-28-23グリッド、発掘調査区の西側に石器集中8・9・11と少し離れて位置する。

石器はナイフ形石器、石材はシルト岩で石器集中9の14-77、石器集中14の15-21・11-76・16-6等の剥片と同一母岩である。

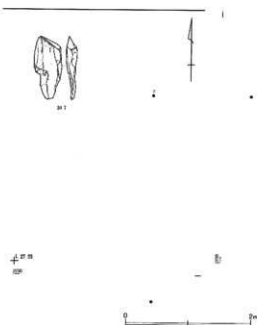
石器の出土層位は第IV層である。



第191図 単独 4



第192図 単独 3



第193図 単独 9

単独10 (第194図)

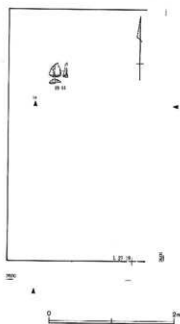
L-27-19グリッドに位置する。黒曜石のナイフ形石器の先端部破片である。

遺物の出土層位は第IV層である。

単独 9 (第193図)

L-27-20グリッド、石器集中14・15の北西側に近接する。石器はシルト岩の剥片で石器集中14の15-21・11-76・16-6等の剥片と同一母岩である。

遺物の出土層位は第IV層中である。

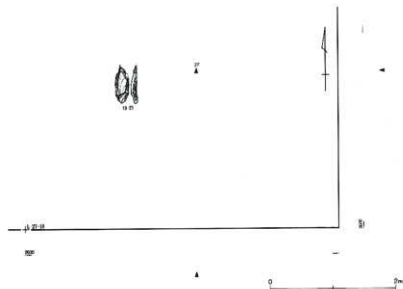


第194図 単独10

単独11 (第195図)

L-27-18グリッドに位置し、周辺は第2文化層の石器集中が密集する。黒耀石製のナイフ形石器である。

石器の出土層位は第IV層である。周辺の石器集中に比べ約50cm浅い所から出土しており区別できた。



第195図 単独11

第47表 単独出土石器一覧

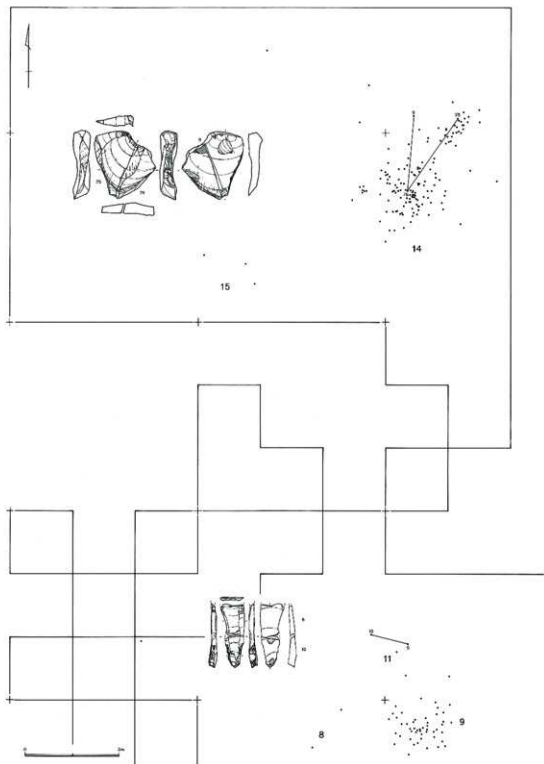
番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
19	L-29-21	300	89	2714.0	砕片	1.85	2.2	0.55	2.30	チャート	
91	L-28-14	384	386	2706.0	ナイフ	3.15	1.15	0.6	2.09	安山岩	実測
1	L-28-23	415	420	2698.0	ナイフ	3.3	1.4	0.5	1.66	シルト岩	実測
7	L-27-20	339	222	2654.0	削片	5	2.2	0.9	8.2	シルト岩	実測
14	L-27-19	354	443	2581.0	ナイフ	1.15	0.95	0.35	0.19	黒耀石	実測
27	L-27-18	352	272	2568.0	ナイフ	2.95	1.1	0.5	1.5	黒耀石	実測

石器接合 (第196図)

本文化層の石器接合の状況は、石器集中11と石器集中14それぞれで2例見られる。

○石器集中11の接合資料(6・10)は、黒耀石製のナイフ形石器の未製品と思われる石器である。現状の接合状態では先端部が欠けている。

石器集中11は石器の総数が4点と少なく、南側に近接する石器集中9が56点のまとまっているため、石器集中9の周辺的存在とも見えるが、接合は石器集中内で完結している。石器の接合距離は1.2mである。



第196図 第1文化層石器接合図

○石器集中14の接合資料は、幅広厚手の剥片が長軸方向で25と76の二つに折れ、その際に碎片9が接ねたと考えられる。

石器集中14は石器の総数164点と多く、その分布は南側と北側に中心が在り瓢箪のような格好である。接合は76が南側部分の中心に在り、25は北側部分、9は北側のままとりの西側に単独気味に位置する。それぞれの接合距離は25と76が2.8m、76と9が2.4m、である。

第1文化層出土石器（第197～203図）

本文化層から出土した石器の総数は470点で、器種組成はナイフ形石器14点（内接合1例で13点）、削器3点、石核6点、ブランディングチップ2点、剥片54点、碎片391点である。

ナイフ形石器（第197図1～13）

1は先端を若干欠損する。上位方向からの縦長剥片を素材に用いており、外形は左側縁を底面にすると三角形となり、左右非対称である。刃部は右刃で先端角は41°、側刃角は124°である。正面の剥離面の方向と主要剥離面の打撃方向はほぼ一致しており、同一方向から連続して剥片が剥離されていたことが窺える。調整加工は左側縁の基端部から先端までと右側縁に通常の Blunting が施されている。出土地点はL-28-23グリッドで、石質は剥片17～21などと同一母岩である。

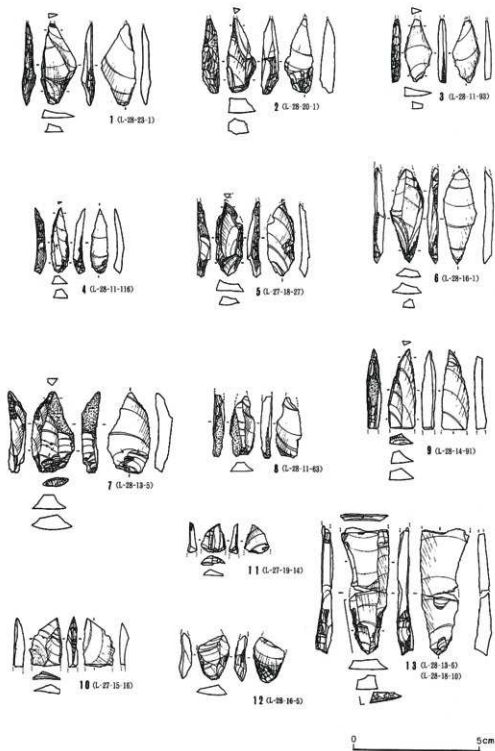
2は先端を若干欠損する。上位方向からの縦長剥片を素材に用いている。外形は左側縁が直線となり基端部が十字状を呈する左右非対称である。刃部は右刃で先端角は33°、側刃角は135°である。正面の剥離面は上位と下位方向がみられ、両設打面の石核から剥離されたことが窺える。調整加工は左側縁が基端部から先端に比較的大きい剥離、右側縁は基部下半部に規格的な剥離、裏面基端部付近に両側縁からの平坦剥離が施されている。横断面は厚手の台形状をしている。

3は先端を若干欠損する。上位方向からの縦長剥片を素材に用いている。外形は菱形を呈し、左右対称である。刃部は右刃で先端角41°、側刃角141°である。正面の剥離面と主要剥離面の方向は180°異なり、両設打面の石核から剥離されたことが窺える。調整加工は右側縁が基端部から先端にかけて通常の Blunting、左側縁の下半部に細かい剥離が施されている。

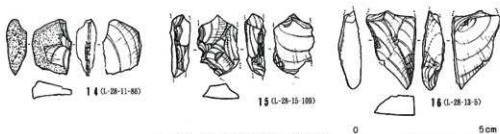
4は上位方向からの縦長剥片を素材に用いている。外形は小形細身で先端は鋭利となり、左右対称形を呈する。刃部は右刃で先端角30°、側刃角171°である。正面に3枚の剥離面が並ぶがいづれも主要剥離面と同一方向からの剥離である。調整加工は左側縁の上半部に通常の Blunting、下半部に素材作出前の剥離面による平坦面が作られている。右側縁は下半部に微細な剥離が施されている。また、裏面基端部付近に平坦剥離が見られる。

5は先端から右側縁上半部にかけて若干欠損する。素材は上位方向からの縦長剥片を用いている。外形は両側縁が平行し先端及び基端が尖り、左右対称形を呈している。刃部は欠損しているため明確ではないが、右刃になると思われる。正面の剥離方向は主要剥離面と90°異なり、左側縁及び右側縁付近に原石面が残っていることから、原石面に近い初期段階の剥片を素材に用いていたことが窺える。調整加工は両側縁に通常の Blunting が施されている。

6は先端を欠損する。上位方向からの縦長剥片を素材に用いている。外形は基端鋭利に尖る菱形



第197图 第1文化層出土石器(1)



第198図 第1文化層出土石器(2)

を呈し左右対称である。刃部は右刃で先端角は 35° 、側刃角は 147° である。正面の剥離面は上位と下位方向のものがあり両設打面の石核から剥離したものと考えられる。調整加工は基端部の付近と右側縁上半部に微細な剥離が施されている。

7は下位方向からの縦長剥片を素材に用いており、打面を残置する。外形は基部中程から窄まり先端は尖る、左右非対称である。刃部は右刃で正面に原石を残している。先端角は 59° 、側刃角は 161° である。打面は原石を残し細かい剥離が若干施されている。正面は主要剥離面と同一方向の剥離面が3枚並び、先端部付近に原石面を残している。調整加工は基端部付近に細かい剥離、先端左側縁部に細かい Blunting が施されている。

8は先端部を大きく欠損する。上位方向からの縦長剥片を素材に用いている。正面は左側に原石面を残しており、2枚の平行する剥離面は主要剥離面と同一方向である。外形は基端がコ字状となり先端は右刃で尖るものと思われる。調整加工は左側縁の上半部に細かい剥離が施され、正面からの剥離によって欠損している。

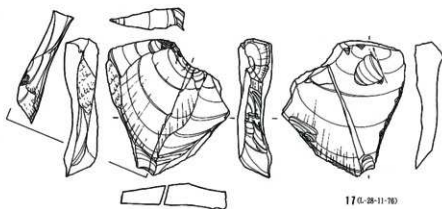
9は下半部を裏面方向からの力によって欠損する。下位方向からの縦長剥片を素材に用いており、左側縁に原石面を残している。外形は先端に向かって尖がり、左右対称形をしている。刃部は右刃で先端角は 41° である。正面の剥離面と主要剥離面の剥離方向はほぼ一致している。調整加工は左側縁の下半部に通常の Blunting、先端部付近に正面及び裏面からの剥離がみられ、剥離が施されていない部分に原石面を残す。

10は下半部を裏面方向からの力によって欠損する。右位方向からの横長剥片を素材に用いて、打面側に調整加工を施している。外形は右側縁が直線を呈し、先端角は 62° で刃部は左刃である。正面の剥離面は主要剥離面と 90° 及び 180° 異なる。調整加工は先端の厚い部分で通常の Blunting、薄い部分に細かい剥離が施されている。

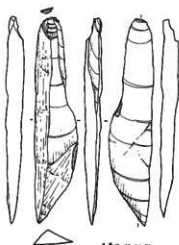
11は先端部の破片である。縦長剥片を素材として用いていると思われる。刃部は右刃で調整加工が先端左側縁に細かい剥離が施されている。

12は上半部を欠損する。上位方向からの縦長剥片を素材に用いている。調整加工は基端部付近及び裏面に施されている。

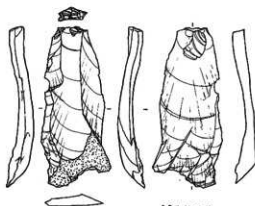
13は現存する部分を含めて3点以上に割れており、欠損面はともに正面方向からの力によって折れている。素材は下位方向からの縦長剥片を用いている。外形は剥片の形状をあまり変えておらず、不正形である。調整加工は基端部付近に通常の Blunting が施されているだけで、ナイフ形石器の未製品の可能性が高い。



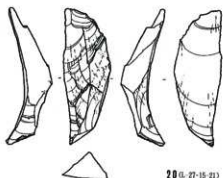
17 (G.28-11-70)



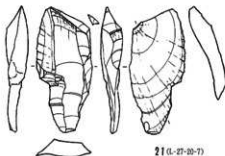
18 (G.28-14-7)



19 (G.28-16-6)



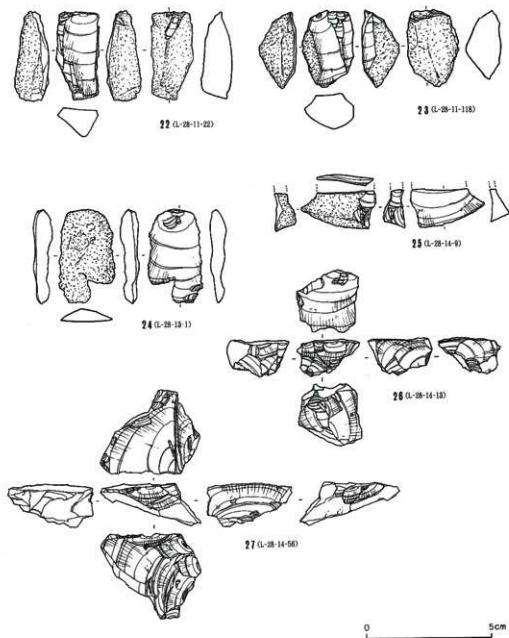
20 (G.27-15-21)



21 (G.27-20-7)

0 5cm

第199図 第1文化層出土石器 (3)



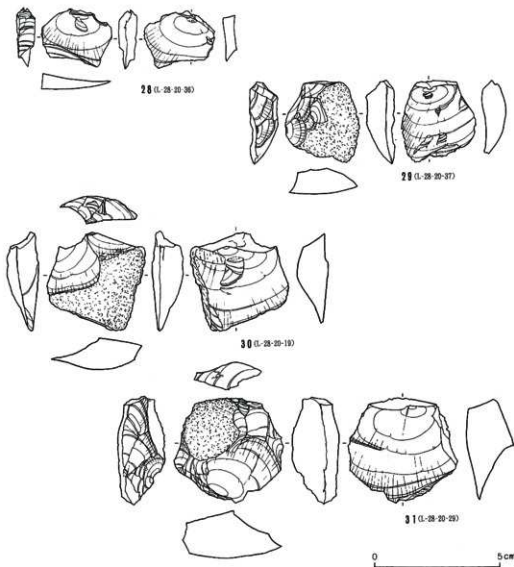
第200図 第1文化層出土石器(4)

削器 (第198図14～16)

14は正面に原石面を残した横長剥片である。打面付近に刃部加工が施されている。

15は両端部を欠損する。厚手の縦長剥片を素材とし打面部を欠く。正面は両側縁からの剥離面で構成され、刃部加工は左側縁が鋸歯状、右側縁が細かい剥離によって作り出されている。

16は不定形の剥片で左側縁に細かい剥離がみられる。

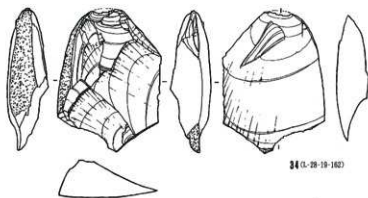
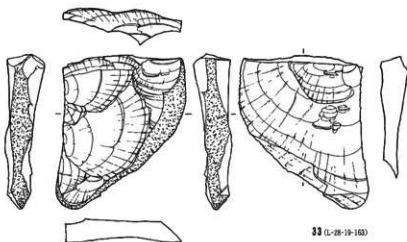
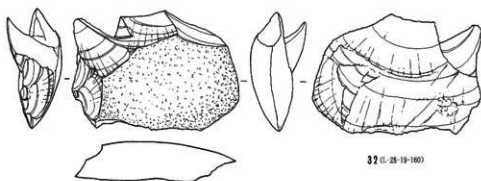


第201図 第1文化層出土石器 (5)

石核 (第200図22・23・26・27)

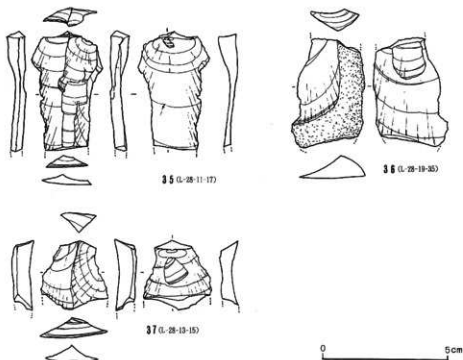
22・23は小形角礫を素材とし、打面は原石面を直接用いて剥離等による整形を施しておらず、剥離角は鋭角となる。打面は単設で作業面は正面に固定している。現存する剥離面から数枚の剥片が取られていると想定できるが、いずれも小形の縦長剥片と思われる。石材は漆黒で透明度の無い黒耀石である。本石材の剥片類は14・24・25等が挙げられ、いずれも正面に原石面を残している。接合例は見られない。

26・27は大形厚手の剥片を素材とした石核である。作業面は主要剥離面を打面としており、小形の横長の剥片を剥離していたことが窺える。石材は良質で透明度の高い黒耀石である。



0 5cm

第202図 第1文化層出土石器(6)



第203図 第1文化層出土石器(7)

剥片 (第199～203図17～21・24・25・28～37)

17～21はシルト岩の剥片で同一母岩と考えられる。本石材の製品は1・6のナイフ形石器が含まれる。17は厚手の横広の縦長剥片である。打面は単剥離面で横に広く、3点に割れている。18は正面に節理面を残し、構成する剥離面は主要剥離面と同一方向の剥離である。19は両側縁が平行し正面の剥離面は主要剥離面の剥離方向と一致している。下半部に原石面を残す。打面は正面方向からの複剥離面で構成される。20は厚手で不定形の剥片で、打面を欠損している。21は打面が右側に寄っており、正面を構成する剥離面の方向は一定していない。

24・25は黒曜石の剥片である。石材の特徴に関しては上記してある。24は打面は岩石面から直接剥離している。25は上半部を大きく欠損する。

28～31はチャートの剥片で同一母岩と考えられる。28は横広の剥片である。正面と主要剥離面の剥離方向は共通する。29・30は正面に原石面を残す、厚手の剥片である。打面は単剥離面で広い。31は正面に原石面を残し、主要剥離面と180°逆方向からの剥離面がみられる。打面は単剥離で横広である。

32～33はホルンフェルスの大形剥片で同一母岩である。ともに正面に原石面を残し横広である。34は安山岩の大形剥片で左側部分に原石面を残している。3点とも近接して出土している。

35～37は安山岩の剥片である。35は下半部を欠損するが、正面にみられる2枚の剥離面と主要剥離面の剥離方向が同一で両側縁が平行に整えられており、石刃状をしている。36は上下両端を欠損しており正面に原石面を残している。本文化層の安山岩で蛍光X線分析による原産地推定を行ったのは、この1点のみで、利根川流域とされた。37は下半部を大きく欠損する。

第2文化層

本文化層は第Ⅶ層を中心に検出された。帰属する石器集中は13か所、単独が5点である。

石器の総数は196点で、器種組成はナイフ形石器7点、掻・削器2点、石核9点、剝片80点、碎片90点、礫器1点、磨石3点、敲石3点、原石1点となる。定型的石器はナイフ形石器が主体を成している。剝片と碎片の数は拮抗しており、第1文化層の碎片の在り方と対称的である。

石材は安山岩とチャートが主体を占め、黒曜石が殆ど使われていない。

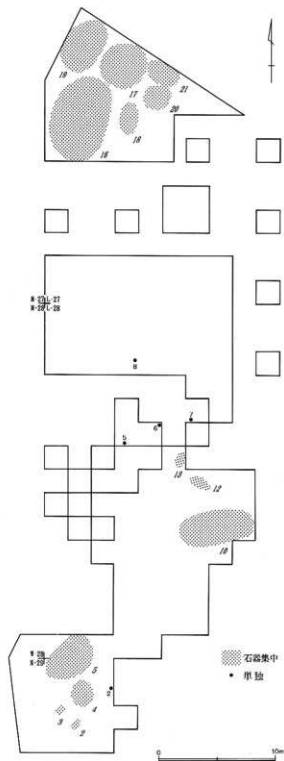
石器集中は調査区の南端と北端にまとまる傾向が見られる。南端の石器集中2～5の4か所がグループa、調査区中程の石器集中10・12・13の3か所をグループb、北端の石器集中16～21の6か所をグループcとまとめられる。

次に各グループの概要を整理すると
○グループaは石器集中5を中心とし、単独出土を含めるとナイフ形石器が3点出土している。

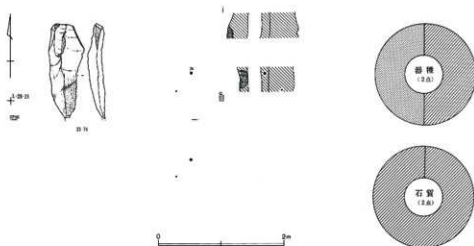
○グループbは規模の小さい集中がほとんどである。石器集中13から大形の磨石が検出された以外に、定型的石器は石器集中10から削器が1点出土している程度である。

○グループcは調査区の北端の三角形の地区に5か所の石器集中が密集している。石器集中16が中心と言えそうであるが、内容的に各集中とも充実した内容である。

石器はナイフ形石器は4点検出され、形態的にグループa出土のナイフ形石器と対比される。また、石核と敲石がまとめて出土している点が注目される。



第204図 第2文化層石器集中



第205図 石器集中2

石器集中2 (第205図)

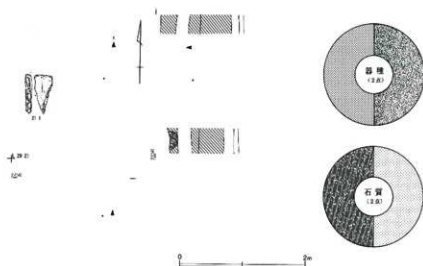
L-29-21グリッドに位置し、グループaに属する。石器集中3・4と近接している。遺物は0.5mの距離で2点が分布する。

石器の総数は2点と非常に少ない。器種組成は剝片と碎片である。用いられている石材はともに安山岩である。

遺物の出土層位は剝片が第VII層、碎片が第IX層中より出土している。

第48表 石器集中2 出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
74	L-29-21	558.0	288.0	2686.0	剝片	7.50	2.90	1.35	20.68	安山岩	実測
125	L-29-21	586.0	264.0	2660.0	碎片	1.70	1.30	0.30		安山岩	



第206図 石器集中3

石器集中3 (第206図)

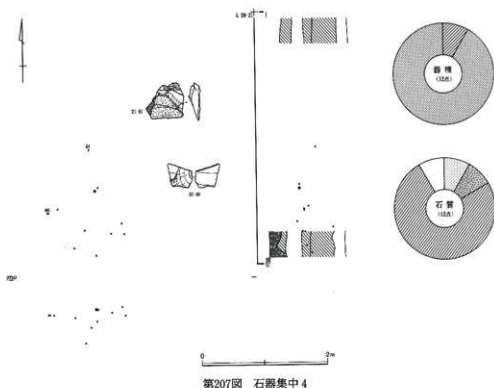
L-29-21グリッドに位置し、グループaに属する。石器集中2・4が近接している。遺物は0.5mの距離で2点が分布する。

石器の総数は2点と非常に少ないが、ナイフ形石器が1点出土し、他は碎片である。石材はチャートと粘板岩が用いられている。

遺物の出土層位は第IV層上面である。

第49表 石器集中3 出土石器一覧

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器 種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石 質	備 考
1	L-29-21	421.0	161.0	2694.0	ナイフ形石器	3.10	1.45	0.55	2.58	粘板岩	実測
2	L-29-21	473.0	146.0	2690.0	碎片	3.50	1.50	0.55	1.69	チャート	



第207図 石器集中4

石器集中4 (第207図)

L-29-21グリッドに位置し、グループaに属する。遺物の分布は南北2m、東西2mの範囲に分布する。

石器の総数は12点と少なく、器種組成は剥片1点、碎片11点と貧弱な内容である。石材は安山岩が9点、他にチャート、メノウ、ホルンフェルスがそれぞれ1点用いられている。21-61の碎片は石器集中5の21-35・21-78の剥片と接合する。

遺物の出土層位は、第VII層を中心に第VI～IX層にかけて出土した。

第50表 石器集中4 出土石器一覧

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器 種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石 質	備 考
14	L-29-21	332.0	384.0	2706.0	碎片	1.20	0.95	0.60	0.77	安山岩	実測
15	L-29-21	274.0	344.0	2701.0	碎片	A			0.02	安山岩	
17	L-29-21	280.0	342.0	2702.0	剥片	3.75	2.55	1.00	10.00	ホルンフェルス	
61	L-29-21	215.0	333.0	2674.0	碎片	2.95	3.00	3.10	0.61	安山岩	
66	L-29-21	308.0	282.0	2686.0	碎片	(0.9)	2.15	0.35	0.37	安山岩	
69	L-29-21	370.0	308.0	2690.0	碎片	2.80	0.85	0.45	0.61	チャート	
70	L-29-21	382.0	343.0	2683.0	碎片	0.70	1.00	0.25	0.15	安山岩	
71	L-29-21	348.0	367.0	2697.0	碎片	1.05	0.55	0.20	0.06	安山岩	
80	L-29-21	314.0	266.0	2694.0	碎片	1.80	1.20	1.00	1.59	メノウ	
80	L-29-21	314.0	266.0	2694.0	碎片	1.90	2.00	0.40	1.60	安山岩	実測
81	L-29-21	349.0	388.0	2693.0	碎片	1.30	0.55	0.35	0.26	安山岩	
134	L-29-21	342.0	325.0	2649.0	碎片				1.76	安山岩	

石器集中5 (第208図)

L-28-25グリッドとL-29-21グリッドの境に位置し、グループaの中心的存在である。石器集中4と近接し、石器の接合関係を有する。遺物は南北3m、東西2.5mの円形の範囲で、ナイフ形石器は密集の北及び東側に偏り、剥片類は東西に均等に分布する。

石器の総数は53点である。内訳はナイフ形石器2点、石核2点、剥片19点、碎片30点と充実している。

ナイフ形石器は2点出土しており、ともに右刃で基端部が尖鋭である点など形態が似ている。また、石器集中3のナイフ形石器も上半部を欠損するが基端部の作りは近い。石質は25-11が風化の進んだ粘板岩、25-10がチャート製である。

石材はチャート28点、安山岩22点が共に全体の過半数と拮抗している。他の石材は粘板岩の2点、砂岩の1点である。安山岩の29-21を蛍光X線分析した結果、原産地は箱根産と推定された。

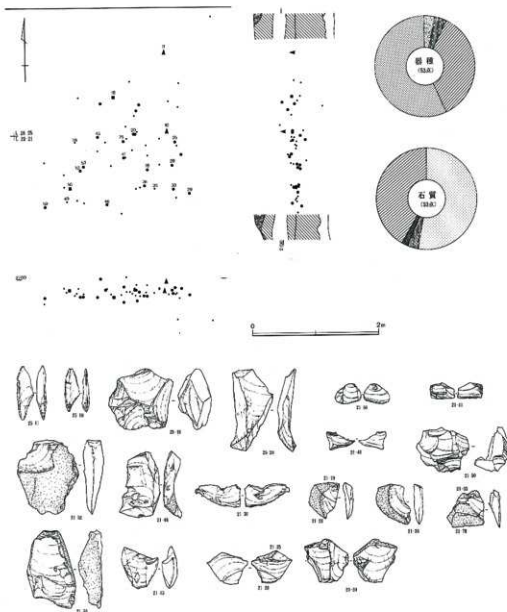
遺物の出土層位は、第Ⅶ層の中位を中心に比較的安定しており、一部第Ⅸ層中からの出土も見られる。

接合資料 赤色チャートの21-41・49・56の碎片3点が21-50の石核に接合している。接合距離は21-41が1.0m、21-49が0.2m、21-56が1.2mと21-50の石核を囲む様に分布している。同一母岩の剥片は石器集中19からも出土している。

21-29・79の剥片（折損した剥片が接合したもの）と21-36の剥片が接合する。接合距離は21-29と21-78が1.8m、21-29と21-36が0.7mである。

21-35と21-78は折れた剥片どうしの接合で、距離は0.5mである。また、21-61は石器集中4の碎片21-78と2m離れて接合する。

21-25と21-28は一枚の剥片の欠損器である。接分距離は0.5mである。

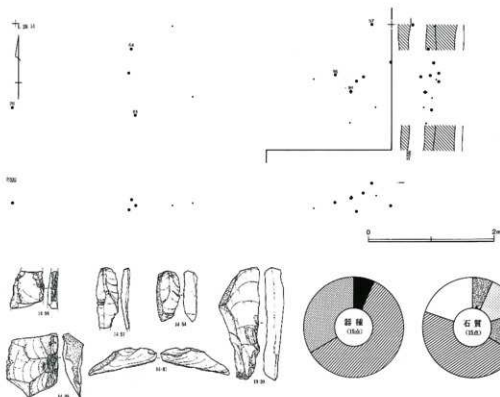


第208図 石器集中5

第51表 石器集中5出土石器一覧

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器 種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石 質	備 考
2	L-28-25	586.0	179.0	2704.0	碎片	2.20	2.00	0.55	1.63	チャート	実測 実測
3	L-28-25	550.0	138.0	2700.0	剥片	2.40	1.65	0.70	2.74	チャート	
4	L-28-25	515.0	185.0	2681.0	碎片	2.45	1.10	0.90	2.52	安山岩	
5	L-28-25	540.0	102.0	2685.0	碎片	1.15	0.85	0.20	0.27	安山岩	
6	L-28-25	561.0	195.0	2692.0	剥片	2.00	2.40	0.65	1.57	安山岩	
10	L-28-25	596.0	243.0	2696.0	ナイフ形石器	3.40	1.20	0.60	1.76	チャート	
11	L-28-25	471.0	240.0	2681.0	ナイフ形石器	4.50	1.55	0.75	3.55	粘板岩	

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(kg)	石 質	備 考
13	L-28-25	519.0	264.0	2671.0	砕片	1.85	1.05	0.35	0.57	安山岩	実測 実測
14	L-28-25	547.0	246.0	2677.0	砕片	C			0.47	チャート	
15	L-28-25	552.0	200.0	2680.0	剥片	2.70	1.90	0.45	2.22	安山岩	
17	L-28-25	569.0	192.0	2686.0	砕片	A			0.13	チャート	
18	L-28-25	540.0	159.0	2672.0	石核	4.85	5.15	2.65	52.98	砂岩	
19	L-28-25	598.0	193.0	2684.0	剥片	6.50	3.45	1.50	33.20	チャート	
20	L-28-25	598.0	193.0	2684.0	剥片	(2.2)	3.85	2.20	13.69	チャート	
22	L-28-25	594.0	196.0	2667.0	砕片	B			0.07	チャート	
34	L-28-25	413.0	316.0	2636.0	砕片	3.25	0.90	0.55	1.82	安山岩	
37	L-28-25	556.0	261.0	2637.0	砕片	1.60	2.00	0.50	0.99	安山岩	
20	L-29-21	33.0	212.0	2692.0	砕片	1.30	1.30	0.15	0.19	安山岩	実測 実測 実測
25	L-29-21	12.0	256.0	2687.0	剥片	2.50	3.30	0.90	3.50	チャート	
26	L-29-21	6.0	231.0	2686.0	砕片	2.02	0.90	0.30		チャート	
27	L-29-21	32.0	266.0	2686.0	剥片	1.70	1.95	0.40	1.17	安山岩	
28	L-29-21	48.0	251.0	2684.0	剥片	2.50	3.30	0.90	0.30	チャート	
29	L-29-21	93.0	279.0	2676.0	剥片	2.90	2.45	0.85	2.18	チャート	
30	L-29-21	86.0	253.0	2678.0	剥片	1.85	3.65	0.50	2.12	チャート	
31	L-29-21	100.0	257.0	2677.0	砕片	0.95	0.10	0.30	0.30	安山岩	
32	L-29-21	47.0	231.0	2687.0	砕片	1.70	0.75	0.40	0.37	安山岩	
34	L-29-21	17.0	210.0	2680.0	砕片	(2.8)	(1.35)	0.15	0.26	チャート	
35	L-29-21	85.0	223.0	2679.0	砕片	2.95	3.00	3.10	2.60	安山岩	実測 実測 実測 実測 実測 実測 実測 実測 実測 実測
36	L-29-21	80.0	207.0	2674.0	剥片	3.20	2.75	0.70	5.49	チャート	
37	L-29-21	83.0	200.0	2674.0	砕片	1.90	1.35	0.45	0.99	安山岩	
38	L-29-21	85.0	193.0	2675.0	砕片	1.05	1.45	0.20	0.13	チャート	
40	L-29-21	24.0	188.0	2678.0	砕片	1.10	1.80	0.55	0.05	粘板岩	
41	L-29-21	36.0	175.0	2688.0	剥片	1.25	2.00	1.20	2.10	チャート	
41	L-29-21	36.0	175.0	2688.0	砕片	0.80	0.80	0.10		安山岩	
42	L-29-21	11.0	145.0	2684.0	砕片	1.50	1.20	1.25	0.39	安山岩	
43	L-29-21	3.0	133.0	2671.0	剥片	3.35	2.95	1.15	8.89	チャート	
44	L-29-21	49.0	154.0	2677.0	砕片	(1.1)	(0.9)	1.00	0.11	チャート	
45	L-29-21	124.0	170.0	2676.0	砕片	1.70	1.85	0.70	1.05	安山岩	実測 実測 実測 実測 実測 実測 実測 実測 実測 実測
46	L-29-21	110.0	147.0	2685.0	剥片	5.25	3.35	1.40	19.69	チャート	
47	L-29-21	107.0	110.0	2678.0	砕片	0.95	1.50	0.45	0.48	チャート	
48	L-29-21	103.0	99.0	2678.0	砕片	1.20	1.20	0.25	0.20	安山岩	
49	L-29-21	105.0	83.0	2680.0	砕片	1.45	2.25	0.40	0.84	チャート	
50	L-29-21	84.0	88.0	2682.0	石核	3.55	4.25	2.75	24.17	チャート	
51	L-29-21	82.0	79.0	2687.0	砕片	(0.8)	1.50	0.30	0.29	安山岩	
52	L-29-21	56.0	105.0	2672.0	剥片	5.90	4.90	1.70	38.93	安山岩	
53	L-29-21	50.0	110.0	2673.0	剥片	6.20	3.90	1.90	34.47	チャート	
56	L-29-21	14.0	97.0	2675.0	砕片	1.60	2.05	0.40	0.99	チャート	
57	L-29-21	43.0	48.0	2662.0	砕片	1.10	2.40	0.50	1.02	チャート	実測 実測 実測 実測 実測 実測 実測 実測 実測 実測
59	L-29-21	114.0	49.0	2670.0	剥片	3.65	3.20	0.80	11.22	安山岩	
75	L-29-21	6.0	179.0	2681.0	砕片	1.30	1.40	0.45	0.59	チャート	
77	L-29-21	18.0	259.0	2678.0	砕片	1.00	1.20	0.20	0.21	安山岩	
78	L-29-21	55.0	212.0	2674.0	剥片	2.95	3.00	3.10	0.30	安山岩	
79	L-29-21	10.0	174.0	2664.0	剥片	2.90	2.45	0.85	1.76	チャート	



第209図 石器集中10

石器集中10 (第209図)

L-28-14グリッドに位置する。本石器集中と分布が近接する石器集中12・13とでグループbを形成する。遺物は東西で2つの小さなまとまりに分かれる。西側のまとまりは径約2mの範囲に剥片4点が散漫に分布し、東側のまとまりは発掘区のコーナーに径約1.5mの範囲で比較的良くまとまる。各まとまりの間、約2.5mからは殆ど石器の出土は見られない。西側が安山岩の剥片と単一であるのに対し、東側は14-97の削器、14-57の透明度の高い良質な黒曜石の剥片とバラエティーに富んでいる。

石器の点数は15点と少なく、器種組成は削器1点、剥片9点、砕片5点である。砕片に対する剥片の比率は高く、図示した石器は出土点数の割りに多い。

石材は黒曜石1点、チャート2点、メノウ2点、安山岩7点、ホルンフェルス3点と安山岩の比率は高いが、多数の石材が用いられている。

遺物の出土層位は第Ⅶ層全体に広がるが、概ねその範囲内に収まっている。

第52表 石器集中10出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
57	L-28-14	0.0	568.0	2698.0	剥片	4.85	1.80	0.70	4.68	黒曜石	実測
58	L-28-14	83.0	555.0	2683.0	剥片	(5.15)	2.70	2.00	20.09	安山岩	
60	L-28-14	131.0	575.0	2679.0	砕片	B			0.17	メノウ	

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
61	L-28-14	156.0	534.0	2675.0	砕片	1.40	0.80	0.50	0.65	メノウ	
64	L-28-14	39.0	185.0	2671.0	剥片	4.05	1.85	1.05	9.00	安山岩	実測
77	L-28-14	3.0	250.0	2662.0	砕片	1.30	1.00	0.15	0.19	安山岩	
78	L-28-14	77.0	181.0	2655.0	剥片	1.90	2.85	1.40	6.16	安山岩	
79	L-28-14	115.0	282.0	2666.0	砕片	B			0.05	安山岩	
81	L-28-14	144.0	191.0	2662.0	剥片	2.25	5.45	0.40	3.53	チャート	実測
92	L-28-14	60.0	598.0	2663.0	剥片	(4.15)	2.85	1.30	10.90	チャート	
94	L-28-14	106.0	535.0	2676.0	掻・削器	2.95	2.70	1.10	8.07	安山岩	実測
96	L-28-14	80.0	510.0	2668.0	剥片	5.05	4.15	1.70	26.06	ホルンフェルス	実測
99	L-28-14	90.0	544.0	2654.0	剥片	1.55	5.15	0.75	3.53	ホルンフェルス	
100	L-28-14	87.0	476.0	2659.0	砕片	1.65	0.90	0.30	0.44	ホルンフェルス	
20	L-28-19	133.0	595.0	2666.0	剥片	8.90	3.30	1.55	39.74	安山岩	実測

第53表 石器集中12出土石器一覧

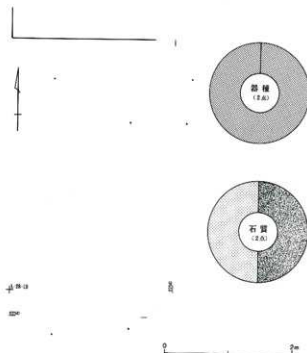
番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
7	L-28-13	333.0	190.0	2730.0	砕片	2.50	2.10	1.30	3.61	チャート	
8	L-28-13	264.0	70.0	2721.0	砕片	(1.3)	1.15	0.30	3.04	黒曜石	

石器集中12 (第210図)

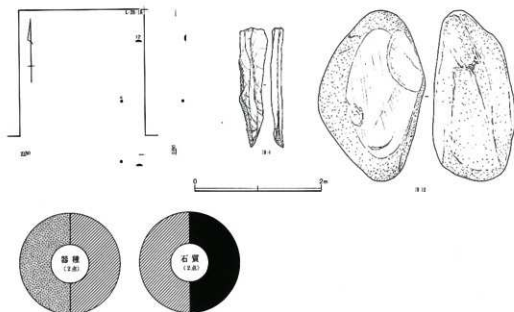
L-28-13グリッド、グループbに属する。石器集中10と石器集中13の中間に位置している。遺物は2点が約1.5m離れて出土した。

石器の点数は2点と非常に少なく、内容も砕片2点と貧弱である。石材は黒曜石とチャートがそれぞれ1点である。

遺物の出土層位は第VII層である。



第210図 石器集中12



第211図 石器集中13

石器集中13 (第211図)

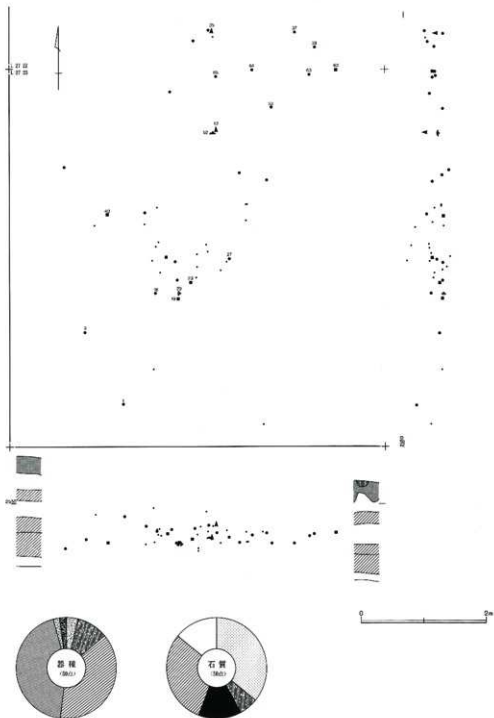
L-28-18グリッドに位置し、グループbに属する。石器集中12と近接している。遺物は南北方向に約1mの距離で2点出土している。

石器の総数は2点と非常に少なく、器種は縦長剥片1点、大形の磨石1点となる。縦長剥片は安山岩製である。打面は1枚の剥離によって作られ、右側部分に細かい調整剥離が施されている。正面に主要剥離面と同一方向の剥離面が3枚見られ、大形の石刃状剥片が連続的に剥離されていたことが伺えるが、下半部両側縁に原石面を残しており、剥片剥離の初期段階のものである。大形の磨石は砂岩を用いており、正面と裏面に擦痕が観察できる。大きさから本石器を持って何等かの作業を行うことは不可能と思われ、設置して使用したと考える。周辺に石器が出土していないが、石器集中10等をからめて考える必要があるかもしれない。

遺物の出土層位は第Ⅶ層である。

第54表 石器集中13出土石器一覧

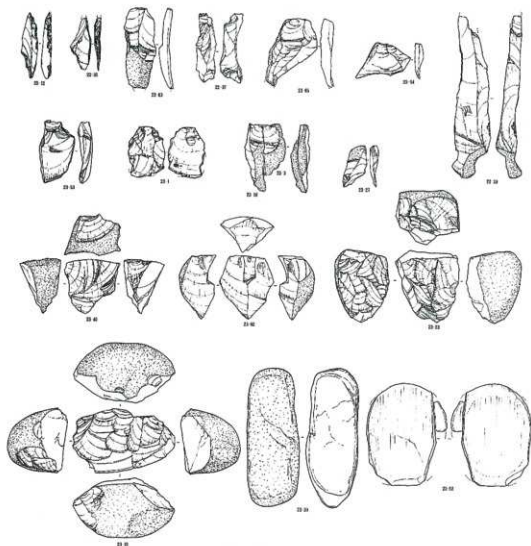
番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
4	L-28-18	145.0	562.0	2739.0	剥片	9.50	2.35	0.95	18.15	安山岩	実測
12	L-28-18	50.0	590.0	2733.0	磨石	13.55	6.60	6.40	948.94	砂岩	実測



第212図 石器集中16 (1)

石器集中16 (第212・213図)

L-27-23グリッドを中心にL-27-22グリッドの境に位置し、L-27グリッドにまとまる石器集中



第213図 石器集中16(2)

16～21のグループcに属する。石器集中17～19と近接している。石器は南北約7m、東西約3.5mの楕円形状の広範囲に分布し、石器はの中で更にL-27-23グリッド杭の周辺にまとまるグループと、分布の中央から若干南西側にずれてまとまるグループの2つに分けることができる。また、分布の中心はそれぞれに見られる。

石器の総数は50点とそれほど多い方ではないが、ナイフ形石器2点、石核5点、剥片19点、碎片22点、磨石1点、敲石1点と内容は充実しており、実測図も多い。ナイフ形石器は基端部が尖る23-12と、両端を若干欠損する23-35の2点が出土し、分布はともに北側に偏る。本集中の組成の特色は石核が5点とまとまり磨石、敲石等が出土している点が挙げられる。

大形の石核23-23・23-19の2点と敲石23-20は重なるように出土しており、泥が付着している段階では雑群と見間違える程であった。石核と敲石又は台石とが重なるように出土する例は、たまに見

ることができ、何等かの作業状態を示している例として重要である。本石核に接合する剥片類の出土はみられない。しかし、石核23-23と同一母岩と思われるナイフ形石器17-49が近接する石器集中17から出土している。

石材は、チャート18点、粘板岩3点、砂岩7点、安山岩15点、ホルンフェルス7点である。ナイフ形石器は粘板岩とホルンフェルスが用いられている。石核は安山岩2点、チャート2点、ホルンフェルス1点と全体の石材組成にほぼ同調している。

石器の出土層位は第VII層を中心とし、第VI～IX層の一部にまたがっている。

接合資料 安山岩の剥片が主軸方向で2つに割れた23-3と23-27は2.7mの距離で接合し、本剥片の次の段階で剥離された23-18と1.3mの距離で接合する。

砂岩製の碎片の接合例は図示していないが、0.7mの距離で接合する。

第55表 石器集中16出土石器一覧

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器 種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石 質	備 考
34	L-27-22	541.0	319.0	2517.0	剥片	4.10	2.50	1.00	13.40	安山岩	
35	L-27-22	544.0	324.0	2497.0	ナイフ形石器	4.15	1.70	0.55	2.55	粘板岩	実測
36	L-27-22	552.0	326.0	2515.0	砂片	1.25	1.50	0.30	0.32	安山岩	
37	L-27-22	546.0	455.0	2488.0	剥片	5.55	1.65	1.80	12.08	チャート	実測
38	L-27-22	558.0	293.0	2512.0	剥片	4.00	1.50	0.80	4.20	砂岩	
39	L-27-22	567.0	487.0	2503.0	剥片	12.80	3.10	2.10	40.19	チャート	実測
1	L-27-23	533.0	181.0	2530.0	剥片	4.00	2.90	0.80	9.62	安山岩	実測 分析
3	L-27-23	420.0	120.0	2493.0	剥片	5.40	3.25	1.65	5.99	安山岩	実測
7	L-27-23	305.0	227.0	2544.0	砂片	0.90	1.75	0.35	0.64	チャート	
8	L-27-23	280.0	314.0	2539.0	砂片	1.80	1.65	0.40	1.24	ホルンフェルス	
9	L-27-23	250.0	135.0	2533.0	砂片	1.80	2.20	0.50	2.00	チャート	
12	L-27-23	100.0	330.0	2517.0	ナイフ形石器	5.25	1.35	0.85	4.75	ホルンフェルス	実測
14	L-27-23	477.0	229.0	2490.0	砂片	1.60	0.20	0.45	0.71	安山岩	
18	L-27-23	357.0	233.0	2507.0	剥片	5.40	3.25	1.65	8.50	安山岩	実測
19	L-27-23	365.0	269.0	2489.0	石核	5.15	8.15	4.75	228.22	ホルンフェルス	実測
20	L-27-23	357.0	271.0	2487.0	敲石	10.95	4.40	0.40	335.84	砂岩	実測
20	L-27-23	357.0	271.0	2487.0	砂片	0.90	1.15	0.55		安山岩	
21	L-27-23	336.0	267.0	2488.0	剥片	4.10	3.00	2.00	17.14	チャート	
22	L-27-23	325.0	240.0	2501.0	砂片	1.50	1.10	0.35	0.65	チャート	
23	L-27-23	340.0	289.0	2494.0	石核	5.70	5.15	4.35	137.53	安山岩	実測
24	L-27-23	332.0	298.0	2503.0	砂片	0.95	1.35	0.40	0.38	チャート	
25	L-27-23	308.0	264.0	2488.0	剥片	4.00	2.55	0.60	4.00	ホルンフェルス	
26	L-27-23	300.0	250.0	2504.0	石核	4.30	3.10	2.45	32.43	チャート	
27	L-27-23	303.0	351.0	2498.0	剥片	3.25	1.90	0.70	3.28	安山岩	実測
28	L-27-23	320.0	337.0	2489.0	砂片	0.90	2.40	0.50	0.86	チャート	
29	L-27-23	307.0	347.0	2509.0	砂片	1.65	2.10	0.40	1.24	安山岩	
32	L-27-23	276.0	237.0	2511.0	砂片	2.00	0.95	0.40	0.64	チャート	
33	L-27-23	283.0	233.0	2510.0	砂片	1.75	1.00	0.45	0.59	砂岩	
35	L-27-23	248.0	215.0	2487.0	砂片	1.40	1.65	0.55	1.06	安山岩	
36	L-27-23	221.0	235.0	2502.0	砂片	2.30	1.10	0.50	1.04	安山岩	
39	L-27-23	230.0	216.0	2515.0	剥片	3.00	2.20	1.00	5.42	チャート	
40	L-27-23	233.0	155.0	2489.0	石核	4.25	4.45	3.30	49.12	安山岩	実測
45	L-27-23	291.0	317.0	2507.0	砂片	0.85	1.25	0.50	0.46	チャート	

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器 種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石 質	備 考
46	L-27-23	242.0	378.0	2506.0	碎片	1.20	1.95	0.40	0.99	ホルンフェルス	
49	L-27-23	216.0	379.0	2491.0	碎片	0.80	1.10	0.35	0.45	チャート	
49	L-27-23	216.0	379.0	2491.0	碎片	1.30	1.70	0.70	0.02	チャート	
50	L-27-23	167.0	367.0	2490.0	剥片	2.45	2.00	0.50	2.67	チャート	
51	L-27-23	178.0	411.0	2505.0	剥片	3.35	1.10	0.40	1.29	砂岩	
52	L-27-23	102.0	325.0	2496.0	磨石	8.15	6.35	2.15	147.11	砂岩	実測
52	L-27-23	102.0	325.0	2496.0	碎片	1.75	1.85	0.55	0.20	砂岩	
53	L-27-23	63.0	419.0	2488.0	剥片	5.00	2.80	1.10	17.04	チャート	実測
57	L-27-23	315.0	299.0	2481.0	碎片	1.75	1.90	0.60	1.39	砂岩	
58	L-27-23	296.0	299.0	2477.0	碎片	2.50	1.50	0.35	1.08	ホルンフェルス	
61	L-27-23	159.0	87.0	2479.0	剥片	3.45	1.45	0.65	3.43	チャート	
62	L-27-23	4.0	521.0	2505.0	石核	5.05	4.35	2.90	43.30	チャート	実測
63	L-27-23	11.0	479.0	2500.0	剥片	6.45	2.60	1.20	13.84	粘板岩	実測
64	L-27-23	4.0	388.0	2502.0	剥片	2.85	4.35	0.85	6.50	安山岩	実測
65	L-27-23	14.0	331.0	2505.0	剥片	5.45	4.10	1.05	17.48	粘板岩	実測
67	L-27-23	39.0	256.0	2510.0	剥片	2.20	1.90	0.90	2.90	ホルンフェルス	
73	L-27-23	564.0	404.0	2507.0	碎片	1.80	1.95	0.40	1.19	安山岩	

石器集中17 (第214図)

L-21-17グリッドとL-27-22グリッドとの境に分布し、グループcに属する。石器集中18と近接する。

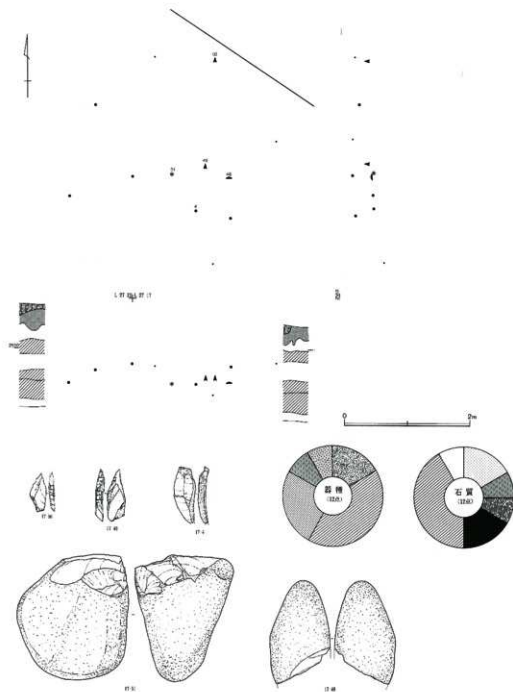
本石器集中は調査区の北端、台地の先端部に位置し、発掘区の限界ラインに近接する。台地はもう少し北に延びるが、東西方向に細い道が通り削られており、その北側は住宅建設によってローム面深く掘り返されているため、本地区の北側、台地の先端部への遺跡の拡がりや、これ以上追及できなかった。

遺物は南北約3m、東西約2.5mのほぼ円形の範囲に散漫に分布する。ナイフ形石器は分布の中央部(17-49)と北端(17-50)からそれぞれ1点出土している。17-50のナイフ形石器は発掘の限界ラインからの出土であり、遺跡が台地先端部に延びていたことを思わせる。礫器と磨石は分布の中央部からともに検出されている。

石器の総数12点とそれほど多くはないが、器種組成はナイフ形石器2点、剥片5点、碎片3点、礫器1点、磨石1点と内容は豊かである。

石材はチャート2点、シルト岩1点、粘板岩1点、砂岩2点、安山岩5点、ホルンフェルス1点である。安山岩が割合的に多いが、石器点数の割りにバラエティーに富み、黒曜石とメノウを除く本文化層にみられる石材のほとんどが用いられている。

石器は第VI層下部から第VII層上面にかけて出土している。剥片類は若干浅い地点からの出土もあるが、ナイフ形石器と礫器、磨石は第VII層の上面に並ぶように出土している。



第214図 石器集中17

第56表 石器集中17出土石器一覧

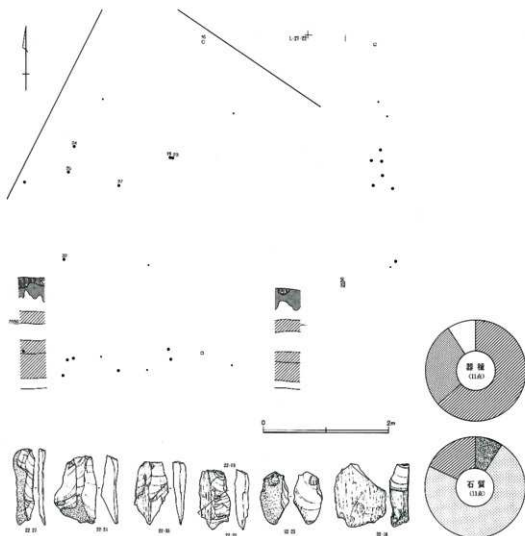
番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
2	L-27-17	472.0	157.0	2523.0	剥片	3.50	1.40	0.90	3.42	安山岩	

れる。

接合資料 砂岩製の剥片18-28と18-46が0.4mの距離で接合する。

第57表 石器集中18出土石器一覧

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器 種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石 質	備 考
19	L-27-18	136.0	119.0	2532.0	砕片	2.90	0.90	0.65	1.15	チャート	
28	L-27-18	309.0	120.0	2544.0	剥片	3.40	4.45	0.90	6.68	ホルンフェルス	実測
29	L-27-18	257.0	93.0	2535.0	砕片	2.00	2.20	0.75	3.68	ホルンフェルス	
30	L-27-18	296.0	135.0	2519.0	砕片	0.90	2.10	0.40	0.84	ホルンフェルス	
31	L-27-18	322.0	124.0	2522.0	砕片	3.00	2.30	0.70	4.44	ホルンフェルス	
42	L-27-18	304.0	96.0	2514.0	剥片	3.45	3.00	1.10	10.87	安山岩	実測 分析
44	L-27-18	284.0	91.0	2509.0	剥片	10.05	3.45	1.35	30.66	ホルンフェルス	実測
46	L-27-18	268.0	122.0	2504.0	剥片	3.40	4.45	0.90	4.42	ホルンフェルス	実測
48	L-27-18	308.0	136.0	2484.0	剥片					安山岩	



第216図 石器集中19

石器集中19 (第216図)

L-27-22グリッドに位置し、グループcに属する。石器集中16・17と近接する。遺物は発掘区コーナーの狭くなる部分で、南北約3.5m、東西約3.5mの不正円形の範囲に散漫に分布している。22-16の黒曜石の原石は発掘限界ライン上からの出土である。

石器の総数は11点と少なく、器種組成は剥片7点、砕片3点、原石1点と単純である。剥片は22-25の安山岩製の剥片は蛍光X線分析による原産地推定を行った結果。チャート製の剥片は22-27が赤色をしており、石器集中5の21-50の石核に接合する21-56・21-41・21-49の砕片と同一母岩である。他のチャートの剥片は接合していないが、22-24は同一母岩である。黒曜石の原石22-16は扁平で隅丸方形に近い形をしている。左上方向からの剝離が一枚施されている。一見素材の品質を確かめる為の剝離の様に思われる。

石材は黒曜石1点、チャート8点、安山岩2点とチャートの占める割合が高い。

遺物は第VI層下部から第IX層下部にかけて出土しているが、概ね第VII層中におさまっている。また、22-19と22-20と22-33の接合は、ある程度の層位幅を持っており、本集中の同時期性を裏付けている。

接合資料 22-19と22-20はチャートの縦長剥片が長軸方向で2つに折れたもので、平面的には殆ど接近しているが、垂直方向に約0.15m離れている。本資料と22-33は2.4mの距離で接合する。

第58表 石器集中19出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
8	L-27-22	234.0	148.0	2508.0	剥片	3.00	1.40	0.65	2.49	チャート	
15	L-27-22	125.0	481.0	2485.0	砕片	(2.55)	1.30	0.45	1.07	チャート	
16	L-27-22	12.0	433.0	2504.0	原石	4.95	4.15	1.60	32.37	黒曜石	実測
19	L-27-22	195.0	380.0	2510.0	剥片	5.10	3.65	1.45	6.50	チャート	実測
20	L-27-22	196.0	384.0	2494.0	剥片	5.10	3.65	1.45	3.65	チャート	実測
23	L-27-22	102.0	270.0	2499.0	砕片	1.40	0.75	0.35	0.28	安山岩	
24	L-27-22	178.0	226.0	2496.0	剥片	5.45	3.40	1.35	19.82	チャート	実測
25	L-27-22	218.0	217.0	2493.0	剥片	4.15	2.20	1.10	11.81	安山岩	実測 分析
27	L-27-22	239.0	298.0	2477.0	剥片	6.05	1.70	0.60	4.80	チャート	実測
29	L-27-22	367.0	346.0	2477.0	砕片	1.30	1.90	0.40	1.30	チャート	
33	L-27-22	358.0	210.0	2469.0	剥片	5.10	3.65	1.45	10.40	チャート	実測

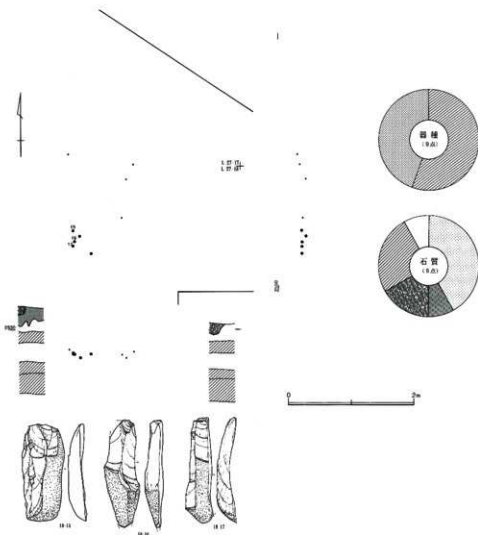
石器集中20 (第217図)

L-27-18グリッドを中心にL-27-17グリッドの境に位置する。グループcに属しており、石器集中18・19・21と近接する。遺物は径約0.5mの範囲に剥片が5点密集し、図示した27-15・27-16・27-17の大型縦長剥片は折り重なるように出土している。また、砕片は北側に散漫に分布する。

石器の総数は9点と少なく、器種組成は剥片が5点、砕片が4点と単純な内容である。

石材はチャート1点、シルト岩2点、砂岩2点、安山岩2点、ホルンフェルス2点と点数の割りにバラエティーに富んでおり、主体と成る石材は見られない。図示した3点の縦長剥片は砂岩1点とホルンフェルス2点である。

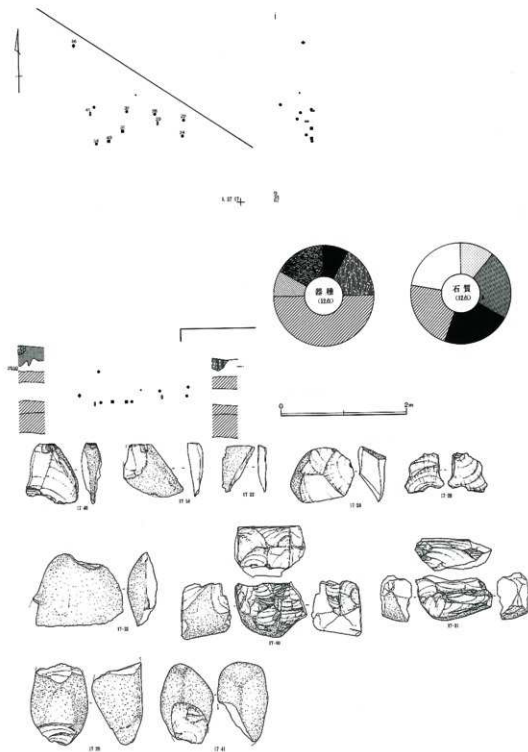
石器は第VI層下部から第VII層上面にかけて検出された。



第217図 石器集中20

第59表 石器集中20出土石器一覧

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器 種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石 質	備 考
36	L-27-17	597.0	430.0	2515.0	砕片	0.90	1.15	0.25	0.27	シルト岩	
38	L-27-17	581.0	327.0	2519.0	砕片	1.80	1.00	0.45	0.37	シルト岩	
7	L-27-18	21.0	418.0	2506.0	砕片	1.05	1.10	0.45	0.45	安山岩	
8	L-27-18	82.0	411.0	2511.0	砕片	1.00	1.60	0.60	0.75	安山岩	
9	L-27-18	139.0	362.0	2511.0	剥片	4.90	3.20	1.20	16.93	砂岩	
10	L-27-18	111.0	344.0	2506.0	剥片	3.80	4.00	1.70	22.14	チャート	
15	L-27-18	102.0	333.0	2513.0	剥片	7.70	3.40	1.55	37.10	ホルンフェルス	実測
16	L-27-18	120.0	335.0	2511.0	剥片	8.50	2.95	1.50	28.64	砂岩	実測
17	L-27-18	127.0	333.0	2512.0	剥片	8.35	2.25	1.45	27.16	ホルンフェルス	実測



第218図 石器集中21

石器集中21 (第218図)

L-27-17グリッドに位置し、グループcに属する。遺物は発掘区の限界ラインに張り付くかのよう分布している。石器集中20と近接し碎片の散漫な分布を合わせると、両石器集中は区分できなくなる。しかし、石器集中20が小範囲に剥片が密集する点、本石器集中が発掘区の北側限界ラインに沿うようにまとまる点など、それぞれ独自の在り方を示しているため、異なる石器集中とし分離しておいた。

遺物は南北約1m、東西約2mの長方形の範囲にまとまり、削器1点が北西側に約1m離れて分布する。石核はともに近接しており、敲石の2点は集中の東西から出土している。安山岩の剥片17-28は分布の中央部から出土しており、蛍光X線分析による原産地推定を行った結果、利根川とされる。

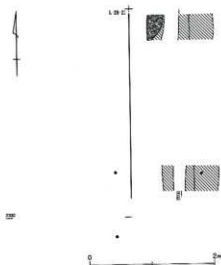
石器の点数は12点と多い方ではないが、削器1点、石核2点、剥片6点、碎片1点、敲石2点を器種組成に含み、図示した石器は10点と多い。本石器集中から安山岩の拳大の礫を用いた敲石が2点検出されている。また、大形の石核2点が出土しており、石器集中16の石核資料と考え合わせると、グループcが碎片に対する剥片の比率が高い点など、本グループが当該文化層の中で中心的な位置であったことが窺える。

石材はチャート5点、シルト岩1点、粘板岩2点、安山岩3点、ホルンフェルス1点となり、チャートと安山岩が石材の主体を占めている。石核(17-31・17-40)と削器(17-46)はチャートの同一母岩と思われる。安山岩の3点は敲石2点と分析を行った剥片(17-28)である。

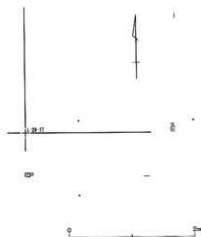
遺物の出土層位は、第Ⅵ層下部から第Ⅶ層にかけてであり、第Ⅶ層上面に多くまとまる。剥片1点が第Ⅴ層の上面から出土しているが、分布の状況から分離せずにおいた。

第60表 石器集中21出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石質	備考
13	L-27-17	446.0	369.0	2544.0	剥片	3.50	2.40	0.90	8.45	チャート	
22	L-27-17	469.0	511.0	2518.0	剥片	3.70	2.65	0.65	4.59	シルト岩	実測
24	L-27-17	494.0	509.0	2504.0	剥片	4.35	5.10	2.30	47.20	粘板岩	実測
28	L-27-17	459.0	466.0	2512.0	剥片	3.10	3.10	0.80	6.67	安山岩	実測 分析
29	L-27-17	473.0	470.0	2501.0	敲石	6.45	4.95	4.00	131.09	安山岩	実測
30	L-27-17	428.0	436.0	2514.0	碎片	1.40	1.90	0.35	1.00	チャート	
31	L-27-17	484.0	413.0	2496.0	石核	3.60	6.05	2.55	64.10	チャート	実測
32	L-27-17	454.0	421.0	2496.0	剥片	5.75	7.20	2.40	101.54	ホルンフェルス	実測
40	L-27-17	500.0	391.0	2496.0	石核	4.35	5.65	4.00	131.25	チャート	実測
41	L-27-17	456.0	363.0	2492.0	敲石	6.30	4.25	4.00	116.71	安山岩	実測
46	L-27-17	348.0	339.0	2507.0	礫・削器	4.75	4.15	1.60	25.38	チャート	実測
54	L-27-17	504.0	372.0	2495.0	剥片	4.25	4.80	1.20	20.77	粘板岩	実測



第219図 単独2



第220図 単独5

単独2（第219図）

L-29-21グリッドに位置し、グループaに属する。石器集中4、礫群2と近接する。

石器は安山岩の剥片で、石器集中5のL-29-21-27と接合する。

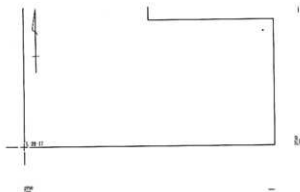
石器の出土層位は第Ⅶ層である。

単独5（第220図）

L-28-17グリッドに位置し、グループbに属する。

石器は黒耀石の砕片である。

石器の出土層位は第Ⅶ層である。



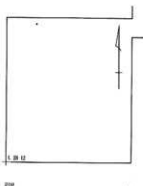
第221図 単独6

単独6（第221図）

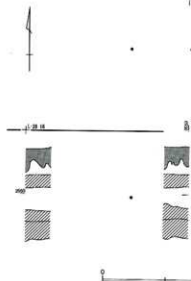
L-28-17グリッドに位置し、グループbに属する。

石器は黒耀石の砕片である。

石器の出土層位は第Ⅶ層である。



第222図 単独7



第223図 単独8

単独7 (第222図)

L-28-12グリッドに位置し、グループbに属する。

石器は黒曜石の碎片である。

石器の出土層位は第Ⅶ層である。

単独8 (第223図)

L-28-16グリッドに位置し、グループbに属する。

石器は安山岩の剥片である。

出土層位は第Ⅵ層中位である。

以上、第2文化層の単独出土の石器である。分布の傾向は、単独2を除くと4点ともグループcの北側周辺からの出土である。グループcは本文化層の中で資料的に貧弱なグループで、その周辺に単独出土の石器がまとまる傾向を示している。

第61表 単独出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
115	L-29-21	260	576	2669.0	剥片	1.85	1.2	0.5	0.66	安山岩	
1	L-28-17	581	85	2720.0	碎片	1.55	1.25	0.4	0.60	黒曜石	
3	L-28-17	418	383	2702.0	碎片	(0.8)	1.35	0.6	0.51	黒曜石	
5	L-28-12	381	48	2716.0	碎片	(1.7)	1.15	0.9	0.95	黒曜石	
3	L-28-16	471	168	2645.0	剥片	1.9	1.8	0.45	1.24	安山岩	

石器接合状況 (第224～225図)

本文化層の石器接合の状況は、グループaとグループcの中で9例見られた。

グループaでは5例ある。

○石器集中5：50の石核に41・49・56の碎片が接合する。分布は石核を中心に碎片が周辺に分布する形で、50と41の接合距離は1.0m、50と49は0.2m、50と56は1.2mである。

○石器集中5：剥片2点（内1点の剥片は2つに折れているので3点となる）の接合例である。29と79は1点の剥片が折れた例で接合距離は1.8mとなる。剥片剥離の工程で石核から次に剥離された36との距離は0.7mである。

○石器集中4と5の間の接合：1枚の剥片が3点に破碎された例である。35と78の距離は0.5m、78と61の距離は2.0mである。

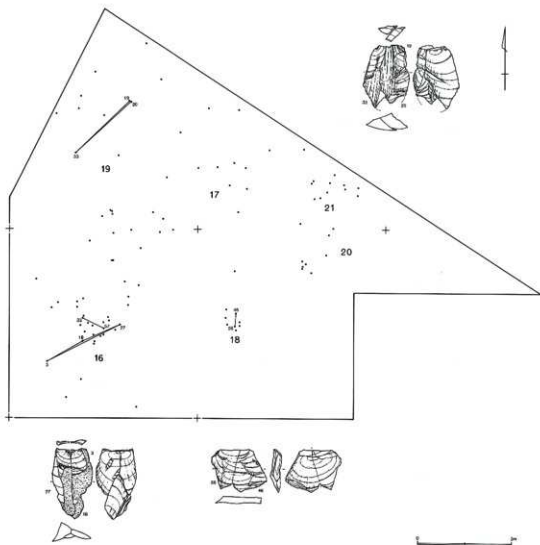
○石器集中5：1枚の剥片が2点に折れた例である。25と28の接合距離は0.5mである。

○石器集中5と単独2の接合で安山岩製である。図示はしていない。

グループcでは4例ある。



第224図 第2文化層石器接合図(1)



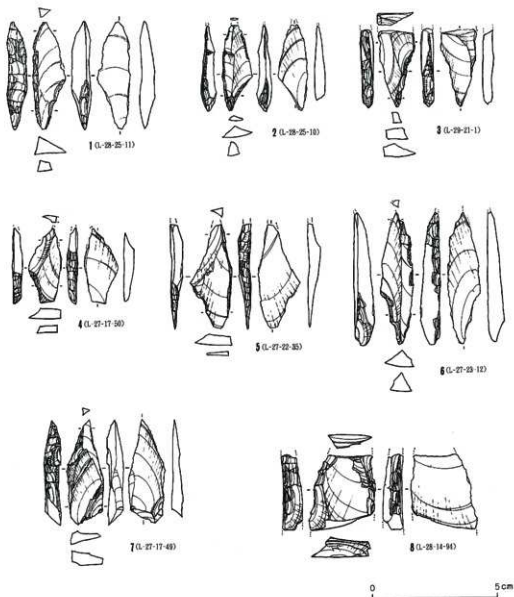
第225図 第2文化層石器接合図(2)

○石器集中16：剥片2点（内1点は剥片が2つに折れているため3点となる）の接合例。3と27は長軸方向で2つに折れている。接合距離は2.7m。18は3・27が剥離される前の段階の剥片である。3との接合距離は1.3m、27との接合距離は1.3mである。

○石器集中16：33と57の接合。図示していない。

○石器集中18：1枚の剥片が長軸方向で2点に折れている。接合距離は0.4mである。

○石器集中19：剥片2点（内1点は剥片が2つに折れているため3点となる）の接合例。19と20は縦長剥片が2点に折れている。接合は0.15mと非常に近く埋まる過程で折れた可能性も高い。33との接合距離は19が2.4m、20が2.5mである。



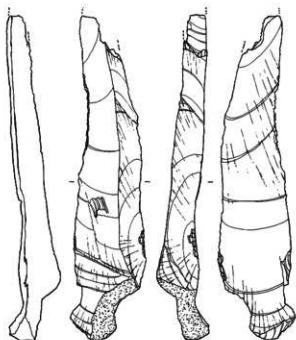
第226図 第2文化層出土石器(1)

第2文化層出土の石器(第226～248図)

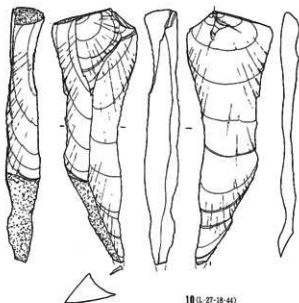
本文化層から出土した石器は総数196点で、器種組成はナイフ形石器7点、搔・削器2点、石核9点、剥片80点、碎片90点、礫器1点、磨石3点、敲石3点、原石1点である。

ナイフ形石器(第226図1～7)

ナイフ形石器は7点出土している。分布はグループaから3点(1～3)、グループcから4点(4～7)と大きく分けられる。



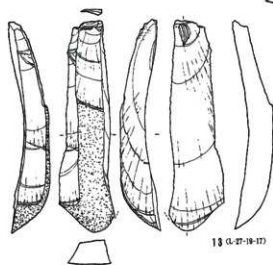
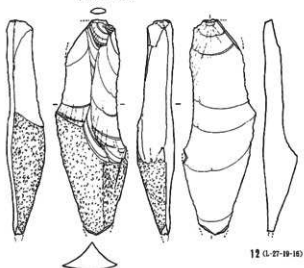
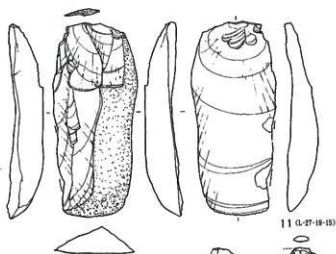
9 (L-27-22-30)



10 (L-27-18-44)

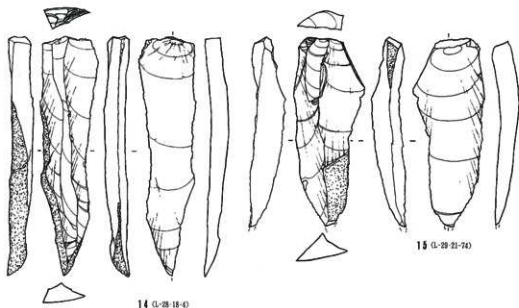
0 5cm

第227图 第2文化層出土石器(2)



0 5cm

第228図 第2文化層出土土器(3)



第229図 第2文化層出土石器(4)

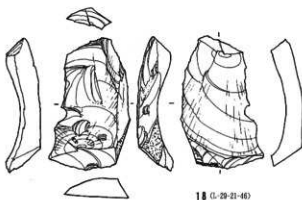
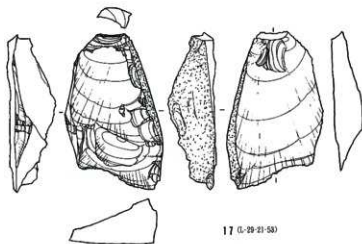
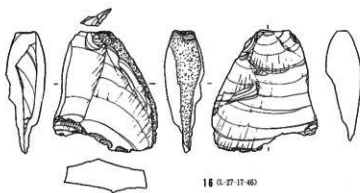
1は風化が進んでおり、表面にひび割れが入っている。素材は下位方向からの縦長剥片を用いている。外形は先端及び基端部が尖っており、右側縁下半部は内湾させて基端部を一層鋭利にしている。正面の剥離面は主要剥離面の剥離方向とほぼ一致しているが、僅かに右側にずれる。刃部は右刃で先端角 38° 、側刃角 141° である。

調整加工は両側縁に施されている。左側縁は基端部から先端まで急角度の剥離が施され、基部の一部と先端部付近に正面→裏面方向の剥離が見られる。右側縁は裏面→正面への通常の Blunting が施されている。横断面形は厚手の直角二等辺三角形形状をしている。

2は先端を若干欠損する。素材は下位方向からの縦長剥片を用いており、打点はやや左側にふれる。外形は先端及び基端部が尖っており、特に基端部鋭利で一見すると鏃と思われる。基部は1同様に内側に湾曲させ基端部の鋭利さを強調している。正面の剥離面は基本的に主要剥離面の剥離方向と一致するが、左右にかなりふれており、素材になった剥片はあまり整ったものではなかったと思われる。また、基端部に一部原石面を残している。刃部は右刃で先端角 33° 、側刃角 134° である。

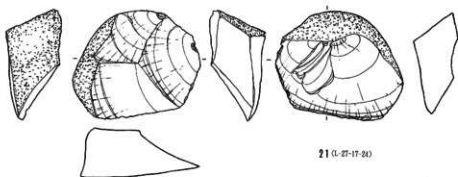
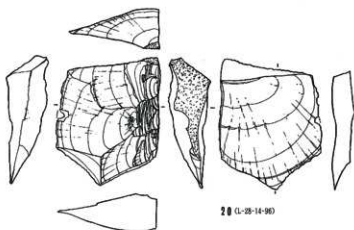
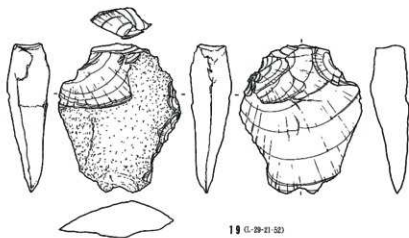
調整加工は基端部を中心に入念に施されている。左側縁は基端部付近に通常の Blunting が上半部に向かうにしたがい微細な剥離となる。右側縁は下半部に通常の Blunting が施され平面形を内側に湾曲させている。また、刃部付近に細かい剥離が見られるが、加工によるか使用による刃こぼれと考えられる。横断面は正面中央を通る稜線を頂点とする薄い三角形形状である。

3は上半部を正面方向からの力によって大きく欠損する。素材は上位方向からの縦長剥片を用いている。外形は上半部が無いため全体の形状は不明であるが、基端部が尖る点は1・2と共通している。正面を構成する剥離面は主要剥離面と 90° 異なり、両側縁からの剥離が見られる。また、左側



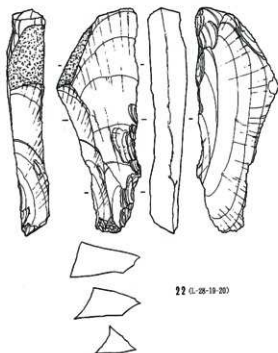
0 5cm

第230図 第2文化層出土石器(5)

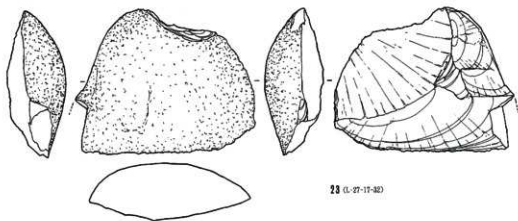


0 5 cm

第231图 第2文化層出土石器(6)



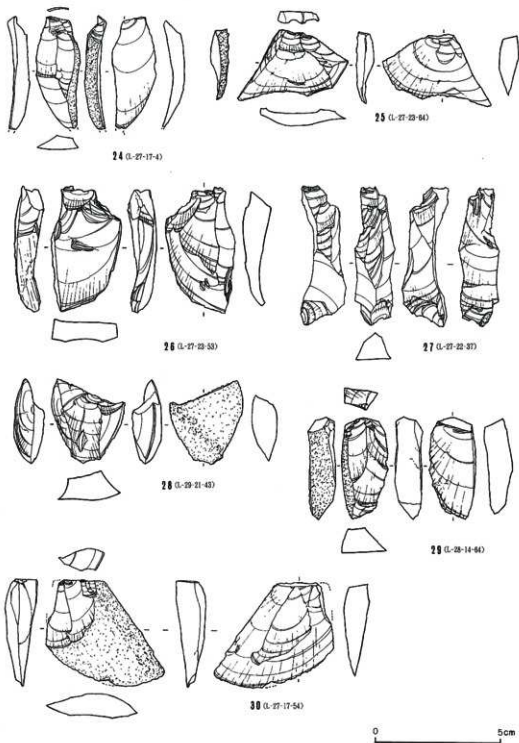
22 (L-28-19-20)



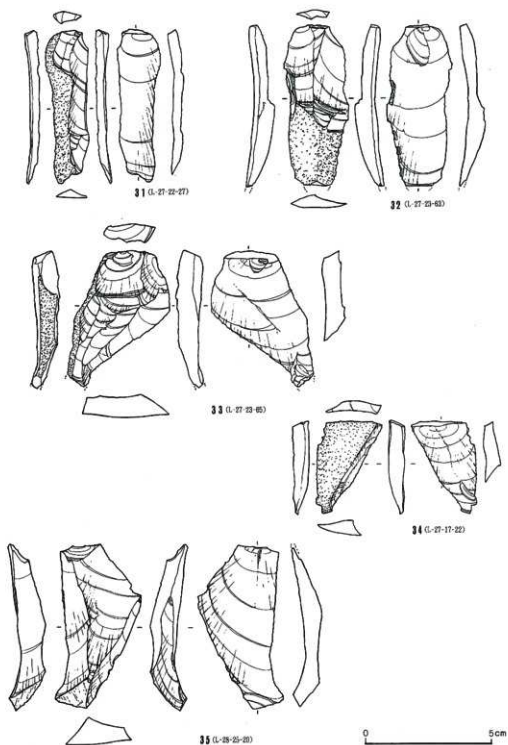
23 (L-27-17-32)

0 5cm

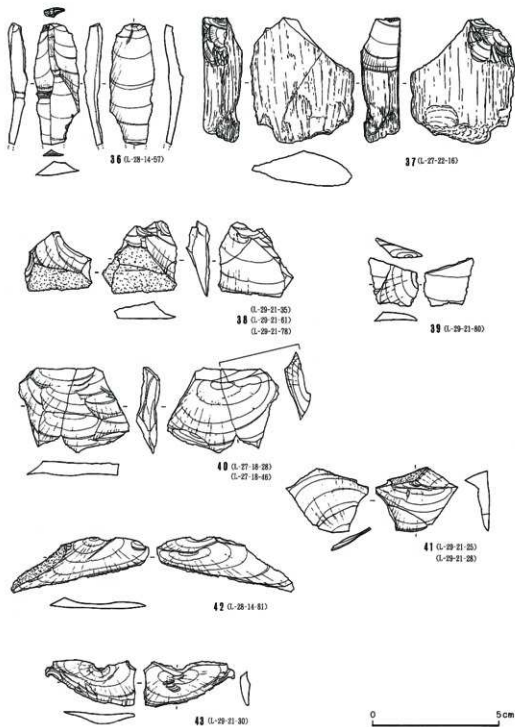
第232図 第2文化層出土石器(7)



第233圖 第2文化層出土石器(8)



第234図 第2文化層出土石器 (9)



第235圖 第2文化層出土石器 (10)

縁基部付近に原石面を僅かに残している。

調整加工は左側縁は正面→裏面方向の通常の Blunting が基端から折れ面まで同じように続いている。右側縁は裏面→正面方向の剥離で、基端付近は右側縁と同剥離であるが、上半部に向かうにしたがい細かい剥離が変わる。刃部の限定は欠損しているため難しいが、右側縁が内側に湾曲している点から右刃の可能性は高い。基部の横断面は平行四辺形を呈している。

4 は先端及び右側縁の上半部を欠損する。下位方向からの縦長剥片を素材に用いており、打面は除去されている。外形は先端が尖り基端部がコ字状を呈しており、基部の左側縁は内側に湾曲する、左右非対称形である。正面を構成する剥離面は石器の長軸に対し左位、右斜め上位方向からの剥離面で主要剥離面とは大きく異なる。刃部は左刃で先端角は55°、側刃角は120°である。

調整加工は左側縁が裏面→正面方向の通常の Blunting が施され、右側縁は正面→裏面方向の通常の Blunting の後に裏面から正面方向の細かい剥離が見られる。横断面は右側縁が直角に立ち上がり左側縁は内反りになるように鋭利な縁辺を作っている。

5 は先端を若干欠損する。右上位方向からの縦長剥片を素材に用いている。外形は右側縁を底辺とする三角形形状を呈し、先端は尖り、基端は僅かにコ字状となる。基部左側縁は僅かに内湾するがほとんど直線に近い。正面の剥離面は主要剥離面とほぼ同一方向からの剥離であるが、刃縁を作っている剥離面は僅かに左に偏っている。刃部は左刃で先端角34°、側刃角は130°である。

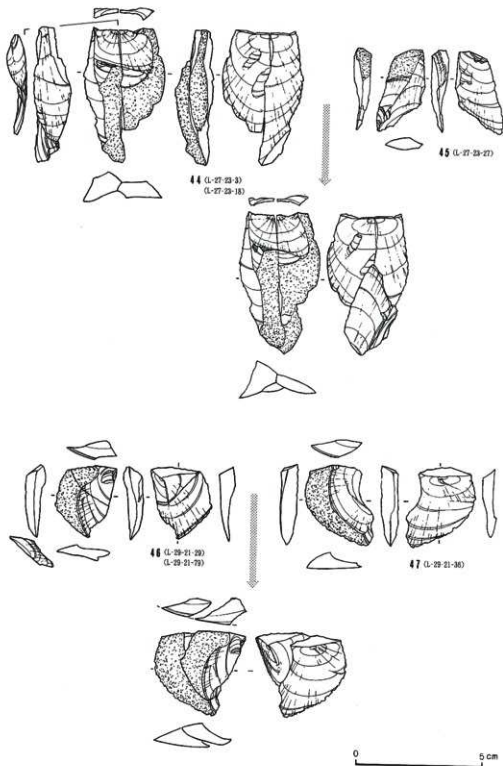
調整加工は右側縁の下半部の薄い部分に裏面→正面方向の通常の Blunting が、上半部の厚い部分になると正面→裏面方向の大きめの剥離に変わっている。左側縁は裏面→正面方向の通常の Blunting が施されている。縦断面形は先端が厚く、基端部に向かうにしたがい薄くなっている。上記の調整加工の在り方はこの素材剥片の形状に大きく制約されている。横断面は右側縁が直角に立ち上がり、左側縁は僅かに内反り状となり鋭利な縁辺を作っている。

6 は左下位方向からの縦長剥片を素材に用いている。外形は先端及び基端部が鋭く尖り、左側縁下半部が僅かに内湾するが、概ね左右対称形である。正面の剥離面は主要剥離面の剥離方向とほぼ一致する面と、180°異なる面が見られる。刃部は左刃で先端角39°、側刃角157°である。

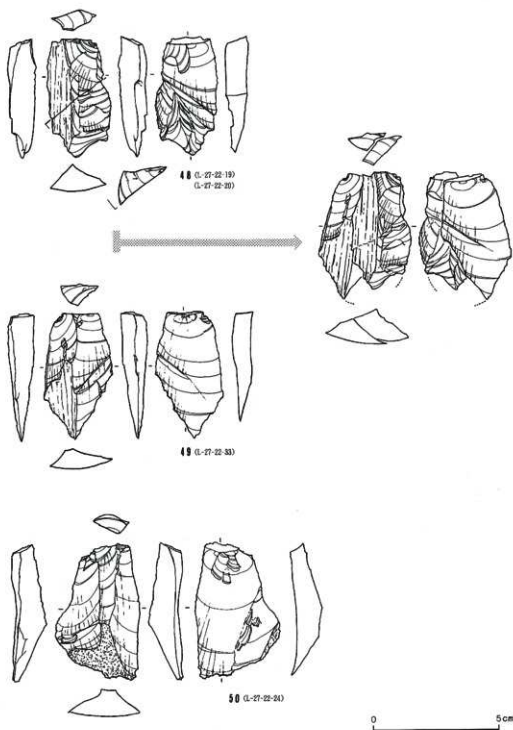
調整加工は左側縁下半部と右側縁上半部に主に施される。左側縁の加工は基端部に1枚の大きな剥離が入られ、上部に向かって細かい剥離に変わって行く。右側縁は先端部の厚い部分に両面からの対向剥離が施され、下半部に向かって裏面方向からの通常の Blunting に変わる。横断面は正面中央に通る稜線を頂点とする厚手の三角形形状である。

7 は下位方向からの縦長剥片を素材とし、打面を残置する。外形は基端部を底辺とした縦長の三角形形状を呈し、形状はあまり整っていないが、ほぼ左右対称形である。打面は単剥離面で形状は長方形である。正面の剥離面は主要剥離面と同一方向であるが、打点は素材作出の前段階で除去されている。また、正面の一部に原石面を残している。刃部は右刃で先端角は59°である。

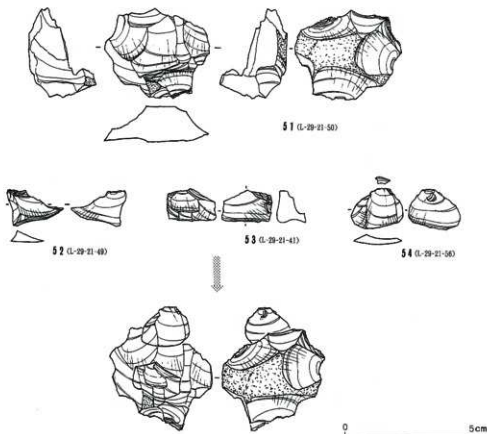
調整加工は左側縁に集中し、先端付近の厚手の部分は正面→裏面方向の通常の Blunting の後に細かい剥離、基部中程からは裏面→正面方向の通常に Blunting の後に細かい剥離が施されている。横断面形の先端付近は三角形、基部中程からは板状となっている。



第236圖 第2文化層出土石器 (11)



第237図 第2文化層出土石器 (12)



第238図 第2文化層出土石器 (13)

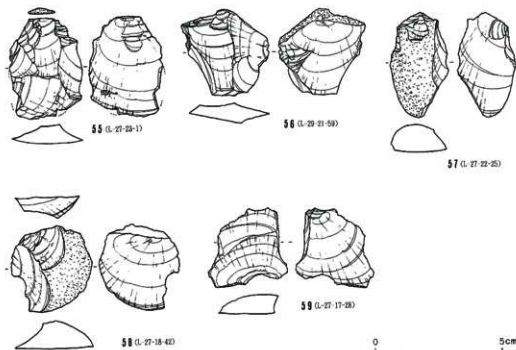
削器 (第226図8・230図16)

8は上下両端を欠損する。上位方向からの縦長剥片を素材としており、正面の剥離面は主要剥離面の剥離方向と一致する。刃部加工は両側縁に施されている。左側縁は鋸歯状に近い剥離の後に細かい剥離で整形している。右側縁は左側縁と比べると規格的な剥離で直線状の刃部を作っている。

16は下が膨らむ縦長剥片を素材とし打面は残置している。刃部は下底辺の薄い部分に施されている。正面の剥離面は主要剥離面と180°逆方向からの剥離によって剥がされている。また、右側部分に原石面を残している。打面は正面方向からの小さな面で単剥である。刃部の加工はあまり規格的でなく、細かい平坦剥離が部分的に施されている。

礫器 (第244図67)

67は大形厚手の礫を素材とし、上面に正面方向からの剥離が施されている。礫器としては刃部の角度が直角に近く、刃部として機能するか疑問もあり、石核の可能性もある。



第239図 第2文化層出土石器 (14)

石核 (第238～243図51・60～66)

51は赤色チャートを石材としている。52～54の碎片と接合するがいずれも石器の素材となるようなものではない。剥離は周辺からの求心的なもので裏面に原石面を残している。31は本石核と同一母岩と思われるが、接合せず、両者の関係は初期段階での剥離であったと思われる。

60は拳より一回り大きい円礫を素材としている。上面打面は原石面のままで打面調整は施していない。作業面は正面に限定しており、残存する剥離面から、幅広の剥片が剥離されていたことが窺える。

61は拳大の礫を素材に用いられている。打面は正面及び左側面方向からの剥離が入念に施されている。作業面は正面と左側面である。作業面の剥片剥離は打面からのものより、正面中央を通る稜線上からと両側面からのものが多く、残存する剥離面からは幅広の小形の剥片、しかもあまり良好な剥片は剥離されていないように思われる。

上記60と61は敲石70と近接し、さも作業途中の状態で埋まったかの様な状態で出土していた。しかし、両石核から剥離した剥片の出土はみえていない。

62は拳大の礫を素材とし、打面は正面方向からの単剥離によって作り出している。作業面は正面に限定されており、残存する剥離面は2枚のやや幅広の大きな剥離面である。

63は拳大の亜角礫を素材としている。裏面を節理面で分割し、打面を主に正面方向からの剥離によって作り出され、作業面は正面に限定されている。作業面に残されている剥離面から小形幅広の

剥片が剥離されていたことが窺える。

64は拳大の角礫から厚手の剥片を作り出し、素材に用いている。打面は正面方向からの単剥離面で作られ、作業面は正面に限定される。作業面に残された剥離面からは横長で階段状になっており、縦長の良質の剥片を剥離していないようである。63と同一母岩である。

65は拳大の角礫を右側縁方向と下底面方向から剥離している。石核面調整等は施しておらず原石面から直接剥離している。

66は作業面を正面に限定し周縁からの求心状剥離が見られる。

剥片 (第227～239図 9・15・17・36・38・50・52～59)

9・10・14・15は大形の縦長剥片である。9は打面を欠損する。外形は不定形で正面下半部に原石面を残している。10の最大幅は打面部であり、外形は縦長の逆三角形状をしている。打面は原石面から直接剥離しており、正面下半部に原石面を残している。正面に主要剥離面とほぼ同一方向の2枚の剥離面が見られる。14は正面に主要剥離面と同一方向の剥片が3枚並び、下半部に原石面を残している。打面は正面方向からの剥離によって作り出されている。右側の細かい剥離調整が見られるが、これらは正面に残る剥離面から縦長剥片を剥離した際の打面調整と思われる。15は正面に主要剥離面と同一方向の剥離面が2枚見られ、下半部に原石面を残している。打面は大きく単剥離面である。いずれも形の整った大形縦長剥片である。

11～13は石器集中20から折り重なるように出土している。11は正面の右側に原石面を残し、打面は原石面から直接剥離している。12は正面下半部に原石面を残している。打面は剥離面であるが小さいため剥離方向等の観察はできなかった。13は正面下半部に原石面を残している。打面は正面方向からの単剥離面で構成される。いずれも正面に原石面を残す初期段階の大形剥片である。本剥片等と同一母岩の石器は見られず、剥片の状態で遺跡に持ち込まれたと考えられる。

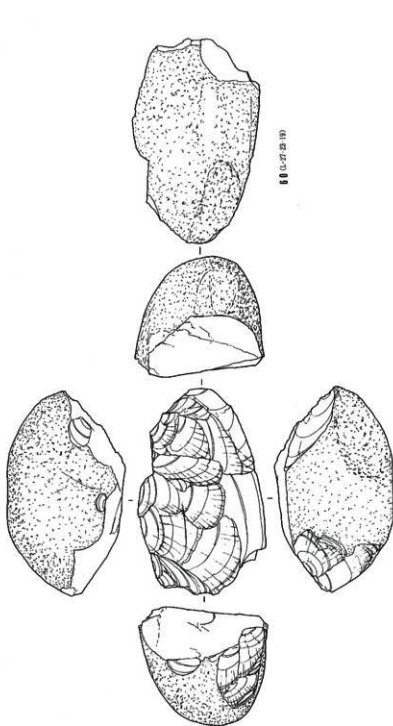
17～23は大形で幅広の剥片で、形状の整ったものは見られない。17と18は削器の16とチャートの同一母岩である。19・22は安山岩、20・23はホルンフェルス、21は粘板岩製である。

31・32・36は中形の縦長剥片である。石質は31がチャート、32が粘板岩、36が黒耀石である。形状は両側縁が平行し整っている。

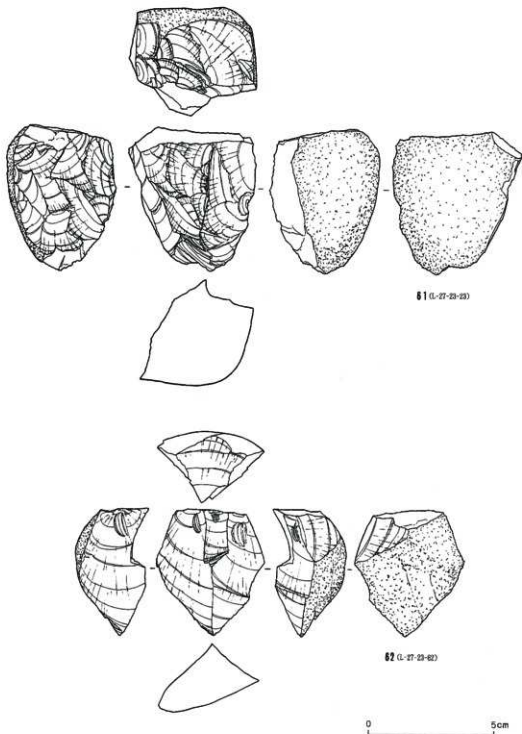
55～59は安山岩製の剥片である。蛍光X線分析による産地推定の結果56は箱根、55・57～59は利根川と推定された。剥片は長幅比があまり変わらず、正面に原石面を残すものが多い。

原石 (第235図37)

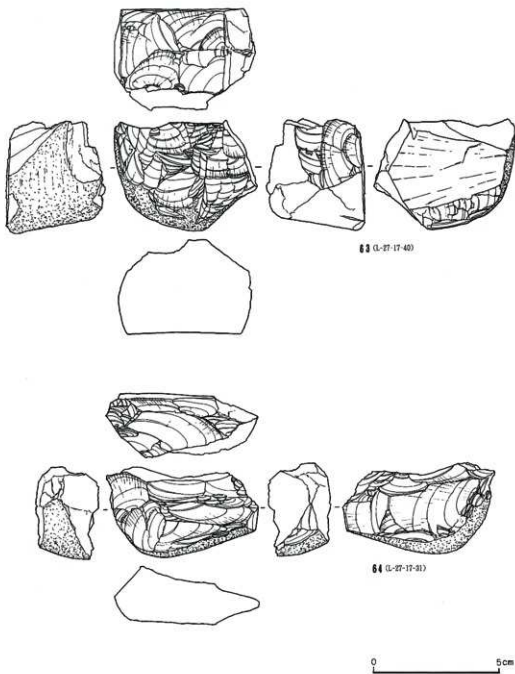
37は隅丸方形で扁平の礫の一端に、石の質を確めるかのように、正面からの調整剥離が施され1枚の剥離が入れられている。



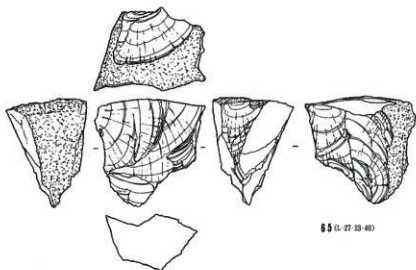
第240図 第2文化層出土石器 (15)



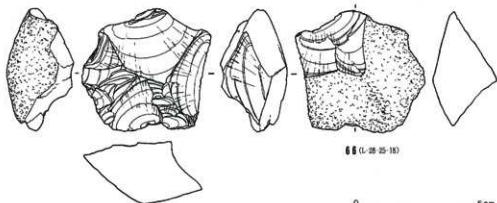
第241图 第2文化層出土石器 (16)



第242図 第2文化層出土石器 (17)



65 (L-27-23-40)



66 (L-28-25-18)

第243図 第2文化層出土石器 (18)

磨石 (第247～248図71～73)

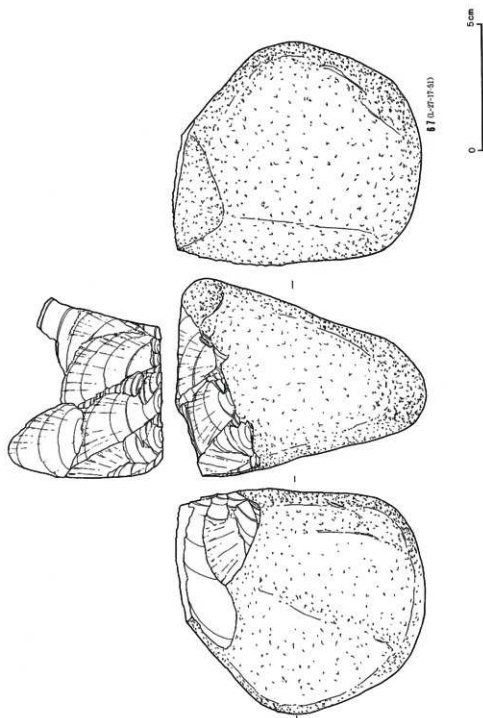
71は大形の礫の正面に摩耗痕が見られる。大きさから持って使用するのとは不可能と思われ、設置して台石等の機能を持たせたものと思われる。

72は扁平で楕円形状をしている。両面とも摩耗は進んでおり、特に裏面は内側に反っている。風化の為周辺が削れている。

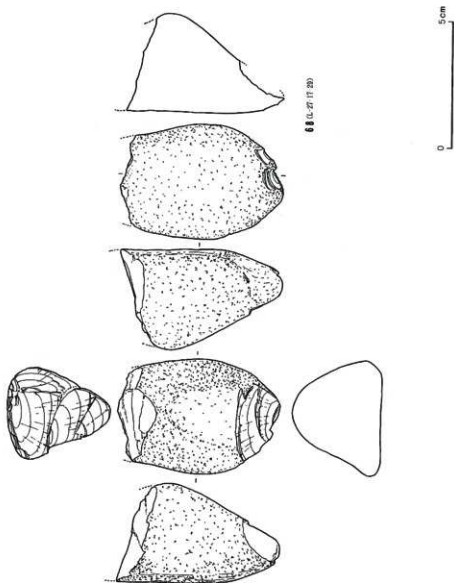
73は下半部を欠損する。拳大の楕円形礫の正面に摩耗痕が見られる。

敲石 (第245～246図68～70)

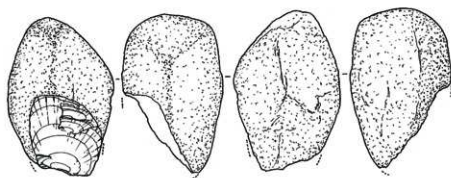
68は拳大の楕円形礫を素材としている。上半部は裏面からの剥離面が見られ、石核等として用いられた可能性もある。下底部は敲打の際の衝撃によって剥離したものと思われる。



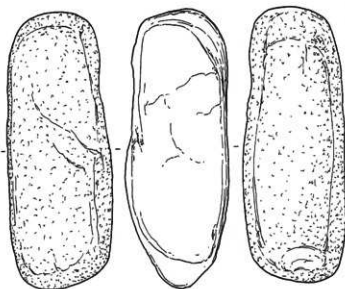
第244図 第2文化層出土石器 (19)



第245図 第2文化層出土石器 (20)



69 (L-27-17-41)

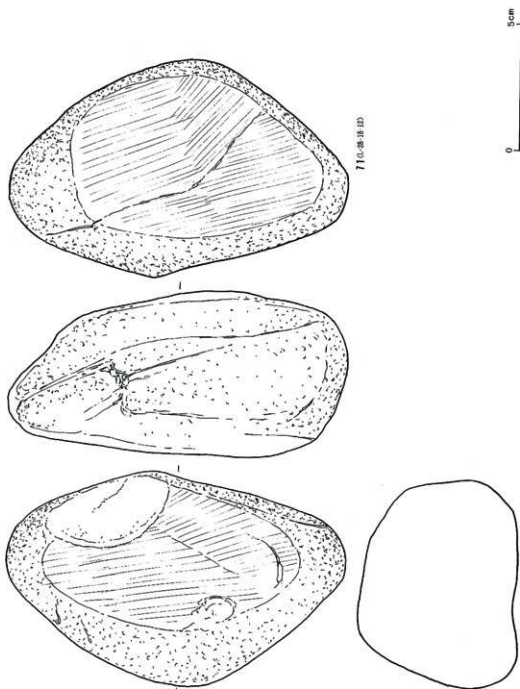


70 (L-27-22-20)

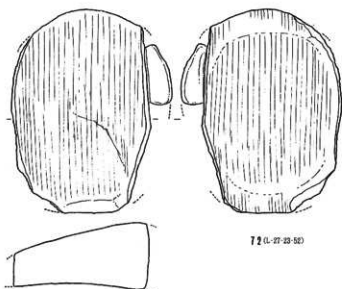


0 5cm

第246図 第2文化層出土石器 (21)



第247圖 第2文化層出土石器 (22)



第248図 第2文化層出土石器 (23)

69は68より一回り小形の礫を素材として用いている。下底部は敲打の際の剝離で大きく抉られている。

70は60・61の石核と近接して出土した敲石である。角柱状の礫を素材とし下端部に僅かに敲打痕が見られる。

グリッド出土の石器（第249図）

ナイフ形石器（第249図1・2）

1は下位方向からの縦長剥片を素材に用いている。正面の剝離面は主要剝離面と同一方向の面と180°逆方向の面によって構成されている。外形は菱形に近く左右対称となる。刃部は右刃で先端角73°、側刃角124°である。調整加工は基部周辺に通常の Blunting、左側縁上半部に細かい剝離が施されている。

2は上位方向からの縦長剥片を素材に用いている。正面には原石面を残しており、主要剝離面と同一方向の剝離が見られる。外形は右側縁を底辺とした三角形形状をしており、左右非対称である。調整加工は右側縁の基端部から先端及び左側縁の下半部に通常の Blunting が施されている。本石器の剥片3は第1文化層の石器集中14からまとまって出土している15-21・15-9・16-6等の剥片類と同一母岩である。

剥片（第249図3～5）

3は両側縁が平行するいわゆる石刃である。

4は正面に原石面を残している。第1文化層の石器集中14の11-118・11-22等の黒燐石に近く、漆黒の小角礫を素材としている。

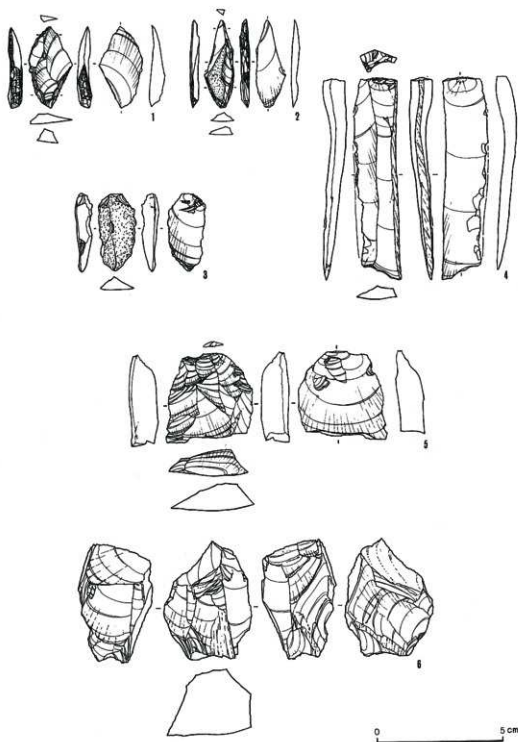
5は厚手の剥片である。下半部を裏面方向からの力によって欠損する。

石核（第249図6）

6は安山岩製の石核である。剝離は多方向から施され、作業面は一定しない。

第62表 グリッド出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
1	L-29-10				ナイフ形石器	2.90	1.75	0.55	2.33	黒燐石	
2	L-27-19				ナイフ形石器	3.45	1.20	0.35	1.52	シルト岩	
3	L-27-19				剥片	8.00	1.90	0.95	11.28	シルト岩	
4	L-28-18				剥片	3.05	1.50	0.70	2.60	黒燐石	
5	L-29-25				剥片	3.55	3.50	1.15	12.92	黒燐石	
6	L-28-11				石核	4.70	3.55	3.05	41.11	チャート	



第249図 グリッド出土石器

礫 群

本遺跡からは、礫群が8か所検出された。しかし、その内容は柿ノ木坂遺跡東区、花ノ木遺跡と比較すると貧弱であった。

礫群の配置をみると、一か所に密集傾向はみられず、台地の最高部に等高線に沿って南北に並んでいる。また、礫群間で接合する例は殆どみられず、礫群の相互関係を掴むことは不可能であった。

第1号礫群 (第251図)

L-29-22グリッドに位置する。調査区の南端にあり、第2号礫群と近接する。礫の総数は7点と少なく、径約2mの範囲に散漫に分布している。

礫の大きさは、100gを上回るもの2点と10g未満(残存率10%以下)のもの5点である。石材は全て砂岩である。

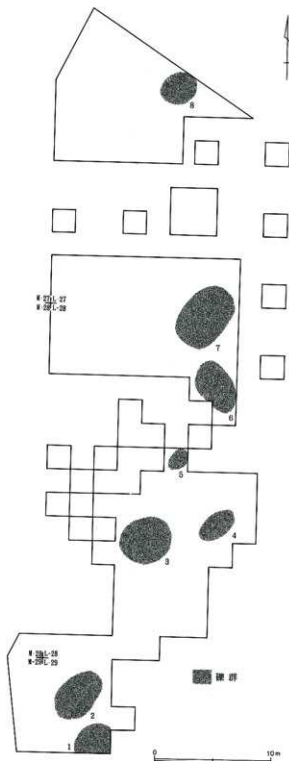
接合関係は礫群内でみられるが、礫群間では無い。

第2号礫群 (第252図)

L-29-21グリッドに位置する。調査区の南端にあり、第1号礫群と近接する。礫の総数は10点と少なく、礫の分布は径約2mの範囲に大形の礫が点在するようにある。

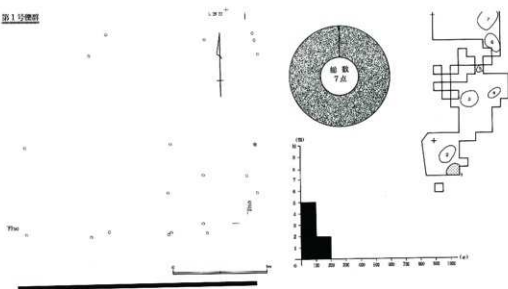
礫の大きさは100gを上回るものが7点で、内訳は500g近いもの1点、200g台2点、100g台4点である。50g未満のものが3点ある。石材は砂岩9点、チャート1点である。

石 質	
	砂岩
	チャート
	ホルンフェルス
	頁岩

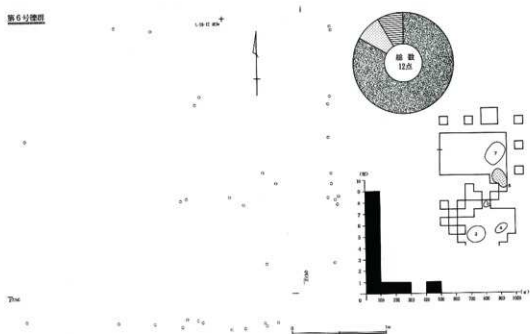


第250図 礫群分布図

第1号建物



第6号建物



第251図 第1・6号建物